

MieMu

みえむ

2021

# 三重県総合博物館 年報

Mie Prefectural Museum Annual Report

通卷

8

号

## ごあいさつ

三重県総合博物館MieMu(みえむ)は、開館以降三重の自然と歴史・文化に関する大切な資産を保全・継承していくことはもちろんのこと、次代を担う子どもたちをはじめ、県民のみなさんや利用者の方々の学びと交流の場となり、郷土への愛着や誇りを感じることができるように、人づくり、地域づくりに貢献できる博物館を目指して活動しております。また、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を活動の理念と位置づけ、県民のみなさんや利用者の方々との協創や、多様な主体との連携による博物館づくりを前進させるべく日々活動しております。

ここに、当館の令和3年度の事業概要をまとめた年報を発刊いたします。令和3年度も、長引くコロナ禍のなかで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、講座や行事などのイベントを実施するとともに、来館しなくてもインターネットでMieMuを楽しむことができるようホームページに開設している「MieMu@ほーむ」の充実を図るなど、新しい生活様式に則した取り組みを継続して進めてまいりました。

一方、企画展では、三重県産の岩石や鉱物などを一堂に展示する「やっぱり石が好き!」、寺院に残された資料をもとに三重県内の戦国時代の様子を伝える「寺院に伝わる戦国の残像」と、当館にとって重要なテーマを取り上げることができました。また、移動展示を多気町で実施するとともに、トピック展として、「昔の道具を考える」と「学芸員の一押し資料」を開催するなど、展示や研究面での様々な取り組みを重ねています。

館の運営を支えてくださいました多くのみなさまに深く感謝を申し上げますとともに、引き続き三重県総合博物館への一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和4年12月

三重県総合博物館 MieMu(みえむ)  
館長 守屋 和幸

MieMuとは・・・

「三重」の「ミュージアム」を表現しているとともに、“みえむ”という音は“三重の夢”に通じ、三重への愛着や誇りを持ち、未来への夢を持てるような博物館になりたいという思いを表現しています。



## 目 次

ごあいさつ .....	1	5.2.2 資料利用(閲覧・特別利用) .....	31
目次 .....	2	5.3 学習支援活動事業 .....	34
<b>I 博物館の概要</b> .....	<b>3</b>	5.3.1 講座 .....	34
1 使命と理念 .....	3	5.3.2 フィールドワーク .....	36
2 ビジョンと戦略目標・戦術 .....	4	5.3.3 学芸員講座 .....	37
3 沿革 .....	5	5.3.4 MieMuの日 .....	39
4 施設概要 .....	6	5.3.5 情報誌 .....	40
		5.3.6 人材育成支援活動 .....	40
<b>II 令和3年度の取組概要</b> .....	<b>7</b>	5.4 他機関・諸団体との交流・連携事業 .....	41
1 運営管理 .....	7	5.4.1 学校 .....	41
1.1 事業体系 .....	7	5.4.2 大学 .....	44
1.2 組織体制 .....	7	5.4.3 博物館 .....	46
1.3 運営状況 .....	8	5.4.4 文化交流ゾーン .....	47
1.4 利用者数 .....	9	5.4.5 国県市町など .....	48
1.5 歳入歳出決算 .....	9	5.4.6 その他の諸機関・諸団体 .....	49
1.6 三重県総合博物館協議会 .....	9	5.5 他機関・団体への協力 (職員の諸団体への協力活動) .....	51
1.7 三重県総合博物館協議会評価部会 .....	11	5.5.1 委員、講師等の依頼 .....	51
1.8 新型コロナウイルス感染症拡大防止 に向けた休館等の状況 .....	12	6 企業との連携 .....	55
2 調査研究事業 .....	13	6.1 事業の趣旨・目的 .....	55
2.1 研究概要 .....	13	6.2 パートナー企業数 .....	55
2.2 研究成果一覧 .....	15	6.3 連携事業 .....	55
2.3 研究推進委員会 .....	18	7 利用者との協創 .....	56
2.4 研究協力者 .....	19	7.1 事業の趣旨・目的 .....	56
3 資料収集・保存 .....	19	7.2 三重県総合博物館 ミュージアムパートナー .....	56
3.1 資料一覧概要 .....	19	7.3 ボランティア .....	59
3.2 資料収集 .....	19	8 広報 .....	59
3.3 資料保存 .....	20	8.1 新聞・テレビ・ラジオ .....	59
4 展示 .....	20	8.2 雑誌 .....	59
4.1 基本展示 .....	20	8.3 ホームページ .....	60
4.2 企画展示 .....	21	8.4 Facebook・Twitter・YouTube .....	60
4.2.1 企画展 .....	21	8.5 その他 .....	61
4.2.2 交流展 .....	24	9 博物館の評価 .....	61
4.2.3 トピック展ほか .....	24	9.1 評価のしくみ .....	61
4.3 こども体験展示室 .....	26	9.2 令和3年度の戦略目標と戦術の 評価結果 .....	62
4.4 三重の実物図鑑 .....	26	9.3 アンケート結果概要 .....	68
4.5 オオサンショウウオ生態展示 .....	27		
4.6 その他の展示 .....	28	<b>III 資料</b>	
4.7 屋外展示 .....	28	1 条例・規則 .....	72
4.8 移動展示 .....	29	1.1 三重県総合博物館条例 .....	72
5 交流創造活動事業 .....	30	1.2 三重県総合博物館条例施行規則 .....	79
5.1 事業の趣旨・目的 .....	30	1.3 観覧料免除要綱 .....	86
5.2 閲覧レファレンス活動事業 .....	30	2 事業成果一覧 .....	88
5.2.1 レファレンス活動 .....	30		

# I 博物館の概要

## 1 使命と理念

### 1) 使命

#### 1 三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす

三重の自然と歴史・文化に関する資産を、次なる100年、200年に向けて保全・継承するための主要な役割を果たし、三重のありようや履歴を明らかにすることで、地域文化の発展と新たな地域創造につなげます。

#### 2 学びと交流を通じて人づくりに貢献する

MieMuでは、三重の未来を担う子どもたちは、世代を越えた交流の場で、楽しみながら、体験的に学びます。こうしたなかで、子どもたちは、三重への理解と愛着を深め、夢や希望あふれる未来を拓くきっかけを得ます。また、県民・利用者みなさんは、学ぶ充実感を得、知的好奇心を育み、一人ひとりの成長につなげます。

#### 3 地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する

県民・利用者みなさんが、博物館活動の中で、地域に目を向け地域の魅力を再発見し、内外に発信することにより、地域や三重への愛着と誇りを育みます。また、一人ひとりが、各々の関心や生活課題の解決や、新たな地域づくりに取り組むきっかけを提供します。

### 2) テーマ

#### 三重が持つ多様性の力

MieMuでは、三重の特色である「多様性」と「多様性」に秘められた力について、県民・利用者みなさんとともに探求し、活用、発信するなかで、三重の地域や人に活力をもたらし、「新たな文化を創造する力」、「今をつくり、未来を切り拓く力」を育みます。

##### ・多様性の探求がもたらす力

多様な自然と歴史・文化を探求することで、一人ひとりが三重の魅力を再発見するなかで、三重への愛着と誇りを育み、地域に活力をもたらします。

##### ・新たな文化を創造する力

多様(=異なるもの)であることにより、可能性と選択の幅が広がります。また、異なるものどうしが融合・反発・刺激しあうことにより新しいものを生み出すことにつながることから、「新たな文化を創造する力」をもたらします。

##### ・今をつくり未来を切り拓くちから

三重の「多様性」を、みなさんとともに探求・活用・発信することを通じて、地域の相互理解を深め互いの絆を育むとともに、地域や時代の課題解決につなげていけるような、「今をつくり、未来を切り拓く力」をもたらします。

##### 《三重の多様性とは》

日本列島のほぼ中央に位置する三重は南北に長く、水深2,000mの深海から標高1,700m近くに及ぶ山岳を含んだ多様な自然環境に囲まれ、亜寒帯から亜熱帯までの幅広い生物相を育む日本列島の縮図のような自然を有しています。その豊かで多様性に富んだ自然環境のもとで、人びとの多様なくらしや歴史が育まれてきました。また、三重は古くから交通の要衝の地として栄え、東西文化の結節点、海と山との文化の会う場所として、活発な人やモノの交流、異なる文化の接触がおこり、新たな文化、多様な文化を生み出してきました。



### 3) 活動理念

#### ともに考え、活動し、成長する博物館

博物館活動の展開にあたっては、調査研究活動、収集保存活動、活用発信活動の3つの活動を「協創」と「連携」の2つの視点で進めます。これにより、すべての博物館活動において、県民・利用者のみなさんが主体的・能動的に活動できる双方向の活動を通して博物館活動を質量ともに発展させ、一人ひとりの成長と地域づくりを支援していくことをめざします。

## 2 ビジョンと戦略目標・戦術

### 1) 活動と運営に係る評価のしくみ

長期にめざす姿(ビジョン)の実現に向けて、戦略的に取り組むための計画とそのマネジメントのしくみを、以下のとおりとしている。なお、戦略目標とは計画期間中、重点的に目的をもって取り組むことであり、戦術をもってして戦略目標達成のために、具体的に取り組むこととした。

### 2) ビジョン

三重は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に長く、水深2,000mの深海から標高1,700m近くの山岳までも含んだ多様な自然環境をもち、亜寒帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の縮図のような自然を有している。

この自然を背景に、伊勢・伊賀・志摩国と紀伊国の一部から成り立つ三重は、それぞれの地域で特色あるくらしや歴史が育まれてきた。また、三重は古くから陸海の交通の要衝にあり、都に近く、信仰と商業の拠点をもつたことから、人・モノ・情報が集まり交流が生まれることで、東西文化の結節点となり、多様な文化を生みだしてきた。

三重県総合博物館は、このような三重の多様で豊かな自然と歴史・文化について、県民・利用者のみなさんとともに総合力を発揮して探究し、保全・継承し、広くその意義を伝える。このことにより、三重の特徴と素晴らしさに気づき、多様な価値観のもとで、誇りをもって地域をより良くしようとする人々が集う活気ある社会の形成を目指す。

### 3) 令和2年度から令和5年度までの作戦目的(中間アウトカム)

県民の皆さんが(A)三重の魅力を知ってもらう。さらに、(B)博物館を利用していただくことを通じて、3つの使命をより具現化するため、今後の計画について次のとおり整理する。

### 4) 戦略目標と戦術(令和2年度～令和5年度)

戦略目標		戦術		
(A) 三重の魅力を知ってもらう	1	三重の魅力を明らかにするために、学芸員が館蔵資料の収集・整理・管理、調査研究を強化します。	1	三重の魅力を明らかにし、課題を解決するために、学芸員が活動の基盤となる資料収集および調査研究を行います。
			2	県民・利用者の館蔵資料の活用を促進するために、学芸員が整理を進め資料データベースを充実します。
			3	貴重な県民財産(資料)を保全・継承するため、学芸員が収蔵・展示資料の定期点検や清掃を実施します。
	2	県民・利用者に三重の魅力を知っていただくために、学芸員が展示を充実します。	4	県民・利用者に三重の魅力を分かりやすく伝えるために、学芸員が基本展示を充実します。
			5	県民・利用者の幅広いニーズに応えるために、学芸員が多様なテーマによる企画展を開催します。
	3	自分たちがくらす地域への愛着を育むために、学芸員が県内各地域へのアウトリーチ活動を充実します。	6	地域の魅力を発見し伝えるために、学芸員が県内当該地域での参加型調査を実施し、その成果を用いた移動展示を実施します。
			7	地域の魅力を伝えるため、県内どこでも、学芸員が出張講座に出向きます。

戦略目標		戦術	
(B)館を利用してもらう	4 県民・利用者が参画・交流を通じた学びを促進するために、学芸員が多様な主体と連携します。	8	幅広い世代が交流しながら学びを深める場を作るために、ミュージアムパートナー(MP)と連携した調査、展示、体験等の事業を充実します。
		9	地域で活躍する企業・団体の魅力発信と利用者との交流を支援するために、コーポレーション・デーを開催します。
		10	三重の魅力を様々な専門知識で広く発信し、人・もの・情報が行き交う場とするために、研究機関等と連携した事業を実施します。
	5 博物館の情報を効果的に利用してもらうために、学芸員が知的資源やその活用方法をわかりやすく伝えます。	11	県民が広汎かつ手軽に情報を得られるように、学芸員がHPや館の情報誌での情報提供を充実します。
		12	県民・利用者に自分で学ぶ楽しさを伝えるために、学芸員が同定会やフィールドワークなど「調べ方」を学ぶことをテーマにした事業を開催します。
	6 次世代の育成のために、学芸員が子どもたちの学習機会の充実を図ります。	13	子どもたちに学習の楽しさを伝えるために、こども体験展示室を充実させます。
		14	子どもたちに学習の楽しさを伝えるために、学芸員が五感を使って体感できる様々な事業を実施します。
		15	子どもたちが能動的な学びを体験できるように、学芸員が学校と連携して課題探究型学習を支援します。
	7 経営資源を効果的に配分するために、評価制度を活用して事業を選択します。	16	事業を日常的に確認し改善するために、定期的に進捗管理を行います。

### 3 沿革

年 月	経 緯
平成25年6月	三重県総合博物館条例公布(平成26年4月19日施行)
平成25年8月	三重県立博物館からの移転に着手(~平成26年1月)
平成26年3月	三重県総合博物館条例施行規則公布(平成26年4月19日施行)
平成26年4月	開館(18日:開館記念式典 19日:グランドオープン)
平成26年6月	入館者数10万人達成(6/1:開館39日目)
平成27年9月	入館者数50万人達成(9/22:開館444日目)
平成29年3月	三重県総合博物館条例改正(平成30年4月1日施行)
平成29年9月	入館者数100万人達成(9/16:開館1055日目)
平成30年2月	三重県総合博物館条例施行規則改正(平成30年4月1日施行)
平成31年3月	三重県総合博物館条例改正(平成31年10月1日施行)
平成31年4月	三重県総合博物館条例施行規則改正(平成31年4月25日施行)
令和元年7月	三重県総合博物館条例改正(令和元年10月1日施行)
令和元年11月	入館者数150万人達成(11/3:開館1714日目)
令和2年3月	三重県総合博物館条例施行規則改正(令和2年4月1日施行)
令和2年12月	三重県総合博物館条例施行規則改正(令和2年12月25日施行)

#### 4 施設概要

名 称 三重県総合博物館 愛称：MieMu(みえむ)  
種 別 登録博物館(総合)  
開 館 日 平成26年4月19日  
所 在 地 〒514-0061 津市一身田上津部田3060  
電 話 059-228-2283(代)  
F A X 059-229-8310  
メール MieMu@pref.mie.lg.jp  
ホームページ <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>  
ツイッター [https://twitter.com/mie\\_pref\\_museum](https://twitter.com/mie_pref_museum)  
フェイスブック <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>  
YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/c/三重県総合博物館MieMu>

#### 【敷 地】

敷地面積 38,884㎡  
地域地区 第1種低層住居専用地域、第2種住居地域

#### 【建 物】

建築面積 6,889㎡  
延床面積 11,705㎡(各階延床積 1階：4,760㎡、2階：2,125㎡、3階：4,637㎡、屋上階：60㎡)  
構 造 SRC造一部RC造、免震構造、3階建て  
設 計 GL 18m

## II 令和3年度の取組概要

### 1 運営管理

#### 1.1 事業体系

##### ●総合博物館管理運営費

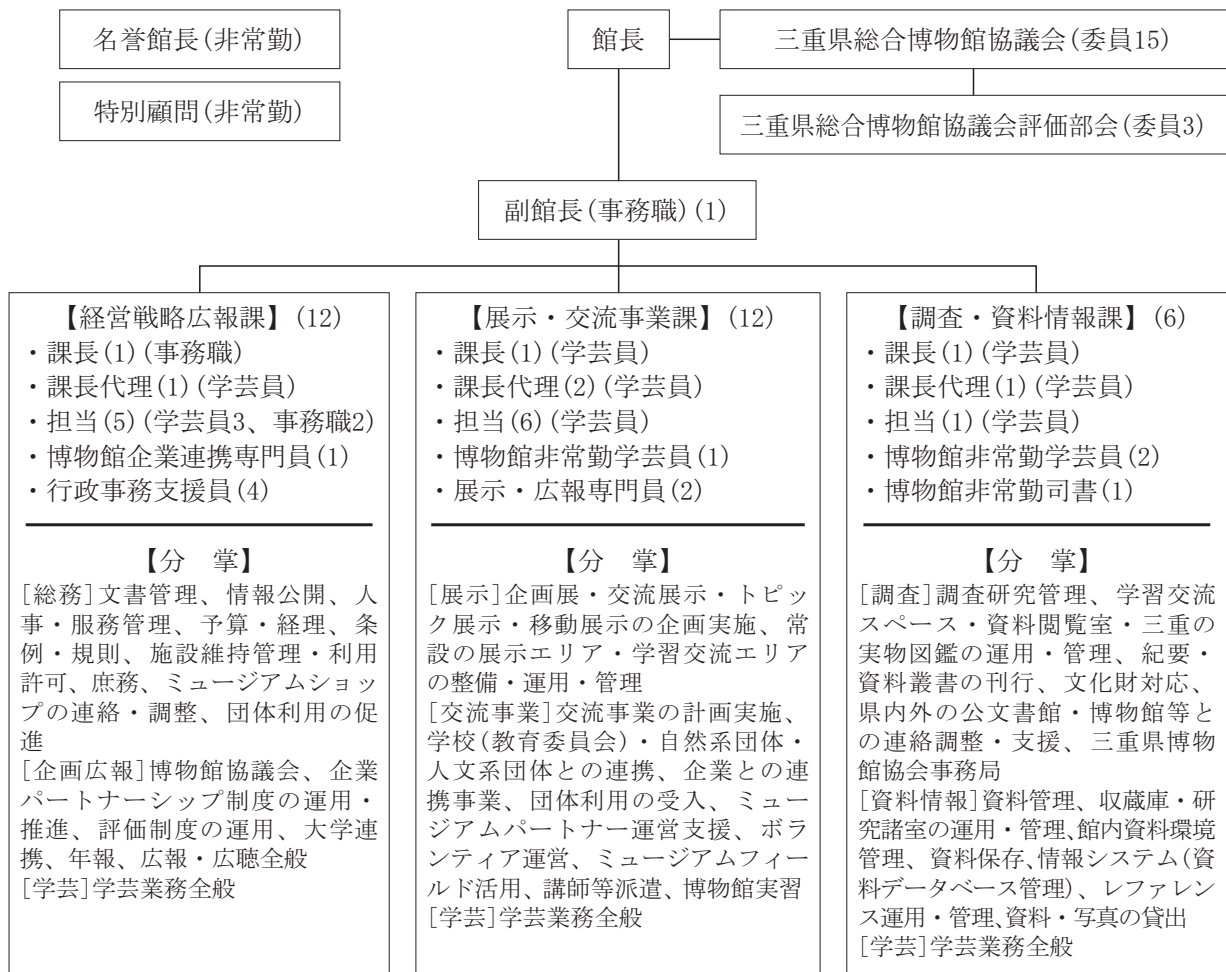
- ・総合博物館管理運営費 施設保守・維持 等
- ・総合博物館一部指定管理費 施設管理、広報経営分析 等

##### ●総合博物館展示等事業費

- ・調査研究費 総合研究、専門研究、共同研究及等の調査研究活動
- ・資料収集管理費 資料収集、資料修復、資料保存環境の管理 等
- ・交流創造活動費 学習交流スペースでのレファレンス活動、ワークショップ 等
- ・展示企画運用費 各種企画展の開催準備 等
- ・アウトリーチ活動費 フィールドワーク等の博物館活動を地域との連携により県内各地で実施
- ・広報宣伝・営業推進費 広報宣伝及び企業等への営業活動

#### 1.2 組織体制

##### 1) 組織図・分掌



##### 2) 職員名簿(令和4年3月31日時点)

館長 守屋和幸  
副館長 垣内正光

名誉館長 野呂昭彦  
特別顧問 布谷知夫、大野照文

経営戦略広報課

課長 中世古幸司  
 課長代理 北村淳一  
 主査 佐野 明  
 主査 福田良彦  
 主査 村田光輝  
 主査 太田光俊  
 主任 中村千恵  
 博物館企業連携専門員 南部 勤  
 行政事務支援員 高島鈴代  
 行政事務支援員 西井睦美  
 行政事務支援員 正路和子  
 行政事務支援員 杉田麻衣子

※兼務職員

笹之内浩一(文化振興課歴史公文書班 副課長兼班長)  
 加藤方子 (文化振興課歴史公文書班 主幹兼係長)  
 藤谷 彰 (文化振興課歴史公文書班 主査)  
 河内美幸 (文化振興課歴史公文書班 県史編さん研究員)  
 井上有希 (文化振興課歴史公文書班 博物館公文書等保存・公開整備専門員)  
 山本梨加 (文化振興課歴史公文書班 博物館公文書等保存・公開整備専門員)  
 植田佳子 (文化振興課歴史公文書班 博物館資料業務専門員)  
 山川和美 (文化振興課歴史公文書班 行政事務支援員)

【職員体制】 常勤職員21(館長1、副館長1、事務3、学芸員16)、会計年度任用職員11(博物館非常勤学芸員3、博物館非常勤司書1、博物館企業連携専門員1、展示・広報専門員2、行政事務支援員4)

展示・交流事業課

課長 星野利幸  
 主幹兼課長代理 宇河雅之  
 主幹兼課長代理 小掠光裕  
 主幹 寺村善樹  
 主査 中川良平  
 主査 大島康宏  
 主査 田村香里  
 主査 森田奈菜  
 主任 門口実代  
 博物館非常勤学芸員 稲垣玲弥  
 展示・広報専門員 堀江真季子  
 展示・広報専門員 佐久美文香

調査・資料情報課

課長 瀧川和也  
 課長代理 小林 秀  
 主任 甲斐由香里  
 博物館非常勤学芸員 津村善博  
 博物館非常勤学芸員 服部早希  
 博物館非常勤司書 長崎恵理子

1.3 運営状況

開館時間 [エントランスエリア・交流創造エリアなど、来館者の活動エリア]

休館日を除く全日 9時～17時

[展示エリア] 休館日を除く全日 9時～17時(最終入場は、閉場の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、その他別途定める日

観覧料等 [エントランスエリア・交流創造エリアなど、来館者の活動エリア] 無料

[展示エリア] 下表のとおり

		基本展示	企画展示	セット券	年間パスポート
当 日 券	一般	520円	その都度定める	基本展示+企画展示 料金の2割引	1,670円
	高校生以下	無料	その都度定める (無料を基本)	設定なし	設定なし
	学生(大学、各種専門学校等)	310円	その都度定める (割引を基本)	基本展示+企画展示 料金の2割引	1,040円
	障がい者及びその付添者	無料	無料	設定なし	設定なし
	学校、児童福祉施設としての利用	無料	無料	設定なし	設定なし
	県民の日の記念事業の日	無料	正規価格	設定なし	—
	家庭の日(毎月第3日曜日)	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	—
団体割引 (20名以上)	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	設定なし	

## 1.4 利用者数

令和3年度の開館日数は278日で、当館利用者数は、以下のとおりである。

※8月27日(金)～9月30日(木)臨時休館

また、詳細な利用者統計に関しては、Ⅲ 資料 2 事業成果一覧 に掲載する。

- 1) 入館者数 105,197人 ※博物館への入館者総数(無料スペースのみの利用者を含む)
- 2) 展示観覧者数 63,865人 ※基本展示、企画展示及び移動展示の観覧者総数(無料観覧者数を含む)  
(うち、基本展示 34,990人 企画展示 28,339人、移動展示 536人)
- 3) こども体験展示室利用者数 3,381人  
※4月1日(木)～8月13日(金)土日祝日のみで開室  
なお、学校団体は5月7日(金)～8月13日(金)平日のみで開室  
8月14日(土)～10月31日(日)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉室  
なお、学校団体は10月1日(金)～開室を再開  
11月3日(水・祝)～土日祝日のみで開室を再開  
令和4年1月22日(土)～令和4年3月31日(木)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉室
- 4) 資料閲覧室利用者数 入室者数 1,988人 資料閲覧者数 508人
- 5) 学校による利用者数 164校 8,940人(児童・生徒数 8,151人、引率者数 789人)
- 6) 各種イベント等参加者数 5.3学習支援活動事業に記載

## 1.5 歳入歳出決算

### ●歳入

単位：円

項目	令和3年度決算額
観覧料収入	11,188,200
企業からの協力及び外部資金を活用した基金からの繰入	508,766
施設活用による収入(ミュージアムショップ等)	4,435,789
その他事業関連収入(資料利用収入等)	952,241
公的団体等からの外部資金の獲得	4,190,000
県費	365,667,502
合計	386,942,498

※企業パートナーシップ4,840千円の歳入は、別途文化振興基金に積立て。

### ●歳出

単位：円

項目	令和3年度決算額
事業費(総合博物館展示等事業費)	30,098,548
維持管理費・一般管理費(総合博物館管理運営費)	158,733,445
人件費(職員・会計年度任用職員)	198,110,505
合計	386,942,498

## 1.6 三重県総合博物館協議会

### 1) 目的

三重県総合博物館協議会は、三重県総合博物館の経営や、調査研究、資料の収集・保存、展示やワークショップなどの博物館活動、並びに、博物館活動を通じた人材育成や地域づくりについて、委員の方々に専門的立場や利用者の観点から意見・提言をいただき、博物館の事業推進に活かすことを目的として設置した。



## 2) 設置根拠

博物館法第20条、三重県総合博物館条例第27条

## 3) 設置年月日

平成26年4月19日(土)

## 4) 委員 県内の大学、経済界、報道機関、文化・教育機関、博物館関係者等で構成。

岩崎奈緒子 京都大学総合博物館 教授  
大西かおり 特定非営利法人大杉谷自然学校 校長〔副会長〕  
岡野友彦 皇學館大学文学部 教授  
加藤美紀 松阪市立西黒部小学校 校長、三重県小中学校校長会 幹事  
齋藤彰一 株式会社三十三銀行 顧問  
染川香澄 ハンズ・オン・プランニング 代表  
高井健司 地方独立行政法人大阪市博物館機構 事務局次長  
館 健造 日本放送協会津放送局 局長  
田部眞樹子 特定非営利法人三重県子どもNPOサポートセンター 理事長  
中尾正己 三重県総合博物館 ミュージウムパートナー  
中村忠明 公益財団法人伊賀市文化都市協会 理事長  
西岡慶子 株式会社光機械製作所 代表取締役社長  
前田智之 中日新聞社三重総局 総局長  
山下治子 株式会社アム・プロモーション 雑誌ミュゼ編集長・常務取締役  
山田康彦 三重大学教育学部 特任教授〔会長〕 (敬称略：五十音順)

## 5) 協議会

### ①第1回三重県総合博物館協議会

- 1 日時 7月13日(火)13時30分～15時30分
- 2 会場 三重県総合博物館レクチャールーム
- 3 出席委員 岩崎奈緒子※、大西かおり、岡野友彦※、齋藤彰一※、染川香澄※、高井健司※、田部眞樹子、中尾正己、中村忠明、西岡慶子※、山下治子※、山田康彦  
※はWebで参加

### 4 内容

#### 会議事項

#### (1) 三重県総合博物館の活動と運営について

- 1) 前回協議会で頂いた意見の反映状況
- 2) 入館者及び展示観覧者数
- 3) 基本展示観覧者数の推移
- 4) トピック展等の開催結果
- 5) 企画展の開催状況
- 6) MieMu展示アンケートの結果
- 7) 交流創造活動事業等
- 8) 企業との連携
- 9) 調査研究事業・収集保存事業
- 10) 決算額の推移及び予算について

#### (2) 令和2年度内部及び外部評価結果

#### (3) その他

- 5 会議の公開 会議は公開で行い、傍聴者はなし



## ②第2回三重県総合博物館協議会

- 1 日時 令和4年3月4日(金)13時30分～15時30分
- 2 会場 三重県総合博物館レクチャールーム
- 3 出席委員 岩崎奈緒子※、大西かおり、加藤美紀※、齋藤彰一※、染川香澄※、高井健司※、  
田部眞樹子、中尾正己、西岡慶子※、前田智之、山下治子※、山田康彦  
※はWebで参加
- 4 内容  
会議事項
  - (1) 三重県総合博物館の活動と運営について
    - 1) 前回協議会で頂いた意見の対応状況
    - 2) 入館者数及び展示観覧者数
    - 3) 基本展示観覧者数の推移
    - 4) 企画展の開催状況
    - 5) MieMu展示アンケートの結果
    - 6) 交流創造活動事業等
    - 7) 企業との連携
    - 8) 調査研究事業・収集保存事業
  - (2) 博物館活動の今後の取組について
- 5 会議の公開 会議は公開で行い、傍聴者はなし

## 1.7 三重県総合博物館協議会評価部会

- 1) 目的 三重県総合博物館協議会に、三重県総合博物館の活動と運営に対して評価を実施するために設置
- 2) 関係規則 三重県総合博物館協議会評価部会運営要領
- 3) 設置年月日 平成28年7月20日
- 4) 委員  
岩崎奈緒子 京都大学総合博物館 教授  
高井健司 地方独立行政法人大阪市博物館機構 事務局次長 [部会長]  
山下治子 株式会社アム・プロモーション 雑誌ミュゼ編集長・常務取締役  
外部有識者  
亀山裕美子 評価士  
吉岡 基 三重大学大学院 生物資源学研究科 教授 (敬称略：五十音順)

### 5) 評価部会

#### ①三重県総合博物館協議会評価部会

- 1 日時 6月19日(土)13時30分～16時30分
- 2 会場 三重県総合博物館交流活動室及びWeb
- 3 出席委員(Web参加) 岩崎奈緒子、高井健司、山下治子  
外部有識者 亀山裕美子、吉岡 基
- 4 内容  
<令和2年度MieMuの活動と運営の各戦略・戦術>
  - 1) 新型コロナウイルス感染症の当館事業への影響等について
  - 2) 内部評価結果(評価概要と全ての戦略・戦術)の説明
  - 3) 各戦略の評価と今後に向けての改善点
  - 4) 成果と課題

〈令和3年度MieMuの活動と運営の各戦略・戦術〉

5) 令和3年度MieMuの活動と運営の各戦略・戦術について

5 会議の公開 会議は非公開で行った。

## 1.8 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた休館等の状況

- 令和3年4月13日(火) 三重県総合博物館新しい生活様式に基づく感染防止対策ガイドライン改訂
- 5月9日(日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県まん延防止等重点措置」発出を踏まえて、5月31日(月)まで、入口・ホームページ等へ県外からの来館を控えていただくお願いを掲示。
- 5月28日(金) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県まん延防止等重点措置」の延長にあわせて、期限を6月20日(日)までに延長。
- 6月22日(火) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県まん延防止等重点措置」の終了及び「三重県リバウンド阻止重点期間」を踏まえて、6月30日(水)まで、入口・ホームページ等へ県外からの来館を控えていただくお願いを掲示。
- 6月29日(火) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県リバウンド阻止重点期間」は終了するが、「三重県指針ver. 12」を踏まえて、入口・ホームページ等へ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されている都道府県などからの来館自粛していただくお願いを掲示。
- 8月13日(金) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県指針ver. 12」及び三重県新型コロナウイルス「緊急警戒宣言」改訂版を踏まえて、8月31日(火)まで、入口・ホームページ等へ県外からの来館を控えていただくお願いを掲示。こども体験展示室を当面の間、閉室するとともに、事前申し込み不要のイベントを無期限延期。
- 8月17日(火) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県まん延防止等重点措置」発出を踏まえて、9月12日(日)まで、入口・ホームページ等へ県外からの来館を控えていただくお願いを掲示。
- 8月18日(水) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県まん延防止等重点措置」発出を踏まえて、企画展関連事業及び9月11日(土)に計画していた年間予定事業を中止するとともに、展示室以外のスペースの利用を制限。
- 8月20日(金) 三重県総合博物館新しい生活様式に基づく感染防止対策ガイドライン改訂。
- 8月25日(水) 三重県緊急事態措置を踏まえて、8月27日(金)～9月12日(日)まで休館。休館に伴い、開催中の企画展「やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物」を8月26日(木)で中止。
- 9月2日(木) 新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、9月18日(土)に予定していた岐阜県博物館交流企画を中止。
- 9月10日(金) 三重県緊急事態措置の期間延長を踏まえて、休館期間を9月30日(木)までに変更するとともに、9月に予定していた企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」関連事業及び9月19日(日)に計画していたワークショップを中止。
- 9月29日(水) 三重県緊急事態措置の終了に伴い、10月1日(金)から開館するとともに、企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」の開催期間を11月27日(土)までに延長。合わせて、トピック展「昔の道具を考える」の開催期間について、12月4日(土)～2月13日(日)までの会期を令和4年1月4日(火)～2月

13日(日)に変更。また、10月に予定していたフィールドワーク及び文化財探訪のイベントを中止。

10月1日(金) 三重県総合博物館新しい生活様式に基づく感染防止対策ガイドライン改訂。

10月28日(木) こども体験展示室の利用を11月3日(水・祝)から再開。

令和4年1月21日(金) 三重県まん延防止等重点措置に伴い、移動展関連事業、トピック展関連事業の中止、令和4年2月12日(土)に計画していた年間予定事業を中止するとともに、こども体験展示室の閉室。

三重県総合博物館新しい生活様式に基づく感染防止対策ガイドライン改訂。

2月10日(木) 三重県まん延防止等重点措置の延長に伴い、移動展関連事業の中止、令和4年3月5日(土)に計画していた年間予定事業を中止するとともに、こども体験展示室の閉室を延長。

三重県総合博物館新しい生活様式に基づく感染防止対策ガイドライン改訂。

3月4日(金) こども体験展示室の閉室を延長。(再開は令和4年4月9日(日))

3月8日(火) 三重県総合博物館新しい生活様式に基づく感染防止対策ガイドライン改訂。

## 2 調査研究事業

### 2.1 研究概要

#### 1) 事業の趣旨・目的

博物館の使命やビジョンを達成するため、調査研究方針に基づいて活動を推進し、その成果を、展示等により情報発信する。さらにそれらを活用することによって、人づくりや地域づくりに貢献する。

#### 2) 事業の概要

館内外の連携・共同によるプロジェクト研究と学芸員がそれぞれ取り組む専門研究の2つのカテゴリにより研究計画を立てて調査研究を実施している。

##### (1) プロジェクト研究

三重の自然と歴史・文化を総合的に紹介している基本展示で取り上げたテーマのうち、研究を深化させることによって、当館の特色を発揮できるものを調査研究テーマとして設定し、学芸員及び外部研究者が連携・共同して取り組んでいる研究

中川良平・大島康宏：基本展示(自然)の深化・発展

小林 秀：雲井コレクション戦時資料に関する調査・研究

太田光俊：[基本展示]人の交流の深化・発展

瀧川和也：真宗高田派本山専修寺宝物館資料の調査・研究

瀧川和也：基本展示(人文)の整備・深化

田村香里：公立学校に保管されている標本資料の状況把握

人文系全員：天台真盛宗関連資料の調査・研究

##### (2) 専門研究

学芸員が専門分野や博物館活動に関する研究能力を維持・発展させていくためにテーマを設定して取り組んでいる研究

福田良彦：県内の道切り行事の調査・研究

福田良彦：伝統産業の調査・研究

福田良彦：伝統行事の継承についての研究

星野利幸：三重を中心とした名所と名所絵に関する研究

稲垣玲弥：こども体験展示室におけるこどもの興味関心についての研究

稲垣玲弥：ミュージアムフィールドにおける鳥類調査・研究

北村淳一：タナゴ亜科魚類の種多様化を駆動する繁殖ニッチ分化の進化遺伝機構  
 北村淳一：木曾川氾濫原の魚類群集構造の時空間動態  
 北村淳一：ミュージアムの新たな評価手法構築に関する実践研究—社会的価値と事業改善に着目して(三重県総合博物館の評価手法構築と関連)  
 北村淳一：農業農村における希少生物等調査(基本展示平野のくらしと関連)  
 北村淳一：圃場整備水路の魚類群集と管理(基本展示平野のくらしと関連)  
 北村淳一：伊勢市のため池に生息する三重県希少野生動植物種ウシモツゴの保全生態学的研究  
 北村淳一：希少淡水魚スイゲンゼニタナゴの保全分類学的研究  
 北村淳一：希少淡水魚における外来集団による遺伝的攪乱を簡便に検出する環境DNA検出系の開発：持続的な生息域内保全に向けて  
 北村淳一：農林業生産と環境保全を両立する政策の推進に向けた合意形成手法の開発と実践  
 小林 秀：形成期神宮御師に関する調査・研究  
 中川良平：一志層群貝化石密集層に含まれる化石の調査  
 中村千恵：子どもと博物館に関する調査・研究  
 中村千恵・田村香里：「さわって・みる」資料に関する調査・研究  
 中村千恵・田村香里：子どもたちと協働した地域の魅力に関する調査・研究  
 大島康宏：県内昆虫相の多様性解明と、紀伊半島および東海地方の昆虫を題材とした生物地理学的研究  
 大島康宏：昆虫類(とくにチョウ目タテハチョウ科昆虫)の分類、系統学的研究  
 大島康宏：博物館における昆虫を題材とした次世代育成と地域ネットワークの構築  
 大島康宏：当館収蔵資料の充実・整理作業と活用  
 大島康宏：三重県内昆虫類の自然史情報データベース  
 太田光俊：織豊期宗教勢力の分析手法についての研究  
 太田光俊・藤谷 彰：一般利用者の歴史資料に関する相談に関する調査・研究  
 太田光俊：御木本幸吉と真珠に関する基礎的研究  
 佐野 明：三重県における外来哺乳類の分布の変遷に関する調査  
 佐野 明：三重県産哺乳類の生息確認記録データベースの作成  
 瀧川和也：三重の仏像に関する調査・研究  
 瀧川和也：安本亀八に関する研究  
 田村香里：伊勢湾に死亡漂着したウミガメ類に関する調査  
 田村香里・稲垣玲弥：脊椎動物の標本を活用した学習教材の開発  
 田村香里・稲垣玲弥・北村淳一・佐野 明：三重県総合博物館所蔵鳥類目録の作成  
 津村善博：三重県内の中央構造線の露頭調査研究  
 津村善博：三重県における蛇紋岩の分布調査研究

### 3) 研究成果の刊行

- ・ 展覧会図録 三重県総合博物館 第28回企画展「やっぱり石が好き！～三重の岩石鉱物～」
- ・ 展覧会図録 三重県総合博物館 第29回企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」
- ・ 三重県総合博物館資料叢書 No. 8(三重県総合博物館収蔵資料目録 鳥類)
- ・ 三重県総合博物館研究紀要 第8号
- ・ 事業報告書「地域をつなぐ伊勢参り再発見プロジェクト 活動の記録」みえむプロジェクト実行委員会  
 ※令和3年度文化庁地域と共働した博物館創造活動支援事業

## 2.2 研究成果一覧

### 1) 発表論文等

- 藤谷 彰. 2022. 近世中期以降の津藩の土地売買慣行について一村の無年季的質地請戻し慣行から領主政策へ—三重県総合博物館研究紀要, 8: 52-68.
- 藤谷 彰. 2022. 三重県歴史的・文化的資産保存活用連携ネットワーク(みえ歴史ネット) 地域歴史文化継承ガイドブック, 発行所: 株式会社文学通信, 東京
- 服部早希. 2022. 伊勢統治時代の蒲生氏郷をめぐる諸問題—新出の発給文書を手掛かりに一, 三重県総合博物館研究紀要, 8: 43-51.
- 稲垣玲弥・川根有機・木村京子・佐野 明. 2022. 三重県におけるソウシチョウ *Leiothrix tabira* の記録. 三重県総合博物館研究紀要, 8: 27-30.
- Nagayama, S., Oota, M., Fujita, T., Kitamura, J., Minamoto T., Mori, S., Kato, M., Takeyama, N., Takino, F., Yonekura, R., Yamanaka, H. 2022. Autumn dispersal and limited success of reproduction of the deepbody bitterling (*Acheilognathus longipinnis*) in terrestrialized floodplain. Knowledge & Management of Aquatic Ecosystems, 423. <https://doi.org/10.1051/kmae/2022004>.
- 伊藤 玄・旗 薫・北村淳一・古屋康則. 2021. 宮城県成瀬川水系における国内外来ヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* の確認と遺伝的特徴. 魚類学雑誌, 69:57-62.
- 伊藤 玄・川瀬成吾・樋口るり子・北村淳一. 2021. 三重県南勢地域の五十鈴川水系における標本に基づくシロヒレタビラの初記録. 日本生物地理学会会報, 76: 1-5.
- 久保敦暉・伊藤 玄・野口亮太・北村淳一・古屋康則. 2021. 三重県加茂川水系におけるヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* の初記録および遺伝的特徴. 日本生物地理学会会報, 76: 25-29.
- 北村淳一・石鍋壽寛・間瀬浩子. 2021. 千葉県の農業水路におけるタナゴ亜科魚類ミヤコタナゴ *Tanakia tanago* の繁殖生態と生活史. 千葉県生物多様性センター研究報告, 10: 31-44.
- Yamazaki, Y., Kitamura, J., Ikeya, K., Mori, S. 2021. Fine-scale genetic structure of the endangered bitterling in the middle river basin of the Kiso River, Japan. Genetica, 149: 179-190.
- 小林 秀. 2021. 北畠氏被官佐藤信安の置文と「佐藤家文書」重要文化財佐藤家文書の世界. pp. 94-97, 石水博物館.
- 大島康宏. 2021. 伊賀盆地北部の蜻蛉目(トンボ目)昆虫. 生川展行(編). 伊賀盆地北部及び伊勢湾沿岸地域の昆虫 -三重昆虫談話会創立65周年記念事業-. pp. 11-25. 三重昆虫談話会, 松阪.
- 大島康宏. 2021. 伊賀盆地北部の長翅目(シリアゲムシ目)昆虫. 生川展行(編). 伊賀盆地北部及び伊勢湾沿岸地域の昆虫 -三重昆虫談話会創立65周年記念事業-. pp. 40-41. 三重昆虫談話会, 松阪.
- 大島康宏. 2021. 伊勢湾沿岸地域の蜻蛉目(トンボ目)昆虫. 生川展行(編). 伊賀盆地北部及び伊勢湾沿岸地域の昆虫 -三重昆虫談話会創立65周年記念事業-. pp. 137-141. 三重昆虫談話会, 松阪.
- 大島康宏. 2021. 伊勢湾沿岸地域の長翅目(シリアゲムシ目)昆虫. 生川展行(編). 伊賀盆地北部及び伊勢湾沿岸地域の昆虫 -三重昆虫談話会創立65周年記念事業-. pp. 164-165, 三重昆虫談話会, 松阪.
- 大島康宏. 2021. 東京都心で確認したクロイワツクツクの鳴き声について. Cicada, 28(1): 10.
- 大島康宏・森田奈菜. 2022. 三重県総合博物館ミュージアムフィールドにおけるチョウ類相(昆虫綱; チョウ類)について. 三重県総合博物館研究紀要, 8: 1-21.
- 大島康宏・荒島 弾. 2021. 伊賀市におけるチャイロスズメバチの採集記録について. ひらくら, 65(2): 32-33.
- 中根佑太・大島康宏. 2021. 南伊勢町で目撃および採集した複数のベニトンボについて. ひらくら, 65(2): 32-33.
- 西川充希・大島康宏. 2022. 津市新町で観察したキマダラカメムシについて. ひらくら, 66(1): 1-3.
- 福田知子・大島康宏・森田奈菜. 2022. 三重大学地域貢献活動支援による昆虫標本整理プロジェクト



の成果 -生物多様性教育の一環としての標本作製体験提供-. 三重大学高等教育研究, 28: 45-53.

太田光俊. 2021. 中世の安濃津の寺院と真宗の展開. 高田学報, 109: 61-75.

太田光俊. 2021. 本願寺・一向一揆は全国各地で信長の支配に抵抗したのか. 歴史学フォーラム 2020  
の記録権力の担い手を考える: 34-42. 歴史学フォーラム2020実行委員会、大阪府

佐野 明・井元俊介. 2021. 三重県におけるニホンウサギコウモリとテングコウモリの新たな分布記録.  
南紀生物, 63: 21-23.

清水善吉・佐野 明. 2021. 三重県におけるクロホオヒゲコウモリの記録 -清水(2007)でヒメホオ  
ヒゲコウモリとされた個体の再検討-. 三重自然誌, 17: 72-73.

瀧川和也. 2022. 食行身禄と富士講関係資料 美杉の石造物 - 八幡地区編 -: 122-123.

田村香里・中村千恵. 2021. 身近な哺乳類の足跡を学ぶ触察教材の開発と学習プログラムの実践,  
JASEB NEWS LETTER, 40: 1-5.

種瀬優里・田村香里・森田正弥・水谷友亮・稲垣玲弥・北村淳一. 2022. 漂着ザトウクジラ *Megaptera  
novaeangliae* の処置と資料収集-尾鷲建設事務所と三重県総合博物館との協働-. 三重県総合博物館  
研究紀要, 8: 37-41.

米川弥寿代・田村香里. 2022. 2019年伊勢湾岸に死亡漂着したアカウミガメ *Caretta caretta* の消化管内  
容物による死亡原因推測の試み, 三重県総合博物館研究紀要, 8: 31-35.

## 2) 著書・編著等

門口実代. 2021. 結婚. 講座日本民俗学4社会と儀礼. 関沢まゆみ編. 朝倉書店. 146-162.

## 3) 資料紹介・報告・研究ノート等

稲垣玲弥. 2021. 子どもの視点から見る博物館-こども体験展示室の記録から-. みえんしす(三重県  
総合博物館情報誌), 34:4-5.

稲垣玲弥. 2022. 三重の実物図鑑 特集展示 2022年新春展示 三重のトラたち. みえんしす(三重県総  
合博物館情報誌), 35:4.

中村千恵・太田光俊・星野利幸・田村香里・福田良彦. 2022. 地域をつなぐ伊勢参り再発見プロジェク  
ト 活動の記録. みえむプロジェクト実行委員会, 津, 10pp.

太田光俊. 2022. 《新刊紹介》「教育三重史料研究第一集」の発刊. ふびと, 73:101-102.

太田光俊. 2021. 三重県下の洋学. 洋学史研究事典. 思文閣出版, 京都. 350.

## 4) 普及的著作等

福田良彦. 2022. 正月のしめ飾り. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 令和4年2月12日12面

服部早希. 2021. 射和寺伝来の政勝御教書など. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三  
重, 10月21日1面

星野利幸. 2021. 雲根志. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 5月8日15面

井上有希. 2022. 三重の実物図鑑特集展示『三重の国体-1975年 みえ国体-』. みえんしす(三重県総  
合博物館情報誌), 35:6.

甲斐由香里. 2022. ミュージアムレポート 企画展示室のちょうどよい環境づくり Vol.2. みえんしす  
(三重県総合博物館情報誌), 36:4

北村淳一. 2021. 「学芸員がミュージアムを変える! 公共文化施設の地域力」を分担執筆しました. み  
えんしす(三重県総合博物館情報誌), 34:6.

北村淳一. 2022. トラフグ樹脂含浸標本. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 令和4年1月8日  
19面.

小林 秀. 2021. 歴代北畠氏で唯一伝わる肖像. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三  
重, 10月7日1面

小林 秀. 2021. 北畠氏からの制札. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重,

- 11月4日1面
- 小林 秀. 2021. 北畠氏発給の御教書2通. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重, 11月18日1面
- 小林 秀. 2021. 来迎寺に残る具房の文書. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重, 11月25日1面
- 小林 秀. 2022. 三重の実物図鑑 特集展示 ミニ館蔵品展-武器・武具. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 35:5.
- 森田奈菜. 2021. 私たちの「推し」を展示します!. Mnews(三重県総合文化センター情報誌), 136:6.
- 森田奈菜. 2022. トピック展「集結!学芸員の一押し資料」. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 35:3.
- 森田奈菜. 2022. ミュージアムフィールドの桜. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 令和4年3月12日.
- 守屋和幸. 2022. 館長着任にあたって. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 33:1.
- 中川良平. 2021. 榎野層の浮遊性有孔虫. MieMu発トピック伊賀. 中日新聞(伊賀), 4月7日18面
- 中川良平. 2021. 新しい?シカ足跡化石. MieMu発トピック伊賀. 中日新聞(伊賀), 4月14日16面
- 中川良平. 2021. 小さな化石の抽出. MieMu発トピック伊賀. 中日新聞(伊賀), 4月21日12面
- 中川良平. 2021. ふるいで化石探し. MieMu発トピック伊賀. 中日新聞(伊賀), 4月28日12面
- 中村千恵. 2021. 伊勢への旅 江戸の風情 御師・三日市大夫次郎屋敷復元模型. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 6月12日15面
- 中村千恵・太田光俊. 学習教材「お伊勢参り道中すごろく」. 三重県総合博物館
- 小掠光裕. 2021. 貝細工. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 9月11日15面
- 大島康宏. 2021. みんなでつくった昆虫標本. 全科協ニュース(全国科学博物館協議会連絡誌), 51(4):16.
- 大島康宏. 三重県総合博物館のレファレンス対応. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 36:6.
- 太田光俊. 2021. 北畠氏の御祈願所だった安養寺. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重, 9月30日1面
- 太田光俊. 2021. 本宗寺の蓮如・如光連坐像. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重, 11月11日1面
- 太田光俊. 2022. 「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」で天台真盛宗の資料を多数展示しました. 宝珠, 127:6
- 太田光俊. 2022. 「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」で天台真盛宗の資料を多数展示しました. 伊勢教区だより(天台真盛宗伊勢教区宗務支所), 127:6
- 太田光俊・小林秀・瀧川和也・服部早希. 2021. 第29回企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 34:1-3.
- 佐野 明. 2021. コウモリと戦争遺跡. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 8月14日13面
- 佐野 明. 2021. ニホンジカによる樹皮食害. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 33:5.
- 瀧川和也. 2021. 天台真盛宗の宗祖真盛. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重, 10月14日1面
- 瀧川和也. 2021. 法然の生涯描いた伝記絵. 寺院に伝わる戦国の残像 北畠氏のいた時代. 夕刊三重, 10月28日1面
- 田村香里. 2021. こども体験展示室を再開. 中日新聞博物館だより. 中日新聞(広域三重), 4月10日19面



田村香里. 2022. 多気町の小学生のみなさんと「多気町をたんけん!はっけん!」. みえんしず(三重県総合博物館情報誌), 35:1-2.

寺村善樹. 2021. 高校生の博物館利用. みえんしず(三重県総合博物館情報誌), 34:6.

宇河雅之. 2021. 聞き取り調査 昔の道具の思い出から. みえんしず(三重県総合博物館情報誌), 33:3-4.

宇河雅之. 2022. トピック展 昔の道具を考える. みえんしず(三重県総合博物館情報誌), 35:5.

#### 5) 招待講演・学会発表等

伊藤玄・小山直人・野口亮太・田畑諒一・川瀬成吾・北村淳一・古屋康則. 2021. 9. 18-20. シロヒレタビラの遺伝的集団構造. 2021年度日本魚類学会年会 日本魚類学会(Web). [ポスター発表].

山野ひとみ・川瀬成吾・北村淳一. 2021. 9. 18. 日本産カゼトゲタナゴ類の形態比較. 2021年度日本魚類学会年会 日本魚類学会(Web). [口頭発表].

北村淳一. 2021. 10. 30. 日本のタナゴ. シンポジウム「緊急企画!タナゴ類の多様性と放流問題」. 第73回魚類自然史研究会(Web). [招待講演・口頭発表].

北村淳一. 2021. 12. 26. 木曾川氾濫原水域における淡水魚類の分布に影響する要因. 河川文化研究会勉強会(Web). [招待講演・口頭発表].

小林 秀. 2021. 10. 24. 伊勢国司北畠氏と松阪, 松阪学入門講座. 松阪歴史文化舎 講演.

小林 秀. 2021. 11. 7. 伊勢国司北畠氏と佐藤文書, シンポジウム重要文化財佐藤家文書の世界. 石水博物館 講演.

中村千恵・田村香里・稲垣玲弥. 2022. 2. 18. 三重県立盲学校と連携したさわって学ぶ学習プログラムの実践と教材開発. 全国科学博物館協議会第29回研究大会ポスター発表(オンライン)

松橋義隆・中川良平. 2022. 2. 5. 静岡県浜松市北区三ヶ日町平山祥月洞より産出した哺乳動物群集と放射性年代測定. 日本古生物学会年会 ポスター発表.

大島康宏. 2021. 4. 17. 希少生物ギフチョウの魅力 ~ギフチョウを通じた地域コミュニティと地域づくりの可能性~, 薦原地域づくり委員会・名張市立薦原小学校・伊賀ふるさとギフチョウネットワーク [招待講演]

大島康宏. 2021. 9. 6. コロナ禍におけるオンラインを活用した昆虫類の観察会の実施例 -ライブ配信とオンデマンド配信-. 日本昆虫学会第81回大会(法政大学). 昆虫担当学芸員協議会[口頭発表].

大島康宏・河野勝行. 2021. 12. 19. 2019年および2020年の秋に三重県内で採集および目撃されたアカガカメムシ(カメムシ目;キンカメムシ科)について. 三重昆虫談話会(オンライン).

大島康宏. 2022. 2. 17. 自然史情報を次世代につなぐために地域博物館ができること -三重県総合博物館の昆虫分野の活動から-. 令和3年度第2回全国科学博物館協議会理事会・総会講演(オンライン).

太田光俊. 2021. 11. 20. 江戸時代の伊勢参宮を支えた人びと ~御師とは誰なのか~, 日本道教学会72回大会[オンデマンド配信による招待講演]

## 2.3 研究推進委員会

### 1) 制度の概要

三重の自然と歴史・文化及び博物館活動に関する研究を目的として、館の研究活動に資するため、館外の研究者を三重県総合博物館研究推進委員として、令和3年4月1日から委嘱している。委嘱期間は2年とし、再任は妨げない。

### 2) 研究推進委員

岩崎奈緒子 京都大学総合博物館教授 令和3年4月1日～令和5年3月31日

疋田 努 京都大学名誉教授 令和3年4月1日～令和5年3月31日

## 2.4 研究協力者

### 1) 制度の概要

三重の自然と歴史・文化及び博物館活動に関する研究を目的として、館の研究活動に資するため、館外の研究者を三重県総合博物館研究協力者として、令和3年4月1日から委嘱している。委嘱期間は1年とし、再任は妨げない。

### 2) 研究協力者

岸田早苗	斎宮歴史博物館	令和3年4月1日～令和4年3月31日
天野秀昭	斎宮歴史博物館	令和3年4月1日～令和4年3月31日
中野 環	三重県立特別支援学校玉城わかば学園	令和3年4月1日～令和4年3月31日
松本 功	三重県立四日市農芸高等学校	令和3年4月1日～令和4年3月31日
間瀬 創	国立文化財機構文化財活用センター	令和3年4月1日～令和4年3月31日
小竹一之	多気町立勢和小学校	令和3年4月1日～令和4年3月31日
大野照文	専修寺宝物館	令和3年4月1日～令和4年3月31日
大西 到	松阪市立中川小学校	令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 3 資料収集・保存

当館では、前身の三重県立博物館収蔵資料を引継ぎ、三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承するとともに、基本展示室、企画展示等で、三重の自然と歴史・文化に関するさまざまな資料を展示することを目的に資料を収集・保存している。

### 3.1 資料一覧概要

〈自然分野〉 433, 517点		
地学資料	18, 836点	化石(恐竜化石・ほ乳類化石等)、岩石標本、鉱物標本等
動物資料	290, 080点	ほ乳類、鳥類、昆虫類、魚類、両生類、は虫類、貝類、クモ類、カニ類、異尾類・棘皮類、海岸動物など形態：はく製、仮はく製、骨格標本、乾燥標本、液浸標本、含浸標本など ※飼育標本：特別天然記念物オオサンショウウオ 1匹
植物資料	124, 576点	さく葉標本、コケ植物標本、菌類標本、植物レプリカ、樹脂標本
理工資料	25点	
〈人文分野〉 162, 793点		
考古資料	514点	古墳出土資料等
美術工芸資料	2, 819点	絵画書跡、版画(浮世絵ほか)、工芸品(陶磁器)、工芸品(武器・武具など)
歴史資料	87, 038点	古文書類、典籍・古記録類、絵図・地図類、貨幣、引札、絵はがきなど
民俗資料	6, 141点	衣食住関連、信仰関連生業、生産関連、交通・運輸・通信関連、芸能・娯楽関連、社会生活関連、年中行事関連資料など
行政刊行物等	39, 561点	
特定歴史公文書等	26, 720点	行政文書、絵図・地図等
計 596, 310点		

※「特定歴史公文書等」は文化振興課歴史公文書班が所管している。

### 3.2 資料収集

#### 1) 資料購入

令和3年度は、資料の購入は行わなかった。

#### 2) 資料寄贈

寄贈日	資料名	点数	内 容	寄贈者
5月20日	民俗資料	18点	手揚げ煙草盆 ほか	個人

寄贈日	資料名	点数	内 容	寄贈者
6月9日	美術工芸資料	1点	磯部百鱗作 六歌仙図	個人
7月8日	植物資料	1,630点	水草標本さく葉標本	個人
8月6日	昆虫資料	1式	日野量平氏 昆虫標本コレクション	個人
8月22日	歴史資料	1点	融通講仕方簿	個人
9月5日	歴史資料	1点	鉱物標本(国民学校児童用教材)	個人
9月7日	昆虫資料	1式	岡垣 壮氏 昆虫標本コレクション	個人
9月17日	昆虫資料	3点	イガツブゲンゴロウ <i>Laccophilus shinobi</i> Yanagi et Akita, 2021模式標本群	個人
10月19日	化石資料、鉱物資料、標本資料	1,418点	志摩マリンランド閉館に伴う資料 化石資料約1,300点、鉱物資料88点、標本資料約30点	団体
10月30日	歴史資料	59点	戦時国債等	個人
11月10日	美術工芸資料	13点	津藩土島地家に伝来した具足・刀剣など	個人
12月17日	歴史資料	2点	津興橋 鋼橋部材の一部	津市
12月23日	歴史資料	11点	戦死広報、藩札等	個人
12月24日	歴史資料	465点	国内発行記念切手	個人
令和4年1月20日	美術工芸資料	2式	津藩主藤堂家に伝来した藤堂高久所用具足 ほか	個人
令和4年2月3日	歴史資料	1式	柳瀬家に伝来した文書など	個人
令和4年2月15日	図書資料	570点	三重県の歴史・文化に関する参考図書	個人
令和4年3月15日	歴史資料	16点	御大典奉祝名古屋博覧会絵葉書、絵葉書帳 ほか	個人

### 3.3 資料保存

当館では収蔵庫等の定期燻蒸は原則として行わず、目視点検で虫菌害の進行が疑われる、あるいは点検自体が困難である新規収蔵資料等について、収蔵庫搬入直前に殺虫処理を行う方針をとっている。原則として二酸化炭素処理による殺虫、又は酸化エチレンによる殺虫燻蒸(0.5%)を行い、明らかにカビ被害が発生・進行している場合には酸化エチレンによる殺菌燻蒸(1%)を行っている。

令和3年度は酸化エチレンによる殺虫処理を7回行った。

## 4 展示

### 4.1 基本展示

「基本展示室」と名付けた常設展示では、三重県がどんなところか、三重県の多様で豊かな自然と歴史・文化が持つ多彩な魅力や特色を、360°連続する三重の美しいパノラマに包まれた展示空間の中で一体的に紹介している。“三重がもつ「多様性の力」”をテーマとして、「大地のなりたち」「多様で豊かな自然」「三重をめぐる人・モノ・文化の交流史」「自然とともに生きる」の4つのコーナーで紹介している。

#### ※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策

令和2年度に実施した、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による、基本展示室とこども体験展示室への光触媒による抗菌加工(令和3年3月15日)は、観覧者の安心と安全を補完するものとして一定の効果をもたらすとともに、閉館前に実施していた受付スタッフによる消毒作業の終了など業務の負担軽減に役立った。ただし、より安全性を高めるため、令和3年度も引き続き観覧者に基本展示室への入退室時に手指の消毒を行うよう依頼。展示室内において使用するスコアペン(アンケート等の記入用)は、使用前と使用済みの容器を分け、さらには使用済みのものについて受付スタッフが殺菌線消毒保管庫で殺菌するなど、前年度に引き続き継続した感染対策を行っている。

#### ※学芸員による動画配信

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を制限した「基本展示室スポットガイド」や「学芸員講座」に代わるものとして、基本展示室の各コーナーから学芸員が選りすぐりの情報を約3分間にまと

めて紹介する「へえーそうなんや！三重」や学芸員がそれぞれの専門分野の一端をトリビア的に紹介する「学芸員ミニ講座」など、動画の作成と配信についても継続的に取り組んでいる。

## 4.2 企画展示

### 4.2.1 企画展

#### 1) 第28回 企画展 やっぱり石が好き！ 三重の岩石鉱物

【会 期】 4月24日(土)～8月29日(日)＜開催日数107日間 ※開催予定日数110日間＞  
※8月27日(金)～29日(日)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3日間休館

【会 場】 企画展示室(800㎡)

【主 催】 三重県総合博物館

【後 援】 三重県博物館協会、一般社団法人 日本地質学会

【助 成】 公益財団法人 岡田文化財団

【概 要】 河原や海岸で見かける石ころは、実は色や形などがいろいろで、そこには豊かな石の世界が存在する。三重県内にみられる石も3億年の時の流れの中で繰り返されてきたプレートの沈み込み、マグマの発生、火山の爆発、断層活動などのさまざまな地質イベントに関わってきたものである。近年、南海トラフ地震や活断層など地学に関するニュースが取り上げられたり、各地の歴史や文化、暮らしを大地の成り立ちから紐解く番組が人気を得たりするなど、地学に対する興味関心が高まってきている。特に自分の住んでいる地域の大地のようすを学ぼうとする意欲が高揚してきている。企画展では、三重県産の岩石や鉱物などを網羅的に展示し、その魅力を伝え、理解を深めていただき、岩石や鉱物をとおして自分の住んでいる土地の様子や成り立ちを考えるきっかけになることをめざした。また、石と人の関わりを人文資料から紹介するなど、総合博物館としてふさわしい展示も心がけた。

なお、交流展示室で、思い出のある石を募集して4期に分けて展示する「みんなの思い出のある石展」を同時開催するとともに、夏休みのイベントとして、チラシに掲載している石を探す「「石」をさがしてみよう」を実施した。

(主な資料)

那智黒石(黒色頁岩)、柱状節理(室生火砕流堆積物)、球状岩(球状花崗岩・球状花崗閃緑岩)、水晶(松茸水晶を含む)、辰砂(三重の石)、高師小僧(針鉄鉱)、花崗岩、1種類の鉱物でできている岩石(結晶質石灰岩)、人工物(レンガ、アスファルトなど)、黄銅鉱、バラ輝石、ザクロ石、石墨などの鉱物標本、三重県で見つかった世界初の鉱物(伊勢鉱、三重石、ランタンピーターズ石など)、三重県で見つかった日本初の鉱物(バニア石など)、斑状花崗岩、流紋岩、石灰岩、岩石の偏光顕微鏡写真、玄武岩などの枕状溶岩、チャート、凝灰岩(室生火砕流堆積物最下部)、快慶作阿弥陀立像、雲根志、石器・勾玉等考古資料、石臼、火打石、隕石、黄銅鉱等の金属鉱石、石材としての花崗岩、セメントの原料としての石灰岩、磨き砂としての火山灰、焼き物の原料の陶土、風化した花崗岩や蛇紋岩など

【観 覧 料】 一般800円、大学生480円、高校生以下無料

【観覧者数】 17,419人(うち高校生以下:8,325人)

【関連講座等】

行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
講演会 企画展まで待てない！魅力がいっぱい、三重の岩石鉱物の世界	4月18日(日)	レクチャールーム	12	当館研究協力者 小竹一之

行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
ギャラリートーク	4月29日(木・祝)	レクチャールーム	7	当館職員 津村善博
	5月30日(日)		10	
	6月19日(土)		20	
	7月17日(土)		20	
	8月7日(土)		14	
水晶さがし	5月4日(火・祝)	実習室	68	当館研究協力者 小竹一之
	8月14日(土)		63	
那智黒石ペンダントづくり	5月5日(水・祝)	実習室	59	当館研究協力者 小竹一之
	8月15日(日)		56	
講演会 三重県で見つけた世界新産 鉱物	5月16日(日)	レクチャールーム	30	鉱物研究家 稲葉幸郎
フィールドワーク 紀和町板屋川の鉱物観察会	5月23日(日)	熊野市紀和町 板屋川付近	19	当館職員 津村善博
フィールドワーク MieMu・そうぶんの岩石・石 材観察会	6月3日(木)	実習室 (集合場所)	15	当館職員 津村善博
	7月10日(土)	実習室 (集合場所)	12	
講演会 地質から探る三重の大地の歴史-「火山の岩石」は何を語るか?-	6月27日(日)	レクチャールーム	46	愛知教育大学教授 星 博幸
フィールドワーク 室生火砕流堆積物の見学会	7月4日(日)	名張市香落溪付近	20	当館職員 津村善博
「石」なんでも相談会	7月18日(日)	レクチャールーム	52	当館職員 津村善博
ギャラリートーク for KID'S	8月7日(土)	レクチャールーム	28	当館職員 津村善博
作って見よう偏光の世界	8月21日(土)	実習室	中止	当館職員 津村善博、当館研究協力者 小竹一之
水晶さがし(小学生以下対象)	8月29日(日)	実習室	中止	当館職員 津村善博、当館研究協力者 小竹一之
計			551	

○関連イベント

行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
みんなの思い出のある石展	4月24日(土)～ 8月29日(日)	交流展示室 (壁ケース)	39	出品者
「石」をさがしてみよう	7月20日(火)～ 8月29日(日)	企画展示室	—	—
アソボ・マナボ・タノシソウ ブン連携企画ロックバランス シングに挑戦しよう!	8月8日(日・祝)	交流活動室	79	当館職員 中村千恵 ミュージアムパートナーおもしろ博物館グループ
計			118	

【担当】津村善博、北村淳一、大島康宏、星野利幸、宇河雅之、田村香里





展示風景



B2ポスター

## 2) 第29回 企画展 寺院に伝わる戦国の残像 ～北畠氏のいた時代～

【会 期】 10月1日(金)～11月27日(土) <開催日数50日間>

※開催予定期間は9月18日(土)～11月14日(日)であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月27日(金)～9月30日(木)まで休館に伴い、10月1日(金)から開催し、11月27日(土)まで開催期間を延長した。

【会 場】 企画展示室(800㎡)

【主 催】 三重県総合博物館

【後 援】 津市教育委員会、四日市市教育委員会、松阪市教育委員会、伊賀市教育委員会、多気町教育委員会、明和町教育委員会、三重県博物館協会

【協 力】 大津市歴史博物館

【助 成】 公益財団法人 岡田文化財団、芸術文化振興基金

【特設コーナー協力】 NPO法人三重ドリームクラブ、三重大学数理・データサイエンス館

【概 要】 三重県内の寺院には、戦国時代の様子を伝える貴重な資料が多く遺されている。禅宗を深く信仰し出家して無外逸方と名乗った伊勢国司北畠氏の当主正勝の肖像画をはじめ、天台真盛宗の宗祖真盛や真宗高田派の中興真慧の活躍を示す古文書、一揆や徳政令など村落の民衆がダイナミックに動いた様子を示す古文書、多くの寺院が展開した港湾都市安濃津や周辺地域に伝わる仏像などの仏教美術まで、北畠氏のいた時代に展開した、武将や仏教が織りなす世界を展示した。

(主な資料)

重要文化財専修寺文書(津市、専修寺)、重要文化財版本天台三大部(津市、西来寺)、重要文化財阿弥陀如来立像・作善日記(四日市市、善教寺)、重要文化財阿弥陀如来倚像(津市、成願寺)、重要文化財絹本著色仏涅槃図(津市、成願寺)、県指定有形文化財北畠逸方寿像(松阪市、浄眼寺)、県指定有形文化財浄眼寺文書(松阪市、浄眼寺)、県指定有形文化財紙本墨書安養寺文書(明和町、安養寺)、県指定有形文化財紙本墨書射和寺文書(松阪市、射和文庫)、県指定有形文化財 槍 銘 雲林院住包治(四日市市、四日市市立博物館)、県指定有形文化財紙本墨書真盛自筆消息(伊賀市、西蓮寺)、県指定有形文化財紙本墨書真盛自筆消息(津市、西来寺)、県指定有形文化財紙本墨書成願寺文書(津市、成願寺)、県指定有形文化財布帛墨書真盛筆戸帳名号(津市、成願寺)、県指定有形文化財紙本墨書真盛自筆消息二月十七日盛音坊あて(松阪市、来迎寺) など、

(特設コーナー)

手作り甲冑、3Dプリント模型

【観 覧 料】 一般800円、大学生480円、高校生以下無料

【観覧者数】 10,920人(うち高校生以下:5,847人)

【関連講座等】

行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
講演会「三重の仏像～雲出川流域からみる～」	9月19日(日)	レクチャールーム	中止	当館職員 瀧川和也
講演会「三重の戦国時代研究最前線 中世の村落小倭と城郭」	10月3日(日)	レクチャールーム	46	三重県埋蔵文化財センター 所長 竹田憲治
講演会「三重の戦国時代研究最前線 密教系寺院と白山権現社(白山比咩神社)のある風景」	10月30日(日)	レクチャールーム	54	三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 有形文化財班長 伊藤裕偉
講演会「三重の戦国時代研究最前線 北畠政勝という武将」	11月6日(土)	レクチャールーム	60	当館職員 小林 秀
講演会「三重の戦国時代研究最前線 真盛とその時代」	11月14日(日)	レクチャールーム	66	元龍谷大学文学部 特任教授・元叡山学院 教授 寺井良宣、当館職員 太田光俊
計			226	

※講演会終了後、それぞれ学芸員による関連資料の解説「ギャラリートーク」を実施した。

○関連イベント

行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
岐阜県博物館交流企画 講演会「豊臣政権下の稲葉家の動向」	9月18日(土)	レクチャールーム	中止	岐阜県博物館 人文系学芸員 安藤 均
文化財探訪「津市内を歩く～一身田とその周辺～」	10月10日(日)	高田会館 大ホール	中止	当館職員、真宗高田派本山専修寺職員 特別協力：真宗高田派本山専修寺
生涯学習センター連携講演会「北畠氏城館跡のひみつ」	10月17日(日)	三重県文化会館 レセプションルーム	74	津市教育委員会事務局生涯学習課 学芸員 熊崎 司 主催：三重県生涯学習センター
計			74	

【刊行物】ポスター(B2版)、チラシ(A4版)

【担当】太田光俊・小林 秀・瀧川和也・服部早希



展示風景



B2ポスター

#### 4.2.2 交流展

令和3年度は交流展を実施しなかった。

#### 4.2.3 トピック展ほか

トピック展は企画展示室で実施したが、基本展示室から入場できる動線確保し、基本展示室の観覧料で観覧可能とした。また、基本展示室とつなげ展示面積を増やすことで、収容定員を増やし、密状態の緩



和もはかった。

### 1) トピック展「昔の道具を考える」

会 期	令和4年1月4日(火)～令和4年2月13日(日) <開催日数36日> ※開催予定期間は12月4日(土)～令和4年2月13日(日)であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い、会期を変更した。
会 場	交流展示室(200㎡)
主 催	三重県総合博物館
後 援	三重県博物館協会
内 容	明治時代から昭和・平成時代にかけての生活用具を紹介するとともに、現在私たちが使用しているものとの対比や実際に使ってきた人々の証言をおとして、新しい道具の出現が人々の暮らしにどのような変化をもたらせたか、また、私たちの暮らしの変化が道具にどのような変化を与えたかについても考えた。そして、脱炭素社会の推進やSDGsが叫ばれる中、私たちの暮らしを支える道具は、これからどうあるべきかを考える機会とした。
主な資料	白黒テレビ、液晶カラーテレビ、改良カマド、火ふき竹、大鍋、羽釜、茶釜、せいろ、羽釜、電気炊飯器、お櫃、お櫃入れ、保温ジャー、電気保温ジャー、臼、杵、電気餅つき機、七輪、火消壺、電熱器、IH電磁調理器、氷冷蔵庫、電気冷蔵庫(鍵付き)、電気冷蔵庫(2ドアタイプ)、電気冷蔵庫(3ドアタイプ)、洗濯板、盥、金盥、手回し式洗濯機、電気洗濯機、電気洗濯機、二槽式洗濯機、洗い張り板、伸子・絹張、火鉢斗、炭火アイロン、スチームアイロン、裁縫箱、裁ち板、ものさし(鯨尺)、手回し式ミシン、足踏みミシン、電気ミシン、燭台、雪洞、角行灯、丸行灯、石油ランプ(吊ランプ)、石油ランプ(置ランプ)、はだか電球とカサ、天井吊り下げ照明器具、電気スタンド、火鉢、火箸、角火鉢、練炭火鉢、炭籠、炭火おこし、台十能、十能、石油ストーブ、電気ストーブ、石油ファンヒーター、だるま火鉢、行火、寝爐、豆炭行火、懐爐・灰、電気行火、置炬燵、電気置炬燵、炬燵、電気炬燵、扇風機、蚊帳、棹秤、上皿棹秤、体重計、デジタル体重計、上皿自動秤、五つ玉そろばん、四つ玉そろばん、計算尺、手廻し式計算機、機械式手動計算機、電卓
観覧者数	2,655人
担 当	宇河雅之、小掠光裕

#### ○関連イベント

行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
ミニ講演会&道具の使い方紹介	令和4年1月10日 (月・祝)	レクチャールーム	6	当館職員 宇河雅之
ミニ講演会&道具の使い方紹介	令和4年2月11日 (金・祝)	レクチャールーム	中止	当館職員 宇河雅之
透明せっけんをつくってコロナをやっつけよう!	令和4年2月13日 (日)	実習室	中止	当館職員 小掠光裕
計			6	



展示風景



B2ポスター

## 2) トピック展「集結！学芸員の一押し資料」

会 期	令和4年1月29日(土)～4月6日(水) <開催日数58日うち令和3年度53日>
会 場	企画展示室(約400㎡)
主 催	三重県総合博物館
内 容	学芸員が日頃の調査・研究や資料収集で得られた情報や研究成果を広く県民に紹介するために実施するもので、特にコロナ禍により博物館活動が制約を受けた令和2年から3年度に進めた各学芸員の取組を資料やデータ等をもって紹介した。 この展示を通じて、日頃の活動が見えない学芸員の取組や博物館の役割における調査・研究・資料収集活動について広く普及を図る機会とした。
主な資料	津市産の蛾類標本、カナマルマイマイの乾燥標本、県内の植物標本、志摩マリンランドから寄贈されたサメの歯化石、三重県産の「流紋岩とタファイト」の標本、タナゴ亜科魚類の液浸標本、カモンカ類の剥製、古文書、根付、伊賀焼、鞆と鞆まつり資料、伊勢型紙資料、こども体験展示室の子どもたちが書いた記録用紙
観覧者数	4,062人<うち令和3年度3,659人>
担 当	森田奈菜



展示風景



B2ポスター

### 4.3 こども体験展示室

こども体験展示室は小さな子どもでも博物館を身近に感じ、楽しみながら学びを得られる展示室である。展示室の中は、やってみるコーナー、しらべるコーナー、つたえるコーナー、未就学児コーナーの4つのコーナーにわかれており、それぞれの場所で子どもたちが自ら展示を探してみつけ、興味をもったものを調べ、発見したことを発表できる。この一連の流れは博物館の学芸員の仕事の調査・研究・展示発表と同じであり、その体験ができるようになっている。

令和3年3月27日(土)より、土日祝日のみ、午前・午後1回7組1時間ずつ運用を再開した。5月より、平日は学校団体利用のみ、午前・午後1回1組ずつ運用を開始した。また、夏休み期間中の利用者の増加に対応するため、7月22日(木・祝)より、土日祝日および8月11日(水)～13日(金)の期間は、午前1回・午後2回7組1時間ずつで運用したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、8月14日(土)より再び閉室した。感染状況が改善されたため、10月から平日の学校団体利用を再開し、11月3日(水・祝)より土日祝日の一般利用についても午前・午後1回7組1時間ずつの運用を再開した。また、感染拡大防止対策として令和4年1月22日(土)から4月8日(金)まで、再び閉室した。

### 4.4 三重の実物図鑑

三重の実物図鑑は動物や植物、動物、伝統工芸品など三重の自然と歴史・文化に関する基本的な資料を、図鑑のようにじっくりと間近で見ることができる展示室である。

#### 1) 自然分野

自然に関する資料は、図鑑のような分類展示を意識し、動物、植物、岩石・鉱物、化石ごとに展示し

ている。また、映像やグラフィック、生物の生態を伝える展示手法を加えて、身近な三重の魅力を再発見できるように展示している。なお、令和3年度は常設の展示に加えて、次の取組を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、触れる標本の展示は中止した。

【昆虫】 令和2年度に引き続き、県民とともに実施しているミュージアムフィールドの昆虫調査結果を展示している。なお、参加者が各自のテーマで調査した成果をドイツ箱にまとめて、棚で展示していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和2年度から開閉を中断している。

【脊椎動物】 県内に生息する身近な動物を展示した。

【岩石・鉱物】 県内の岩石・化石を展示した。

## 2) 人文分野

当館所蔵の三重の歴史と文化に関する資料を中心にテーマを設定し、「特集展示」として展示を行っている。資料保存の観点や季節・企画に応じた展示替えを行った。

### 【特集展示】

展示タイトル	展示期間	展示資料	担当者
伊賀焼と信楽焼	4月17日(土) ～6月13日(日)	伊賀焼壺、伊賀焼蹲壺、伊賀焼文字徳利、伊賀焼青土瓶、信楽焼ランビキ、信楽焼メス狸置物、信楽焼大津絵徳利 ほか	瀧川和也
いにしへの津	6月19日(土) ～7月18日(日)	藤堂高虎書状、藤堂高次書状、岩田橋擬宝珠、古安東色絵草花文手鉢、阿漕焼大鉢、津城鯪瓦、偕楽公園絵図、伊勢参宮名所図会 ほか	小林 秀
戦争と三重～兵士と銃後～	7月24日(土) ～8月29日(日)	陸軍鉄兜、大日本国防婦人会たすき、奉公袋、陸軍防毒面、巻脚絆、慰問袋、軍隊手牒、陸軍軍帽、ラッパ、戦陣訓、千人針、日の丸書き、供出申込書、衣料切符 ほか	服部早希
三重の国体	9月18日(土) ～10月17日(日) ※9月18日(土) ～30日(木)は休館のため閉室	第30回国民体育大会夏・秋季大会開催地内定通知、県営体育館建築図面、秋季大会開会式プログラム、競技マーク旗、炬火トーチ ほか	井上有希、 共催：文化振興課
中世古文書の世界	10月30日(土)～ 11月28日(日)	徳川家康書状、北畠具房判物、北条義時書状、足利義満御内書、伊勢守護畠山高国感状、伊勢安国寺定書、北条貞時消息 ほか	小林 秀
三重のトラたち ※	12月18日(土)～ 令和4年1月23日(日)	携帯磁石、虎仙人図、鍾馭図、色絵虎文竹形掛花生、色絵竹文虎形土瓶、北斎漫画、和漢三才図会、集古十種、伊勢暦 ほか	中村千恵・ 稲垣玲弥
ミニ館蔵品展 -武器・武具-	令和4年1月29日(土)～ 2月20日(日)	刀 銘 伊賀国住広山茂左衛門吉永、短刀 銘 備州長船清光、刀 銘 村正、六十二間小星兜、白絲緘桶側胴具足、火縄銃、腰刀形単筒 ほか	小林 秀・ 服部早希
三重県埋蔵文化財センター発掘調査速報展 土の中から『こんにちは!』	令和4年2月26日(土)～ 4月24日(日)	小牧南遺跡出土(縄文土器、石鏃、垂飾)、筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡出土(金環、須恵器)、松坂城下町遺跡(通い徳利、汽車土瓶) ほか	小林 秀、 共催：三重県埋蔵文化財センター

※あわせて、館内を探検しながらトラに関する様々な展示資料を見つけるイベント「MieMuでさがそうレッツ『トラ』イ!」を実施した(12月18日(土)～令和4年1月23日(日))。

## 4.5 オオサンショウウオ生態展示

館内の観察水槽にてオオサンショウウオのさんちゃんを飼育し生態展示を行っている。このオオサンショウウオ(さんちゃん)は平成4年に名張市美旗の小波田川にて保護し、当館の前身にあたる県立博物館で飼育していたものを平成26年2月に現施設に移動し飼育している。

## 4.6 その他の展示

交流創造エリアの中心的な役割を果たすスペースである、学習交流スペースなどを利用し、多様な主体との連携を軸に展示活動などを行った(5.4.6その他の諸機関・諸団体参照)。当館主催事業は次の通り。

事業名	展示期間	内容
水族展示	4月1日(木)～ 通年実施	2階エントランスにおいて、90cm水槽を用いて、淡水魚類(ウシモツゴ、ドジョウ、シロヒレタビラ)を紹介した。

## 4.7 屋外展示

### 1) ミュージアムフィールド

基礎データ 面積 ミュージアムフィールド全体 約28,400㎡

(観察の林 約18,800㎡、交流の広場 約4,370㎡、駐車場ゾーン 約5,230㎡)

令和3年度から、ミュージアムフィールドを適切に管理していくため、担当者間で定期的(月1回)に打ち合わせと情報共有を実施し、研究面と来館者利用面の2点から議論を進め、植生管理作業(月1回)を実施している。フィールドワーク「学芸員と歩こう！観察の林」、「MieMu・そうぶんの岩石・石材観察会」「身近な冬鳥を観察しよう」などの教育普及活動の活用だけでなく、平成26年度の開館時から継続して実施している県民参加型調査(昆虫・植物分野)のように調査研究も活用され、その研究結果は当館研究紀要にも報告した(三重県総合博物館研究紀要第8号参照)。

#### (1) 観察の林

三重県総合博物館の建設に際して、周辺地域でも開発等で減少している里山残存林を、博物館活動での活用を目的として保存した。里山残存林であったため放置され、藪山となっていた林床の下草等を刈り取る最低限の手を加えた状態で管理している。

主な構成樹種

高木層	ツブラジイ、コナラ、アベマキ、ヤマザクラ、ヤマモモ、ハゼノキ
亜高木層	シロダモ、カクレミノ
低木層	ミミズバイ、ネズミモチ、ヒサカキ、アオキ
草本	ネザサ、ベニシダ、スイカズラ

主な昆虫類 チョウ類 キタキチョウ、アゲハ、ヤマトシジミなど約50種

#### (2) 交流の広場

植栽した芝生の広場を中心とするエリア。周辺には「木のずかん」と称するゾーンを設けて、屋内展示等で紹介している三重の植生やくらしにかかわりのある樹木を植栽。また、県内産の岩石や各河川の砂利を用いた通路等を設置している。

##### ・交流の広場の植栽

ドングリのなかま ウバメガシ、ウラジログシ、シリブカガシ、ツクバネガシ、スダジイなど

葉になる植物 ニッケイ、キハダ、ナツメ、クコ、カリン、テンダイウヤクなど

布などを染める植物 クチナシ、シャリンバイなど

くらしの中の植物 コウゾ、キリ、シナノキ、トチノキ、カキ、ザクロなど

マツやスギのなかま スギ、ヒノキ、モミ、ツガ、カヤ、イヌガヤ、コウヤマキ、イチイなど

虫があつまる植物 マグワ、イボタノキ、シダレヤナギなど

サクラのなかま カンヒザクラ、エドヒガン、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、カスミザクラ

ツツジのなかま シロヤシオ、ベニドウダン、サツキ、モチツツジなど

##### ・県内産岩石を用いた石のベンチ(石灰岩など)

##### ・県内河川礫を用いた階段洗い出し

##### ・モウソウチクの残置林

##### ・野外学習スペース



#### 4.8 移動展示

県内各地域において、三重の多様で豊かな自然と歴史・文化や当館の楽しみ方を知っていただく機会をつくるために移動展示を開催している。今年度は多気町で開催した。開催期間中は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、三重県まん延防止等重点措置が実施されたことにより、調整中であった小学校児童への展示解説も見送りとなったため、急遽、参加児童へのフィードバックとして、児童とともに行った4つの調査結果をまとめた解説動画を作成し、町内小学校5校へ配布した。また、これらの4つ調査結果については移動展示終了後、多気町多気郷土資料館にて、令和4年2月24日(木)から令和4年4月30日(土)までパネル展示を行い、332名の来場者があった。

##### 1) たんけん！はっけん！多気町

会 期	令和4年2月11日(金・祝)～2月23日(水・祝) <開催日数：11日>
会 場	ふるさと交流館せいわ(勢和図書館・勢和郷土資料館)(三重県多気郡多気町朝柄2889)
主 催	三重県総合博物館
協 力	多気町郷土資料館、みえむプロジェクト実行委員会、多気町立相可小学校、多気町立佐奈小学校、多気町立津田小学校、多気町立外城田小学校、多気町立勢和小学校
イベント協力	多気町立勢和図書館、三重県・三重大学 みえ防災・減災センター
後 援	多気町教育委員会、三重県博物館協会
内 容	本展では、多気町周辺地域の自然と歴史・文化について紹介することで、地域の特徴や魅力を再認識してもらうことを目的とした。身近な自然や文化について知るきっかけとするために、多気町内の小学校5校(相可小学校・津田小学校・佐奈小学校・外城田小学校・勢和小学校)の児童と、「みんなでしらべるプロジェクト」として学校のプールの生きもの、カヤネズミの生息状況、お家の正月飾りの各調査を実施し、得られた成果を移動展示で報告した。また、多気町出身の先人、高山英行氏が小学生のころより30数年間にわたり収集した旧石器・縄文・弥生時代の石器および土器を中心とした考古資料や、多気町内に残る県指定重要文化財についても紹介した。
主な資料	多気町内の小学生が調べた「お雑煮調査」「正月飾り調査」「カヤネズミマップ」「プールの生きもの調べ」の成果報告、多気町内の遺跡出土考古資料、旅の道具、櫛田川と濁川の河原の石、コウモリはく製、近長谷寺十一面観音立像写真測量図など
学校との連携	多気町内小学生と調べる多気の自然と文化「みんなでしらべるプロジェクト」 1. 我が家のお雑煮調査(※令和元年度に実施) 町内小学校5校の全児童(804名)に調査用紙を配布し、258件の調査用紙を回収した 2. 学校プール内の水生昆虫調査 町内小学校3校で実施し、参加児童数93名 6/4相可小3年生、6/7津田小3・4年生、6/11勢和小4年生 講師など 6/4 大島康宏・佐野 明・田村香里(当館職員) 6/7 小川隆之(三重昆虫談話会)・佐野 明・田村香里(当館職員) 6/11 大島康宏・佐野 明・田村香里(当館職員)・小川隆之(三重昆虫談話会) 3. カヤネズミ調査 町内小学校4校で事前講座を実施し、参加児童数111名 7/9佐奈小5年生、7/9津田小5年生、7/12外城田小5年生、7/9勢和小4・5・6年生、相可小は調査用紙のみ配布(3年生57名に配布、回収数0) 講師など 佐野 明・田村香里(当館職員) 4. 我が家のしめ縄 町内小学校全児童750名に調査用紙を配布し、375件の調査用紙を回収した。(1/11(1次回収)、1/18(2次回収)) 「みんなでしらべるプロジェクト」参加児童総数 のべ837名 (令和元年度258名(調査用紙回収数)含む)
観覧者数	536人

関連事業				
行事名	開催日	会場	人数	備考(講師等)
図書館×MieMuコラボ企画 展示に関する本の紹介	2月11日(金・祝) ～2月23日(水・祝)	ふるさと交流館せい わ(勢和図書館・勢和 郷土資料館)ホール	—	多気町立勢和図書館
ギャラリートーク	2月11日(金・祝)	ふるさと交流館せい わ(勢和図書館・勢和 郷土資料館)	中止	
講演会「先史社会の交流 を探る—高山氏収集の考 古資料展に寄せて—」	2月19日(土)	ふるさと交流館せい わ(勢和図書館・勢和 郷土資料館)創作伝承 室	中止	奥 義次(三重県文化財保護 指導委員)
ワークショップ 「地震に強いストローハ ウスをつくろう!」	2月13日(日)	ふるさと交流館せい わ(勢和図書館・勢和 郷土資料館)創作伝承 室	中止	三重県・三重大学 みえ防災・ 減災センター
防災啓発展示 ※ワークショップ「地震 に強いストローハウスを つくろう!」の代替とし て実施	2月13日(日)	ふるさと交流館せい わ(勢和図書館・勢和 郷土資料館)創作伝承 室	20	三重県・三重大学 みえ防災・ 減災センター
ワークショップ 「パタパタはばたくコウ モリをつくろう!」	2月23日(水・祝)	ふるさと交流館せい わ(勢和図書館・勢和 郷土資料館)創作伝承 室	中止	当館職員 佐野 明・稲垣玲 弥
計			20	
担 当	田村香里・佐野 明・稲垣玲弥・福田良彦			



展示風景



A4チラシ

## 5 交流創造活動事業

### 5.1 事業の趣旨・目的

三重の自然と歴史・文化に関する知りたい、学びたい、調べたいなどのさまざまなニーズに対応するとともに、県民・利用者、諸団体、館の相互交流の場となることにより、新たな創造や発信へとつなげるために、閲覧レファレンス活動事業、学習支援活動事業、諸団体との交流・連携事業を展開する。

### 5.2 閲覧レファレンス活動事業

#### 5.2.1 レファレンス活動

三重の自然と歴史・文化、博物館利用に関する質問や疑問、相談に応じている。展示を楽しむだけでなく、さまざまな分野の専門家と日常的に出会うことができる場を用意し利用者と情報交換できる場となっている。

レファレンス件数：318件

## 5.2.2 資料利用(閲覧・特別利用)

当館では、資料閲覧室において、収蔵資料のほか、特定歴史公文書等の閲覧に対応している。資料閲覧室には、三重の自然と歴史・文化に関する参考図書等が配架されており、自由に閲覧可能である。それ以外の収蔵資料及び収蔵図書の閲覧については、事前予約を基本として、閲覧することができる。また、所定の手続きを行うことにより、収蔵資料写真の掲載等の特別利用や、資料の貸出についても対応を行っている。

### 1) 資料閲覧室の利用内訳(令和4年3月末現在)

	区分	資料内容	利用者数	閲覧点数
閉架収蔵資料閲覧内訳	自然分野	動物/植物/鉱物その他	12	323
	人文分野	考古資料/絵図・地図/刷り物/絵葉書/歴史資料/絵画・墨蹟/陶磁器/民俗その他	21	19
		写真資料/映像資料	0	0
		古文書(一紙物・整理済文書群/典籍類)	7	13
	図書ほか	図書	5	10
		行政刊行物	1	1
特定歴史公文書等 ※1		22	369	
① 閉架収蔵資料閲覧(利用者数は資料内容ごとの重複を差し引いた値)			62	735
② 開架資料閲覧	図書/行政刊行物等		446	
③ その他利用 ※2			1,480	
資料閲覧室入室者合計(①+②+③)			1,988	

※1所管は文化振興課歴史公文書班となっている

※2その他利用:レファレンスサービス、室内展示観覧、室内見学等のみの利用

### 2) 資料特別利用一覧

	資料名	点数	申請者	利用目的	利用内容	申請日
1	東海道分間絵図	1	団体	教育活動、常設展示	複製・複写	3月23日
2	アルミ製ランドセル	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	3月2日
3	ハネカクシ科甲虫標本、コガネムシ科甲虫標本	260	団体	学術上の調査研究	熟覧	4月3日
4	阿漕焼大鉢、萬古焼三彩梟形香合、萬古焼白土鯉文急須、萬古焼白土鯉文湯冷、色絵金魚草花文鉢 ほか	14	団体	展示のための事前調査	熟覧、撮影	4月5日
5	矢頭コレクション トキワマンサク	1	団体	テレビ放送等	画像データ	4月9日
6	足利義満御内書、伊勢守護畠山高国感状、徳川家康書状	3	団体	教育活動	画像データ	4月11日
7	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	企画展	画像データ	4月14日
8	伊勢古市備前屋桜花楼踊りの図	1	団体	テレビ放送等	画像データ	4月14日
9	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	4月14日
10	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	4月23日
11	東海道 行列 四日市	1	団体	テレビ放送等	画像データ	5月7日
12	伊勢名所順路之図	1	個人	出版物等への掲載	画像データ	5月13日
13	伊勢参宮宮川の渡し	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	5月17日



	資料名	点数	申請者	利用目的	利用内容	申請日
14	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	5月25日
15	三重県水産図解	1	団体	テレビ放送等	撮影	6月1日
16	安濃津模型	1	団体	テレビ放送等	撮影	6月4日
17	常滑産陶器 甕・壺	3	団体	教育活動、出版物等への掲載	画像データ	6月4日
18	三日市大夫次郎邸引札、長山翁知音録、宮川橋梁之図、御神楽殿真図、伊勢太々御神楽之図	5	団体	出版物等への掲載	撮影	6月9日
19	ニホンカモシカ	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	6月9日
20	二見浦曙図	1	団体	テレビ放送等	画像データ	6月10日
21	忠類ナウマンゾウ全身骨格の展示状況	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	6月16日
22	豊饒御蔭参之図	1	団体	企画展示	画像データ	6月18日
23	ツモジ	1	団体	出版物等への掲載	撮影	6月18日
24	岩戸神楽の起頭	1	団体	テレビ放送等	画像データ	7月5日
25	三日市太夫次郎亭復元模型全景・おもてなし風景部分	2	団体	出版物等への掲載	画像データ	7月8日
26	分部紘一氏撮影聖火リレー写真 県民だより(オリンピック聖火リレー映像)	2	団体	展示	画像データ	7月13日
27	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	転載	7月15日
28	岩戸神楽の起頭	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	7月21日
29	吉沢文書、長山翁知音録、伊勢太々御神楽之図、宇仁館引札 ほか	10	団体	出版物等への掲載	画像データ	8月1日
30	阿漕焼大鉢、萬古焼三彩臬形香合、萬古焼白土鯉文急須、萬古焼白土鯉文湯冷、色絵金魚草花文鉢 ほか	12	団体	出版物等への掲載	撮影	8月2日
31	ミエゾウ、トバリユウ、リュウグウハゴロモガイ、 <i>Otodus megalodon</i>	6	団体	出版物等への掲載	画像データ	8月3日
32	浄土双六、大黒天版木	2	団体	展示	画像データ	8月17日
33	伊勢参宮名所図会	1	団体	テレビ放送等	画像データ	8月20日
34	伊勢参宮名所図会	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	9月7日
35	小学子供双六	1	団体	出版物等への掲載	転載	9月7日
36	伊勢参宮名所図会	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	9月9日
37	写真資料(作業の合間に一服、農作業の合間のお茶)	2	団体	教育活動上の調査研究	画像データ	9月15日
38	三重県水産図解	1	団体	テレビ放送等	画像データ	9月17日
39	平民新聞(明治37年1月17日第10号)	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	9月24日
40	絵葉書(尾鷲町矢の子安全索道、尾鷲町官林口架空索道停車場及び稜線)	2	団体	ホームページへの掲載	画像データ	9月25日
41	光氏磯辺遊の図、三重県水産図解	2	団体	展示	画像データ	9月27日

	資料名	点数	申請者	利用目的	利用内容	申請日
42	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	9月30日
43	伊勢参宮名所図会	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	10月4日
44	軽粉関係資料一括、トバリユウ復元図、ミエゾウ全身復元骨格	3	団体	出版物等への掲載	画像データ	10月12日
45	離合山水図(青木夙夜画)	1	団体	学術上の調査研究	熟覧	10月16日
46	樋田文庫文書	3	個人	学術上の調査研究	熟覧、撮影	10月22日
47	ヒメヤマスマレ標本	1	個人	学術上の調査研究	画像データ	10月31日
48	ゴーラル、ジャコウウシ、サイガ	5	個人	学術上の調査研究	画像データ	11月2日
49	アルミ製ランドセル	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	11月2日
50	岩戸神楽の起頭	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	11月10日
51	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	11月11日
52	三重県下頑民暴動之図、浮絵駿河町呉服屋図、豊饒御蔭参之図	3	団体	教育活動、出版物等への掲載	画像データ	11月22日
53	北条義時書状	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	11月26日
54	シロチドリ	2	団体	テレビ放送等	画像データ	12月10日
55	北条義時書状	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	12月9日
56	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	12月9日
57	浮絵駿河町呉服屋図	1	個人	教育活動	画像データ	12月14日
58	西国三十三所名所図会	1	個人	出版物等への掲載	画像データ	12月16日
59	コバノリュウキンカ標本	1	団体	学術上の調査研究	画像データ	12月20日
60	ウラナミアカシジミ	7	団体	出版物等への掲載	熟覧、撮影	12月20日
61	木曾川河口輪中絵図	1	団体	学術上の調査研究、教育活動	画像データ	12月21日
62	時代造時計	1	団体	教育活動	熟覧	12月23日
63	三重県水産図解	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	12月23日
64	伊勢内宮外宮絵馬	8	団体	出版物等への掲載	画像データ	12月24日
65	アルミ製ランドセル	1	団体	教育活動、出版物等への掲載	画像データ	12月24日
66	伊勢参宮宮川の渡し、三社託宣、伊勢名所二見ヶ浦の図、伊勢暦、光氏磯辺遊の図、御蔭参文政神異記 ほか	10	団体	テレビ放送等	画像データ	12月24日
67	阿弥陀如来立像(安楽寺所蔵)	1	団体	テレビ放送等	過去映像転用	令和4年 1月7日
68	三日市太夫次郎亭復元模型全景・おもてなし風景部分	2	団体	教育活動	画像データ	令和4年 1月19日
69	吉沢文書、長山翁知音録、伊勢太々御神楽之図、宇仁館引札 ほか	9	団体	教育活動	画像データ	令和4年 1月22日
70	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	令和4年 1月26日
71	豊饒御蔭参之図	1	団体	教育活動 出版物等への掲載	画像データ	令和4年 1月28日

	資料名	点数	申請者	利用目的	利用内容	申請日
72	岩戸神楽の起頭	1	団体	テレビ放送等	画像データ	令和4年 2月8日
73	新興の四日市、いせ富田	2	団体	出版物等への掲載	画像データ	令和4年 2月10日
74	豊饒御蔭参之図	1	団体	映像への利用	画像データ	令和4年 2月16日
75	伊勢参宮宮川の渡し	1	団体	テレビ放送等	画像データ	令和4年 2月24日
76	勢州坂下宿絵図、東海道分間絵図	2	団体	出版物等への掲載	画像データ	令和4年 2月25日
77	伊勢参宮奉納絵馬(代八幡神社所蔵)	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	令和4年 2月26日
78	蛾類標本	26	個人	学術上の調査研究	熟覧	令和4年 3月8日
79	アルミ製ランドセル	1	団体	出版物等への掲載	転載	令和4年 3月10日
80	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	テレビ放送等	画像データ	令和4年 3月15日
81	当世開花別品競女子師範学校	1	個人	出版物等への掲載	画像データ	令和4年 3月25日
	合計	461				

### 3) 資料貸出一覧

	資料名	点数	申請者	目的	申請日
1	吉祥天立像埴伝	1	龍谷大学龍谷ミュージアム	展示	9月18日 ～11月23日
2	吉沢文書、長山翁知音録、三日市大夫次郎邸引札、うにたち引札、宇仁館引札、神風館引札	8	皇學館大学佐川記念神道博物館	展示	10月4日 ～11月30日
3	離合山水図(青木夙夜画)	1	田辺市立美術館	展示	12月21日～ 令和4年2月11日
4	阿漕焼大鉢、萬古焼蓮蛙文宝瓶、萬古焼虎文竹形花生、萬古焼鯉文急須、萬古焼鯉文湯冷、松阪萬古写流釉水注、桑名萬古色絵金魚草花文鉢、桑名萬古色絵花蝶文菓子器、萬古焼鶉形土瓶、萬古焼白象形急須	11	松阪市教育委員会	展示	10月23日 ～11月23日
	計	21			

## 5.3 学習支援活動事業

博物館の利用者に、三重の自然と歴史・文化や博物館の活動に対する興味・関心を持つきっかけや深める機会を提供することを目的として、講座やワークショップ、フィールドワークなどの学習支援活動を実施している。

### 5.3.1 講座

#### 1) 学芸員フリートーク

奇数月の第2土曜日に当館の学芸員がそれぞれの専門分野について講演し、来館者が気軽に参加できる講座。予定していた全5回の内、1回を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
コウモリってどんな生きもの？	5月8日(土)	レクチャールーム	19	当館職員 佐野 明
三重県の祭り・行事(※オンライン併用)	7月10日(土)		56(※内44)	当館職員 福田良彦
はく製はこわい？ー触れる資料づくりの取組からー	9月11日(土)		中止	当館職員 田村香里
古文書学ことはじめ	11月13日(土)		15	当館職員 小林 秀
『伊賀惣国一揆提書』を読む	令和4年1月8日(土)		15	当館職員 服部早希
計			105	

## 2) 基本展示スポットガイド

偶数月(4月を除く)の第2土曜日に基本展示の一部を当館の学芸員が展示解説をする講座。予定していた全5回のうち2回(東紀州の山村および伊賀盆地の農村)については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
鈴鹿山脈の自然	6月12日(土)	レクチャールーム	16	当館職員 大島康宏
東紀州の山村	8月14日(土)		中止	当館職員 宇河雅之
伊勢湾の自然	10月9日(土)		6	当館職員 北村淳一
熊野灘と東紀州	12月11日(土)		2	当館職員 田村香里
伊賀盆地の農村	令和4年2月12日(土)		中止	当館職員 福田良彦
計			24	

## 3) おとなの理科教室「貝体新書」

ハマグリを殻を使って、頭の柔軟体操をする。予定していた全3回の内、1回を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
貝体新書	5月2日(日)	実習室	0	特別顧問 大野照文
	8月15日(日)		中止	
	令和4年1月16日(日)		5	
計			5	

## 4) 楽しい理科教室「三葉虫を調べよう」

三葉虫の秘密を楽しく化石を利用しながら解き明かしていく。予定していた全3回の内、1回を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
三葉虫を調べよう	5月2日(日)	実習室	27	特別顧問 大野照文
	8月15日(日)		中止	
	令和4年1月16日(日)		17	
計			44	

## 5) 同定会

海や山、自宅や学校で見つけた動物、植物、化石などの標本を持ち寄って、各分野の専門家と一緒に名前を調べるイベント。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
標本の名前を調べてみよう(令和3年度同定会)	8月22日(日)	レクチャールーム	中止	当館学芸員ほか

## 6) わくわくワークショップ

企画展のテーマや季節にちなんだ、どなたでも参加できるワークショップ。予定していた全9回の内、1回を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
MieMuフレームをつくろう	4月18日(日)	実習室	1	当館職員 稲垣玲弥
新聞紙で兜をつくろう	5月1日(土)	実習室	15	ミュージアムパートナーおもしろ博物館グループ、当館職員 中村千恵
葉っぱのこすりだし図鑑	6月20日(日)	実習室	6	当館職員 稲垣玲弥
ロックバランシング	7月18日(日)	交流活動室	19	ミュージアムパートナーおもしろ博物館グループ、当館職員 中村千恵
浮世絵版画をやってみよう	9月19日(日)	実習室	中止	当館職員 中村千恵
どんぐり図鑑をつくろう	10月17日(日)	実習室	15	当館職員 稲垣玲弥
伊勢型紙を使ってポストカードをつくろう	11月21日(日)	実習室	4	当館職員 稲垣玲弥

行事名	開催日	会場	人数	講師
木の実でブローチをつくろう	12月19日(日)	実習室	6	当館職員 稲垣玲弥
かさ袋に絵をかくて飛ばそう	令和4年3月20日(日)	実習室	19	ミュージアムパートナーおもしろ博物館グループ、当館職員 中村千恵
計			85	

## 7) 正月かざりづくり体験

ミュージアムパートナーおもしろ博物館グループとの連携イベントで、なわをなうところからしめ縄状の正月かざりをつくる体験講座。

行事名	開催日	会場	人数	講師
正月かざりをつくろう	12月12日(日)	交流展示室、交流活動室	11	ミュージアムパートナーおもしろ博物館グループ、当館職員 宇河雅之・中村千恵

## 8) 令和3年度 三重の自然史研究を支える次世代育成連続講座

県民とともに、県内の自然に関する調査、資料収集保存は当館の使命であり、その分野における人材育成も重要である。本事業は三重県の自然史の調査研究を支える人材を育成するための連続講座。本年度は、三重昆虫談話会と共催で昆虫分野の講座を実施した。

内容	開催日	会場	人数	講師
昆虫の分類・生物地理、昆虫の採集方法	6月27日(日)	実習室(オンライン)	20	当館職員 大島康宏、三重昆虫談話会 中西元男・秋田勝己・河北 均・小川隆之・稲垣政志・森田久幸
標本作製法・保存法	8月9日(月・振休)	実習室(オンライン)	18	当館職員 大島康宏、三重昆虫談話会 秋田勝己・河北 均・小川隆之
昆虫写真撮影法、昆虫の飼育法、昆虫研究の現場	10月10日(日)	実習室(オンライン)	20	当館職員 大島康宏、三重昆虫談話会 河本 実・西野 実・河野勝行
論文報文の書き方1	12月11日(土)	実習室(オンライン)	17	当館職員 佐野 明、三重昆虫談話会 中西元男・河野勝行
論文報文の書き方2	令和4年1月23日(日)	実習室(オンライン)	18	当館職員 佐野 明、三重昆虫談話会 河野勝行
昆虫の同定 三重県昆虫研究史	令和4年3月13日(日)	レクチャールーム(オンライン)	16	三重昆虫談話会 秋田勝己・乙部 宏・河北 均・中西元男・中村 泰・間野隆裕・稲垣政志
計			109	

## 5.3.2 フィールドワーク

### 1) 学芸員と歩こう観察の林

自然史系学芸員とともにミュージアムフィールドを1時間程度散策し、身近な自然を学ぶ。

行事名	開催日	会場	人数	講師
学芸員と歩こう観察の林	5月3日(月・祝)	ミュージアムフィールド	9	当館職員 大島康宏・佐野 明・稲垣玲弥
	10月31日(日)		1	
計			10	

### 2) 紀和町板屋川の鉱物観察会

地質的な概要や、紀州鉱山から産出した鉱物を紹介したのち、実際にその鉱物を紀和町板屋川河川敷にある石から見つけて採集し、黄銅鉱などの金属鉱物を観察する。第28回企画展関連講座として実施。

行事名	開催日	会場	人数	講師
紀和町板屋川の鉱物観察会	5月23日(日)	紀和町板屋川流域	19	当館職員 津村善博

### 3) MieMu・そうぶんの岩石・石材観察会

建築物で使われている石材や、当館ミュージアムフィールドで展示している石などを三重県総合博物館



MieMuや三重県総合文化センターを巡りながら、いろいろな石材を観察する。第28回企画展関連講座として実施。

行事名	開催日	会場	人数	講師
MieMu・そうぶんの岩石・石材 観察会	6月3日(木)	当館ミュージアムフィールド・三重県総合文化センター	15	当館職員 津村善博
	7月10日(土)		12	
計			27	

#### 4) 室生火砕流堆積物の見学会

約1500万年前の東紀州の火山(熊野カルデラ)によって発生した火砕流が固結してできた溶結凝灰岩の柱状節理を観察するとともに、その溶結凝灰岩の岩石の特徴を観察する。第28回企画展関連講座として実施。

行事名	開催日	会場	人数	講師
室生火砕流堆積物の見学会	7月4日(日)	名張市青蓮寺川流域	20	当館職員 津村善博

#### 5) 身近なけものーアブラコウモリ観察会ー

身近なけものであるコウモリを学ぶ観察会。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
身近なけものーアブラコウモリ 観察会ー	10月2日(日)	当館敷地内	中止	当館職員 佐野 明

#### 6) 文化財探訪

学芸員や専門家と一緒に、県内の文化財を訪ね歩く行事。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

行事名	開催日	会場	人数	講師
津市内を歩く～一身体とその周辺～	10月10日(日)	高田会館大ホール	中止	当館職員 瀧川和也・ 星野利幸

#### 7) 身近な冬鳥を観察しよう

鳥類の剥製を館内でじっくり観察してから、博物館周辺の野外で鳥類を観察する自然観察会。

行事名	開催日	会場	人数	講師
身近な冬鳥を観察しよう	12月4日(土)	総合博物館内および 博物館周辺の池	19	日本野鳥の会三重 平井正志、 三重県環境情報学習センター 木村京子、当館職員 田村 香里・北村淳一・稲垣玲弥
	令和4年3月5日 (土)	総合博物館内および 安濃川河口	中止	
計			19	

### 5.3.3 学芸員講座

地域の魅力を伝えるため、県内の団体や学校等からの依頼に応じて、様々な専門分野をもつ学芸員を館内外での講演や授業、フィールドワークに講師として派遣している。

また、学校の教室で利用できる貸出教材「みえむミュージアムキット」の貸出を実施している。

#### 1) 団体への派遣等

依頼者	実施日	場所	内容	人数	講師
薦原地域づくり委員会	4月17日(土)	名張市薦原 市民センター	昆虫関連講座「ギフチョウ を通じた地域コミュニティ と地域づくりの可能性」	20	当館職員 大島 康宏
むらおこし・しもみ いと	5月26日(水)	明和町立下 御糸小学校	中・下流域の池や川に住む 淡水魚類の生態	63	当館職員 北村 淳一
	6月9日(水)	祓川			
むらおこし・さいく う祓川	6月15日(火)	明和町立斎 宮小学校	中・下流域の池や川に住む 淡水魚類の生態	102	当館職員 北村 淳一
	6月17日(木)	祓川			

依頼者	実施日	場所	内容	人数	講師
大山田公民館	8月4日(水)	大山田公民館	コウモリってどんな生きもの？	10	当館職員 佐野明
イオンモール東員	10月9日(土)	イオンモール東員	葉っぱでみる自然観察のポイント	15	当館職員 稲垣玲弥
伊賀市教育委員会生涯学習課	11月20日(土)	ハイトピア伊賀	カンジョウナワ行事のヒミツ	48	当館職員 福田良彦
名張歴史読書会	12月10日(金)	名張市立図書館	三重県と伊賀・名張の仏像	16	当館職員 瀧川和也
七栗公民館講座「楽学ななくり」	令和4年3月18日(金)	三重県総合博物館	基本展示と学芸員一押し資料	11	当館職員 小林秀
計				285	

## 2) 学校への派遣等

依頼者	実施日	場所	内容	人数	講師
名張市立薦原小学校	4月16日(金)	名張市立薦原小学校	昆虫関連講座・観察会「みんながいつまでもギフチョウといっしょにくらしていくために」	21	当館職員 大島康宏
松阪市立朝見小学校	5月12日(水) 10月1日(金)	松阪市立朝見小学校	水生生物の観察	15	当館職員 北村淳一
津市立養正小学校	6月10日(木)	津市立養正小学校	三重の森林が危ない立ち枯れる森の木々	45	当館職員 佐野明
三重県立神戸高等学校	6月23日(水)	三重県立神戸高等学校	総合的な探究の時間「鈴鹿学」探究講話	276	当館職員 寺村善樹
	令和4年2月16日(水)		研究とは？	85	当館館長 守屋和幸
亀山市立加太小学校	7月13日(火)	亀山市立加太小学校	学校のプールで産卵したモリアオガエルと加太小学校周辺にすむカエルについて	16	当館職員 田村香里
			(キャリア教育)博物館学芸員の仕事について	13	当館職員 田村香里
三重県立桑名高等学校	7月21日(水)	三重県総合博物館	なぜ多くの種が生成され共存しているのか～タナゴ亜科魚類など材料に解き明かす～	43	当館職員 北村淳一
鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校	10月7日(木)	三重県総合博物館	ユニバーサルデザインについて	31	当館職員 小掠光裕
三重大学教育学部附属小学校	10月8日(金)	三重県総合博物館	昆虫関連の話「虫はどこで何をしているの？」	106	当館職員 大島康宏
津市立一身田小学校	10月8日(金)	三重県総合博物館	葉っぱでみる自然観察のポイント	101	当館職員 稲垣玲弥
津市立美杉中学校	10月20日(水)	三重県総合博物館	標本にさわって調べてみよう(鳥類)	26	当館職員 田村香里
松阪市立漕代小学校	10月22日(金)	松阪市立漕代小学校	浮世絵刷り体験と時代背景	15	当館職員 星野利幸
松阪市立豊田幼稚園	11月9日(火)	三重県総合博物館	葉っぱでみる自然観察のポイント	48	当館職員 稲垣玲弥
亀山市立関中学校	12月1日(水)	三重県総合博物館	標本にさわって調べてみよう(鳥類)	42	当館職員 田村香里
松阪市立射和小学校	12月14日(火)	三重県総合博物館	ユニバーサルデザインについて	30	当館職員 小掠光裕
名城大学附属高等学校	12月18日(土)	三重県総合博物館	なぜ多くの種が生成され共存しているのか～タナゴ亜科魚類など材料に解き明かす～	29	当館職員 北村淳一
松阪市立第五小学校	令和4年1月13日(木)	松阪市立第五小学校	くらしの道具 いま・むかし	97	当館職員 宇河雅之・小掠光裕

依頼者	実施日	場所	内容	人数	講師
津市立新町小学校	令和4年1月21日(金)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	80	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立明合小学校	令和4年1月26日(水)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	14	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立高茶屋小学校	令和4年1月27日(木)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	109	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立上野小学校	令和4年2月2日(水)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	29	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立修成小学校	令和4年2月8日(火)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	64	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立南立誠小学校	令和4年2月15日(火)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	61	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立豊が丘小学校	令和4年2月16日(水)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	63	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立藤水小学校	令和4年2月22日(火)	オンライン開催	くらしの道具 いま・むかし	41	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
名張市立つつじが丘小学校	令和4年2月24日(木)	名張市立つつじが丘小学校	くらしの道具 いま・むかし	106	当館職員 小掠光裕・寺村善樹
東員町立笹尾東小学校	令和4年2月25日(金)	東員町立笹尾東小学校	くらしの道具 いま・むかし	51	当館職員 宇河雅之・小掠光裕
津市立大里小学校	令和4年3月9日(水)	津市立大里小学校	くらしの道具 いま・むかし	42	当館職員 小掠光裕・寺村善樹
計				1,699	

※学校への課題探究型学習支援は、5.4.1 8)に記載

### 3) 大学への派遣等

令和3年度は実績なし

### 4) みえむミュージアムキットの貸出

キット名	件数	貸出先	貸出期間
化石レプリカ	3	伊勢市立佐八小学校	7月17日(土)～7月23日(金)
		津市立一身田小学校	11月29日(月)～12月3日(金)
		三重県立稲葉特別支援学校	令和4年2月5日(土)～2月11日(金)
イノシシの骨パズル	2	三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園	10月3日(日)～10月9日(土)
		津市立八ツ山小学校	11月6日(土)～11月14日(日)
浮世絵摺り体験セット	2	聖セシリア女子中学校(神奈川県)	7月19日(月)～7月26日(月)
		松阪市立漕代小学校	10月19日(火)
ふるさと三重かるた	0	—	
トリ骨格標本	4	三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園	10月3日(日)～10月9日(土)
		津市立美杉中学校	10月20日(水)(学芸員講座内で利用)
		津市立八ツ山小学校	11月6日(土)～11月14日(日)
		亀山市立関中学校	12月1日(水)(学芸員講座内で利用)

### 5.3.3 MieMuの日

開館日である4月19日を「MieMuの日」と銘打ち、毎年「MieMuの日」前後の日曜日に記念イベントを実施し、利用者の皆さんや地域の方々に日頃の感謝を伝える取組を行っている。

1実施日時 4月18日(日)午前9時から午後5時まで

2当日の特典 「家庭の日」にあたるため、基本展示観覧料を2割引とした。

3イベント

行事名	会場	概要	人数
オレンジグッズを着て、MieMuに行こう！	エントランスホール	オレンジグッズを身に付けてきた方に缶バッジをプレゼントした。	113

行事名	会場	概要	人数
講演会「企画展まで待てない！魅力がいっぱい、三重の岩石鉱物の世界」	エントランスホール	4月24日から始まる第28回企画展「やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物」のプレイベントも兼ね、その見どころを、当館の研究協力者である小竹一之氏（多気町立勢和小学校教諭）に講演いただいた。	12
基本展示クイズラリー	基本展示室	クイズシートを使って基本展示室を観覧し、展示資料の中から三重の岩石や石でできた文化財を見つけてクイズに挑戦する企画。正解した方にはMieMuオリジナルグッズをプレゼントした。	35
わくわくワークショップ「MieMuフレームを作ろう」	実習室	取っ手のついたオリジナルフレームを作って、展示や身の回りの色々なものを観察した。	1
MieMu7年間の歩み展示	エントランス	過去7年間に開催した企画展のポスターをすべて掲示し、これまでの歩みを振り返った。	—
とこまる、ちゃちゃもと一緒に写真を撮ろう	エントランス	三重とこわか国体・三重とこわか大会の公式マスコットキャラクター「とこまる」と松阪市の公式キャラクター「ちゃちゃもと」と写真を撮る企画。	—
計			161

### 5.3.5 情報誌

博物館の展示や資料、活動に関する情報を発信するために、博物館情報誌「みえんしず」を刊行した。

33号(7月13日発行)	特集1	MieMuにはこんな研究をしている人がいます ～館長・学芸員紹介～
	特集2	MieMuの調査研究アラカルト
34号(9月14日発行)	特集1	第29回企画展 「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」
	特集2	MieMu調査研究アラカルト
35号(令和4年1月25日発行)	特集1	移動展示「たんけん！はっけん！多気町」 多気町の小学生の皆さんと「多気町をたんけん！はっけん！」
	特集2	いろいろな展示を開催！
36号(令和4年3月15日発行)	特集	第30回企画展 「名所発見、再発見！～浮世絵でめぐる三重の魅力～」

### 5.3.6 人材育成支援活動

#### 1) 博物館学芸員実習

各大学における「博物館学芸員資格」の必須科目である「博物館実習」を希望する学生の受け入れを行った。

##### ① Aコース

[ 実習生 ] 三重大学(4名)、皇學館大学(3名)、愛知学院大学(2名)、名城大学(3名)、愛知大学、九州保健福祉大学、東北芸術工科大学、富山大学、南九州大学(各1名)

行事名	概要
8月17日(火)	ガイダンス、博物館の概要、展示見学
8月18日(水)	博物館学入門、保存科学入門、課題作業「企画展を考える」
8月19日(木)	自然史資料とその取り扱い、歴史資料の取り扱い、課題発表

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた5日間の日程(8月17日から21日まで)を短縮し、3日間の実習を実施した。

##### ② Bコース(三重大学との相互協定による連携事業として実施)

[ 実習生 ] 三重大学(6名)

哺乳類・鳥類(2名)、昆虫(1名)、地学(1名)、総合(2名)の4班にわかれ、各分野職員の指導の下、それぞれ5日間の実習を行った。

## 2) インターンシップ

博物館での就業経験を希望する学生の受け入れを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。

## 5.4 他機関・諸団体との交流・連携事業

博物館活動の基本的な活動の視点である「協創」と「連携」に基づき、他機関・諸団体との交流と連携を深め、新たな創造と発信の機会とするために、連携のための協議、連携・協力による講演会や各種ワークショップ、展示、博物館の活用等を実施した。

### 5.4.1 学校

#### 1) 学校利用

令和3年度の学校利用については、164校であった。また、地域別の利用状況については、北勢地区47校、津地区57校、松阪・多気地区19校、南勢地区11校、伊賀地区24校、東紀州地区5校、県外1校であった。

4月より定員の厳守を条件に昼食を利用できる施設を実習室、交流展示室、交流活動室の3室としたところ、雨天時の昼食場所として64校の希望があった。また、こども体験展示室を再開し23校の利用があった。午前14校、午後9校と午前中に利用した園（所）、学校が多かった。また、小学校3年生で学ぶ「昔のくらし」の学習時期に合わせてトピック展「昔の道具を考える」を開催した。会期中に展示見学のために来館した小学校に、学芸員が道具の使用体験を交えた解説対応を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施しなかった。

#### (1) 県内市町教育委員会および市町校長会への周知について

29市町中24市町の校長会等に行き、のべ32回の来館利用等の説明を行った。残りの5市町については、校長会のリモート開催や会議時間の関係上説明ができなかった。そのため、各市町担当者に趣旨説明を行ったうえで文書を郵送した。

#### ア) 市町教育委員会・校長会説明日時一覧

期日	教育委員会・市町名	期日	教育委員会・市町名
4月30日(金)	志摩市	5月13日(木)	津市
	南勢教育支援事務所		いなべ市
5月6日(木)	津市校長会役員会	5月18日(火)	松阪市小学校
	尾鷲市		度会町
5月7日(金)	大紀町		5月19日(水)
	明和町	鳥羽市	
5月10日(月)	朝日町	5月20日(木)	伊賀市
	多気町		松阪市公立幼稚園
	北勢教育支援事務所	5月21日(金)	南伊勢町
5月11日(火)	東員町	5月25日(火)	熊野市
	紀宝町		紀州教育支援事務所
	松阪市公立保育園	5月31日(月)	松阪市中学校
	名張市	6月10日(木)	松阪市私立保育園
5月12日(水)	菰野町	7月13日(火)	桑名市
	御浜町		
	大台町		
	川越町		
	紀北町		

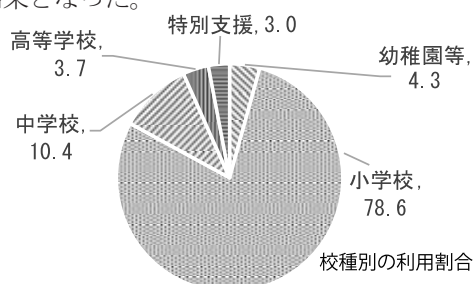


(2) 遠足等利用について

新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる臨時休館(8月27日～9月30日)もあり、各園(所)、校の見学が10月、11月に集中した。令和2年度と比べると学校利用が28校増えた。地域別では地元の津市が14校、遠隔地の東紀州が3校、北勢地区が11校増える結果となった。

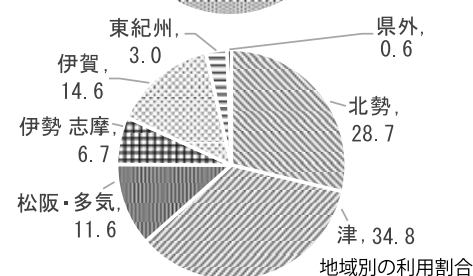
ア) 校種別の利用校数

	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援
実数	7	129	17	6	5
割合(%)	4.3	78.6	10.4	3.7	3.0



イ) 地域別の利用校数(令和2年表を含む)

	北勢	津	松阪・多気	伊勢志摩	伊賀	東紀州	県外
実数	47	57	19	11	24	5	1
割合(%)	28.7	34.8	11.6	6.7	14.6	3.0	0.6



ウ) 地時期別の利用校数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実数	2	5	14	10	1	0	50	55	18	2	3	4
割合(%)	1.2	3.0	8.5	6.1	1.0	0	30.4	33.5	10.9	1.2	1.8	2.4

2) 教職員研修

博物館と学校教育との連携の観点から、教職員の方々に博物館の活動や施設等について知っていただき、学校教育における博物館活用を促進するために講師派遣、教員研修(個人・団体)の受入を行った。

<総合教育センター講座>

12月24日(金)教員のための博物館の日 24名

<教職員研修>

実績なし

<教職員研修(社会体験研修)>

10校の受入れ

津市立南が丘小学校	8月6日(金)、8月8日(日・祝)	3名
津市立明合小学校	8月6日(金)、10月17日(日)	1名
津市立栗真小学校	8月8日(日・祝)、8月19日(木)	1名
津市立芸濃小学校	8月14日(土)、8月15日(日)、8月20日(金)	2名
三重県立城山特別支援学校	8月14日(土)、8月19日(木)	1名
三重県立津東高等学校	8月14日(土)、10月14日(木)	1名
津市立朝陽中学校	8月15日(日)、8月19日(木)	1名
津市立修成小学校	8月15日(日)、8月19日(木)	
	8月20日(金)、10月30日(土)	3名
津市立橋北中学校	10月17日(日)、10月30日(土)	1名
三重県立稲葉特別支援学校	10月17日(日)、12月12日(日)	2名

3) スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 事業および県内高等学校の探究的な活動への協力

①SSH事業への協力

三重県では県立学校6校が、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け未来の科学技術系人材育成のため活動をしている。そのうち三重県立桑名高等学校、三重県立津高等学校、三重県立松阪高等学校、三重県立伊勢高等学校、三重県立上野高等学校の5校の探究活動の授業にTA(ティーチングアシスタント)として協力し、探究活動の支援、助言等を行った。また、三重県立上野高等学校、三重県立津高等学校の両校の科学クラブを対象に、津市美里地域と伊賀市平田地域の化石採集のフィールドワークと館内での発表会を行った。※詳細は8)学校と連携した課題探究型学習支援を参照

## ②県内高校の探究的な活動への協力

平成30年度に告示された高等学校学習指導要領に基づき、県内の高等学校では地域課題等の解決に向けた活動を総合的な探究の時間で実施している。県内高校の9校(三重県立桑名高等学校、三重県立神戸高等学校、三重県立津高等学校、三重県立松阪高等学校、三重県立伊勢高等学校、三重県立志摩高等学校、三重県立上野高等学校、三重県立名張青峰高等学校、鈴鹿高等学校)に、その課題解決に向けた授業「総合的な探究の時間」にTA(ティーチングアシスタント)として協力し、探究活動の支援、助言等を行った。そのうち8校(三重県立桑名高等学校、三重県立神戸高等学校、三重県立津高等学校、三重県立松阪高等学校、三重県立伊勢高等学校、三重県立志摩高等学校、三重県立上野高等学校、三重県立名張青峰高等学校)が、「高等学校での地域に関わる学習」をテーマに県内高等学校が教育課程内で実施している「地域の現状や課題を捉え課題を解決しようとしている学習」の紹介と生徒の成果物を展示(令和4年2月22日～3月6日)した。

※詳細は8)学校と連携した課題探究型学習支援、5.4.5 国縣市町など 3)みえむ未来創成フォーラム2021を参照

## 4)中学生の職場体験

1校の受入れを行った。三重県立豊学校中学部 2年生 1名 令和4年3月16日(水)～17日(木)

## 5)高校生の職場体験

実績なし

## 6)クラブ活動

実績なし

## 7)学校への移動展示

実績なし

## 8)学校と連携した課題探究型学習支援

生徒や学生が能動的な学びを体験できるように、学芸員が学校と連携して課題探究型学習を支援する。

学校名	科・学年等	人数	教科・科目名	担当者	実施日
三重県立神戸高等学校	普通科1年生・2年生	438	総合的な探究の時間	守屋和幸、寺村善樹	6月23日(水)、7月7日(水)、11月17日(水)、11月24日(水)、12月15日(水)、令和4年1月26日(水)
三重県立桑名高等学校	普通科1年生・2年生	478	総合的な学習の時間	寺村善樹	12月22日(水)、令和4年1月19日(水)
三重県立桑名高等学校	理数科1年生・2年生	79	課題研究	寺村善樹	5月26日(水)、7月23日(金・祝)、7月24日(土)、10月11日(月)、12月20日(月)、令和4年1月24日(月)
三重県立津高等学校	普通科2年生	320	総合的な探究の時間	守屋和幸、小掠光裕、寺村善樹	6月4日(金)、7月28日(水)、11月5日(金)、11月6日(土)、11月20日(土)、11月26日(金)、12月28日(火)、令和4年1月14日(金)、2月5日(土)
三重県立上野高等学校	普通科1年生・2年生・3年生、理数科1年生・2年生・3年生	815	総合的な学習の時間、課題研究	寺村善樹	6月30日(水)、7月27日(火)、10月20日(水)、11月5日(金)、11月6日(土)、11月20日(土)、12月8日(水)、12月28日(火)、令和4年1月28日(金)、3月11日(金)

学校名	科・学年等	人数	教科・科目名	担当者	実施日
学校法人鈴鹿享栄学園鈴鹿高等学校	普通科1年生 普通科1年生 探究コース SR選択者	69	総合的な学習の時間	守屋和幸、 寺村善樹	8月18日(水)、令和4年1月12日(水)
三重県立伊勢高等学校	普通科1年生	279	総合的な探究の時間	寺村善樹	10月14日(木)、10月28日(木)、11月4日(木)、11月18日(木)、11月25日(木)、令和4年1月13日(木)
三重県立名張青峰高等学校	普通科3年生	6	情報メディアの活用	寺村善樹	10月28日(木)、11月11日(木)、12月9日(木)
三重県立松阪高等学校	普通科2年生 地域に関する テーマ選択者	10	総合的な探究の時間	寺村善樹	11月8日(月)、12月6日(月)、12月23日(木)
三重県立志摩高等学校	普通科1年生、 2年生、3年生	220	総合的な学習の時間	寺村善樹	12月14日(火)、令和4年1月20日(木)
計		2,714			

ただし、津高等学校、上野高等学校にある11月6日、11月20日、12月28日は同時開催。

## 5.4.2 大学

### 1) 三重大学

三重大学とは、「国立大学法人三重大学と三重県総合博物館との相互協力協定」（平成26年2月締結）に基づき、三重の自然と歴史・文化などのかげがえのない地域資源を活かし、文化振興と地域づくりに寄与することを目的として、相互協力による連携事業に取り組んでいる。また、連携の協議機関として、連絡調整会議を設置し、定期的に事業調整・協議を行っている。

#### ①連携事業

##### (1) 共同研究

事業名	期間等	会場	概要	人数	連絡先など
ウミガメ類の研究	平成27年度～(継続中)	当館、 県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したウミガメ類の研究(担当：標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存)	—	生物資源学部三重大学サークル「かめっぷり」・吉岡基(生物資源学研究科)、当館職員 北村淳一・田村香里・稲垣玲弥
スナメリ類の研究	平成27年度～(継続中)	当館、 県内海岸各地	伊勢湾に漂着したスナメリ類の研究(担当：標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存)※平成30年度～スナメリネットワークの活動も含む。	—	生物資源学部三重大学サークル「かめっぷり」・吉岡基(生物資源学研究科)、当館職員 北村淳一・田村香里・稲垣玲弥
花粉媒介の昆虫類に関する研究	平成30年度～	当館	チシマイワブキ属の3種について花粉媒介を行う昆虫類を関係について研究する。	—	福田知子(教養教育院)、当館職員 大島康宏
三重大学平倉演習林で調査された昆虫資料の標本作製・整理および昆虫相の変化に関する研究	平成30年度～令和3年度	当館	当館収蔵に収蔵されている未標本状態の三重大学平倉演習林関連昆虫資料の整理および自然環境の変遷を調査する。	—	塚田森生(生物資源学研究科)・福田知子(教養教育院)、当館職員 大島康宏・森田奈菜
標本資料を活用した生物多様性教育と地域の生物多様性に関する研究	平成31年度～	当館、 県内各所	三重大学の調査研究で得られた昆虫・植物資料および三重県総合博物館収蔵の未標本資料の標本作製・整理(データベース含む)。※実績については、「2.2研究成果」一覧を参照のこと。	—	福田知子(教養教育院)、塚田森生(生物資源学研究科)、平山大輔(三重大学教育学部) 当館職員 大島康宏・森田奈菜

事業名	期間等	会場	概要	人数	連絡先など
三重県希少野生動物種ウシモツゴの調査・保全活動	平成30年度～	伊勢市のため池	生活史や生息個体数を調査する。	—	河村功一(生物資源学研究科)、鳥羽水族館、当館職員 北村淳一
び遺伝的特徴三重県加茂川水系におけるヤリタナゴの初記録および	令和3年度	鳥羽市加茂川	三重県加茂川水系におけるヤリタナゴを初記録し、mtDNAから在来の可能性を考察した。※発表論文については、「2.2研究成果」を参照のこと。	2	久保敦暉(生物資源学部学生)、当館職員 北村淳一

## (2) 博物館実習

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
博物館実習Aコース	8月17日(火)～19日(木)※	当館	学芸員資格取得にかかる実習。博物館の概要、博物館学入門、保存科学入門、課題作業「企画展を考える」、自然史資料とその取り扱い、歴史資料の取り扱いなど	4	当館職員 森田奈菜
博物館実習Bコース	11月～12月	当館	脊椎動物(学芸員2名)、昆虫(学芸員1名)、地学(学芸員2名)、総合(学芸員2名)の5班にわかれ、各学芸員の指導の下、それぞれ5日間の実習を行なった。	6	当館職員 森田奈菜

※新型コロナウイルス感染症拡大のため日程短縮

## (3) インターンシップ

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
インターンシップ	※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	—	—	—	当館職員 太田光俊

## (4) 博物館学芸員養成課程授業 [授業協力]

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
人文学部博物館実習の見学・技術実習	7月7日(水)・14日(水)・21日(水)	当館	①バックヤード等の施設見学 ②民俗資料の展示と活動 ③古文書の整理法及び調書の取り方について	22	当館職員 宇河雅之・小林 秀

## (5) その他

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
三重県総合博物館協議会 評価部会の外部委員	平成30年度～	当館	三重県総合博物館の活動と運営について、2020年度の取組実績をもとに評価を行う。	—	吉岡 基(生物資源学研究科)、当館職員 寺村善樹
教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「日本理解特殊講義 三重の歴史と文化」	5月19日(水)	三重大学	歴史学から見る「三重の食」	35	志垣智子(地域人材教育開発機構)、当館職員 太田光俊
教育実地研究基礎	11月10日(水)・17日(水)	当館	教育学部社会科教育コース1年次学生、教育実地研究基礎受講生他が博物館の児童・生徒利用について調査検討した。	21	藤田達生(教育学部)、当館職員 太田光俊
3Dプリンター活用による山城模型などの作成	令和3年度	当館	第29回企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」(10月1日～11月27日)の特設コーナー「三重の戦国ってどんな時代～北畠氏の山城から～」、津市教育委員会の協力を得て3Dプリンターで作成した山城などを展示	—	和気尚美(情報教育・研究機構)、当館職員 福田良彦・太田光俊
データサイエンティスト育成事業	令和2年度～	当館	県内企業の協力を得て当館の3D空間を作成し、3Dの展示空間で閲覧者がどのような行動をとるのかデータ収集・分析を行う。	—	加藤貴也(地域イノベーション学研究科)、当館職員 太田光俊・中村千恵

②連絡推進会議

三重大学博学連携推進室 梅川逸人、荻原 彰、塚本 明、大井隆弘、吉岡 基、米津友子、藤岡まゆみ

当館 守屋和幸、星野利幸、宇河雅之、寺村善樹、太田光俊、中村千恵

第1回 日時 10月21日(木) 場所 リモート開催

第2回 日時 令和4年3月11日(金) 場所 リモート開催

2) 皇學館大学

皇學館大学とは、「皇學館大学と三重県総合博物館との相互協力協定」(平成26年2月締結)に基づき、三重の地域振興のため、双方の知的資産を活用して連携し、三重に関連する地域資源を探求・保存継承・活用発信を行うとともに、地域に伝わる伝統や文化を尊重し、次世代に活躍する人材を育成することを目的として、相互協力による連携事業に取り組んでいる。また、連携の協議機関として、連絡調整会議を設置し、定期的に事業調整・協議を行っている。

①連携内容

(1) 共同研究

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
皇學館大学 佐川記念神道博物館の所蔵資料を用いた調査・研究	平成29年度～(継続中)	当館	神道博物館所蔵の鏡鑑類コレクションの科学的分析などの共同研究	—	岡田芳幸(非常勤講師)、当館職員 甲斐由香里

(2) 博物館実習

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
博物館実習Aコース	8月17日(火)～19日(木)	当館	学芸員資格取得にかかる実習	3	当館職員 森田奈菜

(3) 博物館学芸員養成課程授業など

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
博物館資料保存論	7月4日(日)・11日(日)	当館	講義と収蔵庫・展示室案内	各日13	岡野友彦(文学部)・当館職員 甲斐由香里
計				26	

②連絡推進会議

皇學館大学研究開発推進センター 大島信生、中松 豊、浦野綾子、小林 郁、浅井誠司

当館 守屋和幸、瀧川和也、大島康宏、太田光俊

第1回 日時 7月20日(火) 場所 当館会議室

第2回 日時 11月25日(木) 場所 皇學館大学神道博物館

5.4.3 博物館

三重県内には登録博物館20館、博物館相当施設3館及び類似施設84館あり、相互に情報交換や企画展等での資料貸借などの相互協力を行っている。県内博物館の49機関68施設が加盟する三重県博物館協会の事務局が当館に置かれていることから、県内博物館との全体的な連携は主に同協会事業を兼ねて行っている。また、県外の博物館との関係では、全国組織である日本博物館協会、同近畿支部、全国科学博物館協議会、全国歴史民俗系博物館協議会に加盟している。このほかにも岐阜県博物館との連携事業を実施した。

1) 三重県博物館協会

三重県博物館協会は、昭和48年に三重県内の博物館園等の相互連携を密にし、博物館事業等の普及発展を図り、三重県の文化の進展に寄与することを目的として設立され、令和3年度は県内博物館の49機関68施設が加盟している。当館館長が理事に選任され、また、当館が協会事務局を引き受けている。



## 1 総会・理事会・運営委員会

事業名	期間等	会場	内容	担当者
第1回理事会	5月25日(火)	当館会議室	10	三重県博物館協会役員・職員の体制、本年度の実施が難しい事業の対応・確認等
総会	※新型コロナウイルス感染症に伴い書面決議とした			令和2年度事業・決算報告、令和3年度事業計画・予算、会則改定報告等
第2回理事会	11月10日(水)	当館会議室	10	本年度の実施が難しい事業の対応、総会書面決議についての協議、協会の運営等
第3回理事会	令和4年2月9日(水)	当館会議室	9	次期理事会委員選出、協会の運営、広報PR事業の課題、三博協50周年記念事業の課題等

## 2 研修事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い実施せず。

## 3 三重県博物館協会教育普及事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い実施せず。

## 4 博物館関係情報共有事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い派遣せず。

## 5 三重県博物館協会広報PR事業

県内外への発信活動として、協会のブログを再開した。

## 6 東海三県博物館研究交流会

愛知県博物館協会・岐阜県博物館協会・三重県博物館協会が持ち回りで実施、本年度は愛知県が主催県。新型コロナウイルス感染防止対策のため、本年はオンラインでの開催となった。

## 7 災害発生時の相互協力事業

○新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館情報等の情報調査及び共有

新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、加盟館園への県主催イベントの開催基準の周知を行うほか、臨時休館情報などの収集、加盟館園への情報共有を図った。

○災害対応の物資備蓄

昨年度に続き、災害対応物資の追加備蓄を実施した。

## 2) 岐阜県博物館交流企画

三重県総合博物館と岐阜県博物館において、相互の資料貸借、連携企画事業の実施、講座講師の相互派遣、情報の相互発信などの連携を行うことにより、相互の魅力アップをはかるとともに利用者にとって魅力的な博物館づくりを協働して推進する。

事業名	期間等	会場	内容	担当者
「豊臣政権下の稲葉家の動向」	9月18日(土)	当館	中止	安藤均(岐阜県博物館学芸員)
「三重県を東西に走る中央構造線の活動史」	10月23日(土)	岐阜県博物館	40	津村善博(当館学芸員)
計			40	

## 5.4.4 文化交流ゾーン

三重県では、三重県総合文化センター(三重県文化会館・三重県生涯学習センター・三重県男女共同参画センター)、三重県立図書館、三重県立美術館及び当館を含む地域を文化交流ゾーンと捉え、全体としての魅力を高めることで、より多くの人々が訪れ、さまざまな文化に接し、感性を高めることができる場の形成をめざしている。

このため、文化交流ゾーン各館に斎宮歴史博物館を加えた県立文化施設では、各館長による文化交流ゾーン関係館長会議や実務レベルの文化交流ゾーン関係施設課長等会議を毎月定期的に開催し、連携強化を図っている。会議では、各館の運営や事業に関する情報の交換・共有をはじめ、文化交流ゾーンの利用促進に向けた全体広報、社会見学の受入や企画展・講座・イベントなどかかわる連携について協議を行い、個々の連

携事業の実施につなげている。また、特に、隣接する三重県総合文化センターとは事務連絡会議、駐車場会議を開催し、相互の円滑な日常的運営に努めている。

#### 1) 三重県総合文化センター

- ・4月23日(金)～5月9日(日) 総合文化センター・三重県立図書館と連携して「春のそうぶんに行こうよ！ こいのぼりがいっぱい！！」の開催時に、関連企画として「そうぶんとみえむをおさんぼしてクイズにちょうせん！」を実施した。
- ・7月から8月に開催した「サマープログラムfor KID's アソボ・マナボ・タノシソウブン」に、企画展「やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物」と関連イベント類、ミュージアムパートナーフェスタで連携した。
- ・令和4年度に実施する「三重県総合博物館MieMuのテーマ曲をつくろう！」の参加者募集を行った。(令和4年1月25日(火)～3月21日(月・祝))

#### 2) 三重県立図書館

企画展の開催に合わせ、相互利用の促進を図るための取組を行った。主に、三重県立図書館から三重県総合博物館へ来館する人の流れを生み出すことを意図して、三重県立図書館内での企画展に関するPR展示、三重県総合博物館内での紙面による関連図書の紹介などを行った。

《実施内容》

- ・第28回企画展「やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物」 三重県立図書館館内PR展示
- ・第29回企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」 三重県立図書館館内PR展示

#### 3) 三重県生涯学習センター

10月17日(日)に三重県生涯学習センターが行う連続講演会「北畠氏城館跡のひみつ」(講師：津市教育委員会 熊崎司氏)と連携して、講演会終了後に講演会参加者に対して、当館職員が企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏がいた時代～」の展示資料解説を行った。

#### 4) 文化交流ゾーン・連携推進会議 実務者会議の実践

##### ① 人材育成研修

7月14日(水)、三重県立美術館を会場に、美術館の企画展「美術にアクセス！—多感覚鑑賞のすすめ—」を展示担当者の解説のもとで見学し、その後、意見交換を行った。当館からは3名の職員が参加し、職員の見識を高めるとともに、文化交流ゾーンを構成する各施設の人材の交流をはかった。

##### ② 「三重」をキーワードとした取組

既存の一般的によく利用されているハッシュタグ「#三重県」に関連させて、多くの人に見てもらえるようにし、さらに「#三重の文化」「#文化交流ゾーン」というキーワードを広めるため、各施設が可能な範囲で共通のハッシュタグをつけて発信した。

##### ③ のぞいてみよう！文化交流ゾーン「大人のためのバックヤード見学」

当館、三重県立図書館、三重県総合文化センターのバックヤードを見学し、各館のそれぞれの魅力を感じてもらう機会とする。文化振興課の主催事業。予定していた2回ともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

令和4年2月1日(火) 当館、三重県立図書館

令和4年3月2日(水) 当館、三重県総合文化センター

### 5.4.5 国県市町など

#### 1) 文化財保存についての地域協力

地域にある文化財の保存・活用への協力は当館の使命としており、文化財の保存や修復方法に関する問い合わせへの回答・助言を行うとともに、必要に応じて当館の保存科学担当者が環境調査や資料分析を行った。

主な内容としては、収蔵施設等の施設設備や文化財防災に関する助言・講演、温度/湿度・化学物質・生物被害等についての測定と管理についての助言及び、X線透過撮影や蛍光X線による文化財の分析であり、令和3年度は次の対応を行った。

環境調査及び文化財調査の対応件数 11件、環境管理についての助言等の件数 28件

## 2) みえむ未来創成フォーラム2021「高等学校での地域に関わる学習」生徒成果物発表会について

地域の人々が地域の自然と歴史・文化の魅力を学習する機会を提供して、地域に愛着を持つ「人づくり」に取り組み、「みえむ未来創成フォーラム」を開催している。

今年のフォーラムでは、三重県総合博物館が支援している県内高等学校が教育課程内で実施している「地域に関わる学習」を紹介するとともに、生徒の成果物を展示した。

(1) 日時 令和4年2月22日(火)～3月6日(日)

(2) 場所 三重県総合博物館 2階 交流展示室

(3) 展示校

- ① 三重県立桑名高等学校
- ② 三重県立神戸高等学校
- ③ 三重県立津高等学校
- ④ 三重県立松阪高等学校
- ⑤ 三重県立伊勢高等学校
- ⑥ 三重県立志摩高等学校
- ⑦ 三重県立上野高等学校
- ⑧ 三重県立名張青峰高等学校

### 5.4.6 その他の諸機関・諸団体

機関・団体名	事業名	機関	会場	概要	人数
三重県教育委員会事務局 高校教育課	三重県高校生海洋環境セミナー	4月28日(水)	オンライン	志摩半島の歴史・志摩の海洋環境を高校生が学ぶオンライン講座を担当。	14
三重県真珠養殖連絡協議会	生きものがつくる宝石 真珠を知ろう!	4月29日(木・祝)	実習室・交流活動室・学習交流スペース	真珠取り出し体験やアクセサリー作り、パネル展示等	159
三重県農林水産部みどり共生推進課	三重県野生生物保護啓発ポスターコンクール作品展	5月11日(火)～5月16日(日)	学習交流スペース	県内小中学生対象のコンクール入賞作品の42点の展示	—
ウミガメネットワーク三重	環境学習会2021「三重の海へやってくるウミガメ」	5月15日(土)	レクチャールーム	ウミガメの生態を紹介するとともに主な死亡原因から環境問題についても考える	33
連合三重	平和パネル展	7月16日(金)～8月1日(日)	学習交流スペース	戦争の悲惨さ、恒久平和の大切さを考える機会とするパネル展示	—
三重県教育委員会事務局 研修推進課	教職員研修「学校で取り組むSDGs—校庭の樹木の活用法—」	7月30日(金)	実習室・ミュージアムフィールド	学校等の教職員が地域と連携して学習展開する方法を学ぶ研修	20
三重県戦略企画部戦略企画総務課	平和への想いを次の世代へ～平和に関する企画展2021～	8月3日(火)～8月15日(日)	学習交流スペース	平和啓発事業の一環として、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える展示と活動発表会(11日・オンライン)	51
三重県農林水産部みどり共生推進課	大杉谷森林鉄道写真展示	8月18日(水)～10月14日(木)	学習交流スペース	木材搬出等に活用された大杉谷森林鉄道の歴史等を紹介する写真パネル展示	—

機関・団体名	事業名	機関	会場	概要	人数
三重県デジタル社会推進局デジタル戦略企画課	「デジタルの日」PR	9月28日(火)～10月17日(日)	エントランスホール	国・県の「デジタルの日」PRパネルの展示・動画放映	—
読売新聞東京本社中部支社	日本学生科学賞三重県展	10月12日(火)～10月17日(日)	交流展示室・レクチャールーム	県内の中学・高校生が応募した実験・観察・研究等の記録や図表、実験器具、標本等の展示、審査、表彰	—
三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課	三重の考古資料パネル展示	10月26日(火)～11月14日(日)	学習交流スペース	指定文化財となっている県内の考古資料を時代ごとに紹介	—
三重県農林水産部農産園芸課	と、伊勢茶。	10月30日(土)～11月14日(日)	交流展示室	三重県における茶葉生産の歴史、茶業の発展に尽力された偉人の歴史をパネルで紹介するとともに、茶壺や茶箱、茶道具を展示。当館からは駒田作五郎の三重縣製茶會社の看板を出陳。	—
三重県医療保健部薬務課	薬物乱用防止ポスター入賞作品展	12月17日(金)～12月19日(日)	学習交流スペース	県内中学・高校生の薬物乱用防止啓発ポスター入賞作品36点の展示	—
三重県農林水産部森林・林業経営課	三重県児童・生徒木工工作コンクール優秀作品展示	11月30日(火)～12月10日(金)	学習交流スペース	木工工作コンクール優秀作品22点の展示	—
三重県県土整備部下水道経営課	下水道ポスターコンクール入賞作品展示	11月30日(火)～12月9日(木)	エントランスホール	下水道の普及や水質の保全等への理解促進のため、小中学生の入賞作品24点を展示	—
ウミガメネットワーク三重	ウミガメ報告会2021	12月12日(日)	レクチャールーム	今年のウミガメの上陸・産卵と子ガメのふ化・脱出について報告	48
三重県環境学習情報センター	三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール入賞作品展示	12月16日(木)～令和4年1月25日(火)	学習交流スペース	県内小中学生のコンクール入賞作品16点を掲示	—
三重県文化資産防災ネットワーク	三重の文化資産を守ろう！パネル展示	令和4年1月25日(火)～2月6日(日)	エントランスホール	文化財防火デーにちなみ、三重県の文化資産防災ネットワークの取組を紹介	—
三重生物教育会	三重生物研究発表会および申込作品展示	令和4年2月1日(火)～2月6日(日)	交流展示室	県内の小中学校・高校の児童・生徒の理科学習、クラブ活動の成果を発表する(発表・審査はオンライン)	—
日本赤十字社三重県支部	青少年赤十字ポスターコンクールポスター展示	令和4年2月19日(土)～3月13日(日)	学習交流スペース	県内児童・生徒の青少年赤十字活動に関するポスター優秀作品の展示	—
重要無形文化財保持団体伊勢型紙保存会	伊勢型紙 極小の原点「小本」展	令和4年3月10日(木)～3月13日(日)	交流展示室	重要無形文化財保持者が製作・使用してきた「小本」を展示。伝承者養成事業の作品紹介。伊勢型紙の4つの彫刻技法(突彫・錐彫・道具彫・縞彫)の実演や伊勢型紙で染めた訪問着や反物の展示。	—
ウミガメネットワーク三重	環境学習会「ウミガメと気候変動」	令和4年3月12日(土)	レクチャールーム	気候変動が与えるウミガメへの影響と対策について考える	23

機関・団体名	事業名	機関	会場	概要	人数
松阪もめんフェスティバル実行委員会	松阪もめんフェスティバル2021 in MieMu	令和4年3月19日(土)～3月27日(日)	交流展示室	松阪もめんの魅力を世代を超えて確認し、発信するイベント	—
松阪もめんフェスティバル実行委員会	松阪もめんフェスティバル2021 in MieMu 松阪もめんわたくり体験	令和4年3月19日(土)	実習室	糸車を使って綿から糸を紡ぐわたくりを体験	22
松阪もめんフェスティバル実行委員会	松阪もめんフェスティバル2021 in MieMu 講演会「三重の木綿の明治・大正・昭和・平成そして令和」	令和4年3月20日(日)	レクチャールーム	当館職員 福田良彦が、百年前の織機で織る木綿を中心に、三重で生産されているもめんの特徴を紹介	24
松阪もめんフェスティバル実行委員会	松阪もめんフェスティバル2021 in MieMu 松阪もめん貼り絵体験	令和4年3月21日(月・祝)	実習室	松阪もめんを使ったカーネーションの貼り絵をつくる体験	5
日本赤十字社三重県赤十字血液センター	キッズ献血 in みえむ	令和4年3月21日(月・祝)	エントランスホール	子どもたちに献血の必要性を伝え、模擬体験をとおして理解を深め、普及をはかる。	278

## 5.5 他機関・団体への協力(職員の諸団体への協力活動)

他機関や団体から依頼を受けて各種委員や講師依頼等を受けて実施した講演や講座について学芸員ごとに講演、講座などの内容(テーマ)、依頼元、開催場所、実施日について記載した。

### 5.5.1 委員、講師等の依頼

守屋和幸(館長)

[委員等]

- 1 京都大学名誉教授
- 2 肉用牛研究会顧問
- 3 京都大学と京都府教育委員会の連携事業検討委員会委員
- 4 公益財団法人日本博物館協会参与
- 5 三重県博物館協会理事

福田良彦(主査)

[委員等]

- 1 伊賀市文化財保護審議会委員
- 2 伊賀市文化振興審議会委員
- 3 伊賀市天神祭復元修理事業等審議会委員
- 4 津市文化財保護審議会委員
- 5 伊賀市文化財保存活用地域計画協議会委員

[講師等]

- 1 三重県指定有形文化財(建造物)春日神社拝殿保存修理事業にかかる第3回公開講座「春日神社をめぐる宮座と講の行事」講師, 春日神社(7月17日)
- 2 三重県指定有形文化財(建造物)春日神社拝殿保存修理事業にかかる第3回公開講座「伊賀の宮座行事～伊賀市川東の春日神社の宮座行事調査」講師, 春日神社(7月17日)
- 3 伊賀・山城南・東大和定住自立圏連携事業「カンジョウナワ行事のヒミツ」講師, ハイトピア伊賀・やまなみホール(11月20日)
- 4 松阪もめんフェスティバル2021 in MieMu 「三重の木綿の明治・大正・昭和・平成そして令和～百年前



の織機で織る木綿を中心に～」講師，三重県総合博物館(令和4年3月20日)

- 5 未来のおおせサミット 地域の民謡と祭り いざ行け未来まで尾鷲節～笛・太鼓・唄・踊りの継承～パネリスト，尾鷲市立中央公民館(令和4年3月21日)

#### 北村淳一(主査・課長代理・学芸員)

[委員等]

- 1 木曽川水系イタセンパラ保護協議会委員(国土交通省中部地方整備局・環境省中部地方環境事務所)
- 2 木曽川イタセンパラ事業環境影響検討会委員(国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所)
- 3 利根川下流における人と自然が調和する川づくり委員会委員(国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所)
- 4 櫛田川自然再生推進会議委員(国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所)
- 5 国内希少野生動植物種の指定候補に係る優先度等の再検討に関する意見交換会(汽水・淡水魚類)委員(環境省)
- 6 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会(淡水魚類分科会)委員(環境省)
- 7 令和3年度ミヤコタナゴ保護増殖事業検討会委員(環境省関東地方環境事務所)
- 8 文化審議会文化財分科会第三専門調査会委員(文化庁)
- 9 農業農村整備事業環境アドバイザー協議会委員(三重県農林水産部農業基盤整備課)
- 10 亀山市ネコギギ保護指導委員(亀山市教育委員会)
- 11 祓川環境保全全体会議座長
- 12 希少野生動植物種保存推進員(環境省)
- 13 三重県生物多様性保全アドバイザー(三重県農林水産部)

#### 小林 秀(主査・課長代理・学芸員)

[委員等]

- 1 松阪市文化財保護審議会委員
- 2 朝日町史編さん執筆委員
- 3 皇學館大学研究開発推進センター共同研究員

#### 森田奈菜(主査・学芸員)

[委員等]

- 1 希少野生動植物種保存法推進員(環境省)
- 2 朝日町史編さん執筆委員

#### 中川良平(主査・学芸員)

[委員等]

- 1 日本洞窟学会事務局員
- 2 観光庁「多言語解説整備支援事業」内容監修者(伊勢志摩国立公園横山ビジターセンターの展示監修)

#### 中村千恵(主任・学芸員)

[委員等]

- 1 松浦武四郎記念館運営審議会委員

[講師等]

- 1 講座「博物館の仕事」講師，四日市市立港中学校(5月23日)

## 大島康宏(主査・学芸員)

[委員等]

- 1 日本鱗翅学会自然保護委員
- 2 日本鱗翅学会評議員
- 3 蜻蛉研究会編集委員
- 4 希少野生動植物種保存法推進員(環境省)
- 5 NPO法人 西日本自然史系博物館ネットワーク 標本救済ネットケースワーカー
- 6 南部浄化センター自然環境調査・保全検討アドバイザー(三重県北勢流域下水道事務所)
- 7 三重県生物多様性保全アドバイザー(三重県農林水産部)
- 8 朝日町史編さん執筆委員
- 9 三重昆虫談話会幹事

[講師等]

- 1 多様性の生物学「博物館活動と標本」ゲストスピーカー, 三重大学(5月13日, 5月14日, 5月17日)
- 2 自然観察会「昆虫」講師, 津市立片田小学校(6月9日)
- 3 コロナ禍におけるオンラインを活用した昆虫類の観察会の実施例 -ライブ配信とオンデマンド配信-, 日本昆虫学会第81回大会, 法政大学(オンライン)(9月5日).
- 4 出前講座 環境学習会 「伊賀盆地のトンボ」講師, 独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理事務所(11月4日)
- 5 自然史情報を次世代につなぐために地域博物館ができること -三重県総合博物館の昆虫分野の活動から-, 令和3年度第2回 全国科学博物館協議会 総会講演, オンライン(令和4年2月17日)

## 太田光俊(主査・学芸員)

[講師等]

- 1 「志摩半島の歴史」講師, 鳥羽高校・水産高校(4月28日)(リモート)
- 2 伊勢の御師フォーラム2021「御師の衣装」講師, 五十鈴塾(7月16日)
- 3 伊勢の御師フォーラム2021「御師の献立再現・食談会3」講師, 大喜(7月24日)
- 4 伊賀CATV「時の散策 1月号 真盛上人と西蓮寺」(令和4年1月放送)
- 5 検定お伊勢さん「歴史編」対策講座講師, 伊勢商工会議所(令和4年1月21日)
- 6 検定お伊勢さん「ものづくり編」対策講座講師, 伊勢商工会議所(令和4年1月21日)

## 佐野 明(主査)

[委員等]

- 1 希少野生動植物種保存推進員(環境省)
- 2 三重県生物多様性保全アドバイザー(三重県農林水産部)
- 3 日本哺乳類学会保護管理専門委員会委員(日本哺乳類学会)
- 4 日本哺乳類学会和文誌編集委員(日本哺乳類学会)
- 5 滋賀県生きもの総合調査委員会哺乳類部会委員

## 瀧川和也(課長・学芸員)

[委員等]

- 1 いなべ市文化財保護委員会委員
- 2 第68回桑名市民展審査員(美術工芸)
- 3 四日市市文化財保護審議会委員

- 4 第48回四日市市美術展審査員(彫刻) ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- 5 鈴鹿市文化財調査会委員
- 6 亀山市文化財保護委員会委員
- 7 津市文化財保護審議会委員
- 8 伊賀市文化財保護審議会委員
- 9 名張市文化財調査会委員

[講師等]

- 1 「仏様の見分け方」五十鈴塾(6月28日)
- 2 「名張・伊賀と周辺の仏像」名張歴史読書会(12月10日)

#### 寺村善樹(主幹)

[委員等]

- 1 三重県立上野高等学校のスーパーサイエンスハイスクール研究開発に係る運営指導委員会委員

#### 津村善博(非常勤学芸員)

[委員等]

- 1 津市文化財保護審議会委員
- 2 松阪市文化財保護審議会委員
- 3 観光庁「多言語解説整備支援事業」内容監修者(伊勢志摩国立公園横山ビジターセンターの展示監修)
- 4 朝日町史編さん執筆委員

[講師等]

- 1 出前講座「私たちが住んでいる中川地区の土地のようすを知る—自然災害から身を守るために—」, 中川小学校(10月12日)
- 2 出前講座「伊賀地域、特に大山田地域に分布する岩石鉱物や地層について」, 大山田郷土資料館(7月25日)
- 3 津高校SSC 三重県総合博物館研修講師(7月28日)
- 4 三重県総合博物館交流企画 講演会「三重県を東西に走る中央構造線の活動史」岐阜県博物館(10月23日)

#### 宇河雅之(主幹・課長代理・学芸員)

[講師等]

- 1 移住者が暮らしたくなるまちづくり講座「三重の魅力を探る」 三重県地域連携部地域支援課(10月20日)
- 2 MieMu活用講座—県総合博物館との連携講座— 三重県総合教育センター(12月24日)
- 3 小学校社会授業づくり研修—くらしの道具を活用して— 三重県総合教育センター(12月24日)
- 4 三重の“宝”トーク「私たちのお米ライフ」 三重県農林水産部フードイノベーション課(令和4年3月12日)

#### 甲斐由香里(主任・学芸員)

[講師等]

- 1 『地域歴史資料の滅失を考える研究集会』資料保存アドバイザー, 九州保健福祉大学博物館学研究室(令和4年3月5日・7日・8日)
- 2 『空き家の文化財を考える—保全からデジタルアーカイブまで—』ディスカッションにおけるコメン

テーター、九州保健福祉大学博物館学研究室・国立歴史民俗博物館「総合資料学の創成」事業(令和4年3月6日)

## 6 企業との連携

### 6.1 事業の趣旨・目的

博物館活動の基本的な活動の視点の一つである多様な主体との連携を進めるにあたり、三重県の経済・産業・雇用・文化などの面で大きな役割を担っている企業・団体との交流と連携に取り組んでいる。金銭的な支援だけでなく、新たな創造と発信の機会とするために、講演会や各種ワークショップ、パネル展示等を共催して実施している。

- ・寄附 企画展示の充実や、展示・収蔵資料の保存や修繕など、博物館の活動全般に対する金銭的な支援
- ・企業パートナーシップ 一定額を会費として支払うことにより、博物館の利用に関する各種の特典を受けられる。
- ・コーポレーション・デー 任意の日に一定額の協賛をすることで、その日の来館者全員の基本展示観覧料が無料になり、合わせて企業PRなどができる。

### 6.2 パートナー企業数

150社 (令和4年3月末)

### 6.3 連携事業

#### 1) コーポレーション・デー

企業名・団体名	実施日	主なイベント
一般財団法人三重県環境保全事業団	11月3日(水・祝)	事業団の事業内容パネル展示

#### 2) 展示・イベント

企業・団体名	実施期間	主なイベント内容
MieMu SHOP(株式会社エコムプロダクト)	8月9日(月・振休) 8月28日(土)※中止	ジオード(水晶入りの石)をタガネとハンマーで割って、水晶を取り出す体験講座
イオンモール株式会社 イオンモール東員	10月9日(土)	「自然観察のポイント」講演とふれあい公園での現地解説

#### 3) 館長懇談会

イベント名	実施日	内容
館長懇談会	10月28日(木)	館長講演「Virtual VS Real～実物を観る意義～」、企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」解説と観覧

#### 4) 講話

企業・団体名	講話日	講話内容(テーマ)
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所	11月4日(木)	「伊賀盆地のトンボ」当館職員 大島康宏

#### 5) ショップ関係

	商品
MieMuオリジナル商品	MieMuあられ、関の戸、さんちゃんタオル、クッキー、三重の石展Tシャツ、くじらTシャツ、オリジナルカステラ(DE CARNERO CASTE)、三重の動物シール

	商品
企画展商品	「やっぱり石が好き！」展：ミニ鉱物標本、那智黒石マスコット、那智黒石キーホルダー、那智黒石ペーパーウエイト、モース硬度計、ルーペ、パンニング皿、ハンマー 「寺院に伝わる戦国の残像」展：戦国クリアファイル、武将カレンダー、武将トランプ、武将双六、戦国メモ帳

## 7 利用者との協創

### 7.1 事業の趣旨・目的

三重県総合博物館の基本的な活動の視点である「県民・利用者との協創」に基づく取組として、旧県立博物館時代の「サポートスタッフ」を発展的に継承し、開館とともに活動を開始した「三重県総合博物館ミュージアムパートナー」の活動への支援、平成27年度から展開する「みえむボランティア」活動を継続して行った。

### 7.2 三重県総合博物館ミュージアムパートナー

旧県立博物館時代の平成18年度に結成され新博物館整備活動にもかかわった「サポートスタッフ」を母体に、開館の平成26年度に、博物館とともに活動し、支える外部団体として「ミュージアムパートナー」が発足した。当館学芸員が活動を支援し、独自の講座・観察会を実施し、三重の自然と歴史・文化について調査・観察、情報発信する活動を行っている。また、サポートスタッフ時代からさまざまな分野で活動していたグループ活動を引き継ぎ、5グループが活動を行っている。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月末から10月、2月から3月上旬にかけて、活動を休止した。また、2月に開催予定であった地域探訪や博物館めぐりの企画も同様の理由で中止した。

#### 1) 会員数

164組 294名

#### 2) 主な活動内容

- ・会員を対象とする講座を実施
- ・会報を発行
- ・博物館活動への参加・協力、博物館との連携によるワークショップ等の実施
- ・仲間とともに興味・関心を深めることができるグループ活動(歴史、民俗、染織、おもしろ博物館、ユニバーサルミュージアムの5グループ)
- ・総会(年1回)、事務局会議(月1回)、役員会(会長が招集)、グループ代表者会議を開催

#### 3) 活動内容

##### ①学芸員ミニ講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
初心者のための昆虫写真撮影講座	4月25日(日)	レクチャールーム	27	当館職員 大島康宏
仏像の技法～仏像の材料って何?～	5月9日(日)		17	当館職員 瀧川和也
こどもの視点から見る博物館～こども体験展示室の記録から～	6月13日(日)		13	当館職員 稲垣玲弥
七夕を考える	7月4日(日)		16	当館職員 宇河雅之
平安貴族の年中行事～菊の香に長寿を願って～	11月7日(日)		14	当館職員 宇河雅之
ヨーロッパ(ドイツ・オランダ・デンマーク)の博物館に行ってきました	11月23日(火・祝)		18	当館職員 北村淳一
墨のにじみについて	11月28日(日)		13	当館職員 甲斐由香里
三重の名所絵～浮世絵を中心に～	12月19日(日)		17	当館職員 星野利幸



行事名	開催日	会場	人数	講師
弁慶の謎に迫る～出生地は三重県？～	令和4年1月16日(日)	レクチャールーム	23	当館職員 瀧川和也
三重の祭り・行事～まつりの力と地域想い～	令和4年3月12日(土)		12	当館職員 福田良彦
計			170	

## ②こだわり講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
ウミガメネットワーク三重出前講座もやっています！	6月20日(日)	レクチャールーム	31	米川弥寿代
“かめつぶり” こんなことしています	11月21日(日)		13	和田純奈
オオサンショウウオのおはなし	12月5日(日)		29	池田萌朱那
日本のブナ林は生き残ることができるのか	令和4年3月21日(月・祝)		14	布谷知夫
計			87	

## ③特別講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
令和3年度ミュージアムパートナー総会記念講演会「知的好奇心を引き出すために」	4月11日(日)	レクチャールーム	27	当館館長 守屋和幸
第28回企画展「やっぱり石が好き！ 三重の岩石鉱物」展示解説会	4月23日(金)		22	当館職員 津村善博
計			49	

## ④総会・会議等

行事名	開催日	会場	人数	備考
総会	4月11日(日)	レクチャールーム	27	
事務局会議	原則毎月第2日曜日	交流活動室など	70	
定期発送作業	毎月最終木曜日	特別閲覧室など	—	
計			97	

## ⑤イベント・地域見学会等

行事名	開催日	会場	人数	備考
ミュージアムパートナーフェスタ	8月8日(日)	館内	860	
地域見学会「高田本山と高田短期大学周辺の地質・植物」	令和4年2月6日(日)	津市一身田	中止	
博物館めぐり「鈴鹿市考古博物館」	令和4年2月20日(日)	鈴鹿市考古博物館	中止	
計			860	

## グループ活動

5つのグループが、下記の活動を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月末から9月末まですべてのグループが活動を休止、2月から3月上旬にかけても一部の活動を休止した。

### <歴史グループ>

毎月第1土曜日に輪読会を開催した。江戸時代の版本『北畠物語』をテキストとした輪読を行い、各自の古文書読解能力の向上をはかるとともに、各自の興味関心に基づく研究報告を行った。第2・第3木曜日は、文書整理の会を開催した。ここでは、館蔵資料を整理しつつ、古文書読解能力及び目録作成能力の向上を図るように活動した。

### <民俗グループ>

毎月第1土曜日に例会を開くほか、月3回ほど活動している。令和3年度も平成30年度から取り組んでいる三重県内のお菓子調査を継続して実施。コロナ禍の影響で現地調査は控えているが、親族や知人を介して個々での聞き取り調査を進めている。

#### <染織グループ>

かつて伊勢木綿、松阪木綿と呼ばれ全国的に有名であった三重県の織物や藍染めなどについて、多くの方に知っていただくことをめざしている。博物館のミュージアムフィールドで藍などを栽培し、それを用いた染色に力を入れている。また、希望者には藍の種を配布している。メンバー各々が自分の研究や興味を深め、グループ内で発表しあうことや、染めの実験もしている。このほか、藍染めなどのコースターやアクセサリーつくって、ミュージアムショップで販売している。

#### <おもしろ博物館グループ>

博物館で子どもから大人まで楽しむことができる体験学習やモノづくり教室の企画や運営を行うグループである。毎月第3日曜日午前中に定例の活動打合せを行っており、新型コロナウイルス感染拡大のため9月のみオンラインで実施した。令和3年度の主な活動は、5月のこどもの日にあわせて「新聞紙でかぶとをつくろう」や、7月・8月には企画展に関連して「ロックバランシング」の体験イベントを行った。12月には恒例となっている当館事業「正月かざりをつくろう」の講師を務めた。

#### <ユニバーサルミュージアムグループ>

ワークショップや実践的な活動を通じて、障がいをお持ちの方とともに博物館を楽しむための方法について考えている。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により活動ができない時期もあったが、視覚に障がいをお持ちの方に展示内容などをご案内するときに用いる補助具(展示資料のミニチュアや材質のサンプルなど)の制作を行った。この取組は、展示室内の点字の敷設とともに次年度も継続して行う予定である。

※この他にも、グループ活動の一環として博物館資料の整理等(歴史グループによる古文書整理、民俗グループによる民俗資料整理など)にも取り組んでいる。

#### 学芸員の調査研究補助

##### <みんなでつくろう！ミュージアムフィールドの実物昆虫図鑑>

当館開館時より継続しており、令和3年度で8年目となる。学芸員の県内の生物多様性解明調査活動の補助の一環として、当館敷地内のミュージアムフィールドを活用し、次世代育成および世代間の交流を視野に入れた探究活動として実施している。

令和3年度の登録者数は24名。月に2回実施する調査では、自然環境ごとに設定した10のルートを歩き、確認したチョウ類の種および個体数を記録するルートセンサス法を取り入れている。チョウ類以外にも確認できた昆虫類を記録し、採集した個体は標本にして博物館へ収蔵し、活用できるようにしているほか、植生の状態についてもあわせて記録している。調査の成果は、野外展示と館内展示の紐づけを意識し、当館の展示室「三重の実物図鑑」内に展示している。また参加者各自がこの調査を通してまとめた成果も、昆虫関連の学会等に参加して公表し、調査成果としてあわせて展示している。本事業の研究成果の発表は2.2研究成果一覧を参照。

担当学芸員：大島康宏(昆虫担当)、森田奈菜(植物担当)

##### <地球探検隊>

県内の化石産地・鉱物産地等の現状を確認することを目的として、ミュージアムパートナーから募集したメンバーと月1回程度の活動を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動を停止した。

担当学芸員：中川良平・津村善博(地学担当)

##### <ホネ探>

当館学芸員とともに、哺乳類や鳥類を中心とした脊椎動物の剥製標本や骨格標本を作製している。新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため8月中旬～10月中旬と2月～3月の活動を自粛した。10月下旬より活動を再開し、哺乳類の骨格標本を作製する日と鳥類の仮剥製や翼標本を作製する日を1日ずつ設定し、原則として月に2回、計14回の活動を行った。

担当学芸員：田村香里(脊椎動物担当)、稲垣玲弥(博物館学担当)

### 7.3 ボランティア

#### 1) ボランティアの概要

「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざし、県民のみなさんとの「協創」として、平成26年末に「みえむボランティア」を募集し、以下の5つのグループに分かれて博物館のスタッフとして職員とともに博物館活動を支える活動を行っている。なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月末から9月、1月末から3月上旬までの間、活動を休止した。

来館者対応ボランティア 13名

ミュージアムフィールドボランティア 4名

図書整理ボランティア 8名

保存科学ボランティア 8名

資料整理ボランティア(非公募) 20名

#### 2) 各グループの活動状況

<来館者対応ボランティア>

館内案内(ミエゾウ・オオサンショウウオのさんちゃん・三重の実物図鑑などの案内)、学校見学の際の対応補助、ワークショップ・講座などのイベント補助

<ミュージアムフィールドボランティア>

ミュージアムフィールドの除草作業や植栽管理作業を月1回の頻度で実施。今年度は第1月曜日に館職員と一緒に除草作業を実施した。

<図書整理ボランティア>

蔵書確認、データ入力、配架作業を月2回の頻度で実施している。

<保存科学ボランティア>

資料保存業務の補助(展示室および収蔵庫等の維持管理にかかわる基礎データの採取補助など)。令和3年度は、パブリックスペースに設置しているバグトラップの回収と設置および捕獲状況の確認を行った。

<資料整理ボランティア>

昆虫標本、植物標本、魚類標本などの整理作業、登録作業の補助。標本作成・整理作業には一定程度のスキルが必要なため、非公募での活動としている。令和3年度は、昆虫標本の整理作業を48回(12月末日現在)、魚類標本の整理作業を12回行った。魚類標本の整理作業の一部の成果は、論文としてボランティアとともに学会誌に計3編を公表した。(2. 2研究成果一覧を参照。伊藤ほか, 2021 ; 伊藤ほか, 2021 ; 久保ほか, 2021)

## 8 広報

### 8.1 新聞・テレビ・ラジオ

1) 新聞 掲載実績 84件

2) テレビ 掲載実績 40件

3) ラジオ 掲載実績 19件

### 8.2 雑誌

#### 1) 雑誌・フリーペーパー

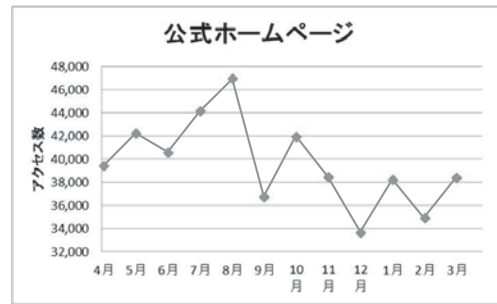
掲載実績は、雑誌が13件、フリーペーパーが40件、広報誌等が9件の計62件であった。

県広聴広報課の広報事業のフリーペーパー掲載枠を活用し、企画展や三重の実物図鑑特集展示を紹介した。

### 8.3 ホームページ

1) 月間アクセス数 年間 475,679回

月	アクセス数 (単位：回)	月	アクセス数 (単位：回)
4月	39,436	10月	41,935
5月	42,230	11月	38,456
6月	40,573	12月	33,629
7月	44,142	1月	38,217
8月	46,976	2月	34,928
9月	36,745	3月	38,412



### 2) MieMu@ほーむ

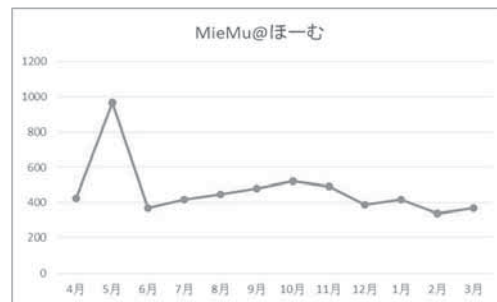
新型コロナウイルス感染症拡大を受け、令和2年度に新設した学習ページである。オンラインによる学習機会の提供を目的に、継続的に運用している。

令和3年度は、以下のコンテンツを掲載した。

- ・基本展示解説動画 15件
- ・学芸員ミニ講座動画 5件
- ・資料解説動画 1件
- ・みえむのモバイル解説 18件
- ・MieMuのクイズ 2件(子ども向け／一般向け)
- ・年報・紀要など刊行物ページへのリンク
- ・学芸員の紹介 4名

月間アクセス数 年間 5,626回

月	アクセス数 (単位：回)	月	アクセス数 (単位：回)
4月	423	10月	521
5月	968	11月	493
6月	369	12月	387
7月	415	1月	418
8月	447	2月	338
9月	481	3月	366

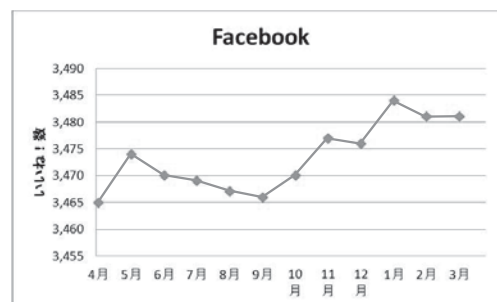


### 8.4 Facebook・Twitter・YouTube

当館では、博物館を身近に感じより親しんでいただくことを目的として、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・システム)のうちFacebook、Twitter、YouTubeの運用を行っている。

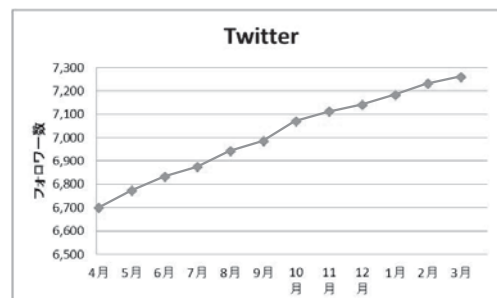
1) Facebook 月間の「いいね！」数 年間41,680回

月	いいね！数 (単位：人)	月	いいね！数 (単位：人)
4月	3,465	10月	3,470
5月	3,474	11月	3,477
6月	3,470	12月	3,476
7月	3,469	1月	3,484
8月	3,467	2月	3,481
9月	3,466	3月	3,481



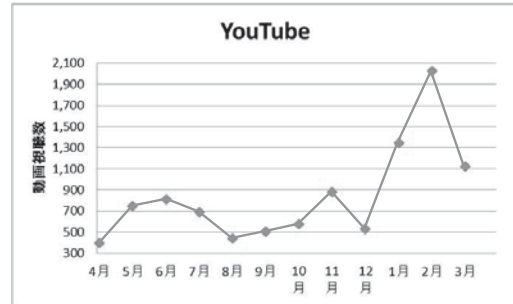
2) Twitter 月間のフォロワー数

月	フォロワー数 (単位：人)	月	フォロワー数 (単位：人)
4月	6,698	10月	7,070
5月	6,773	11月	7,113
6月	6,831	12月	7,141
7月	6,873	1月	7,182
8月	6,941	2月	7,229
9月	6,985	3月	7,258



3) YouTube 月間動画視聴回数 年間10,056回

月	視聴回数 (単位：回)	月	視聴回数 (単位：回)
4月	395	10月	574
5月	746	11月	877
6月	807	12月	529
7月	689	1月	1,342
8月	444	2月	2,023
9月	507	3月	1,123



8.5 その他

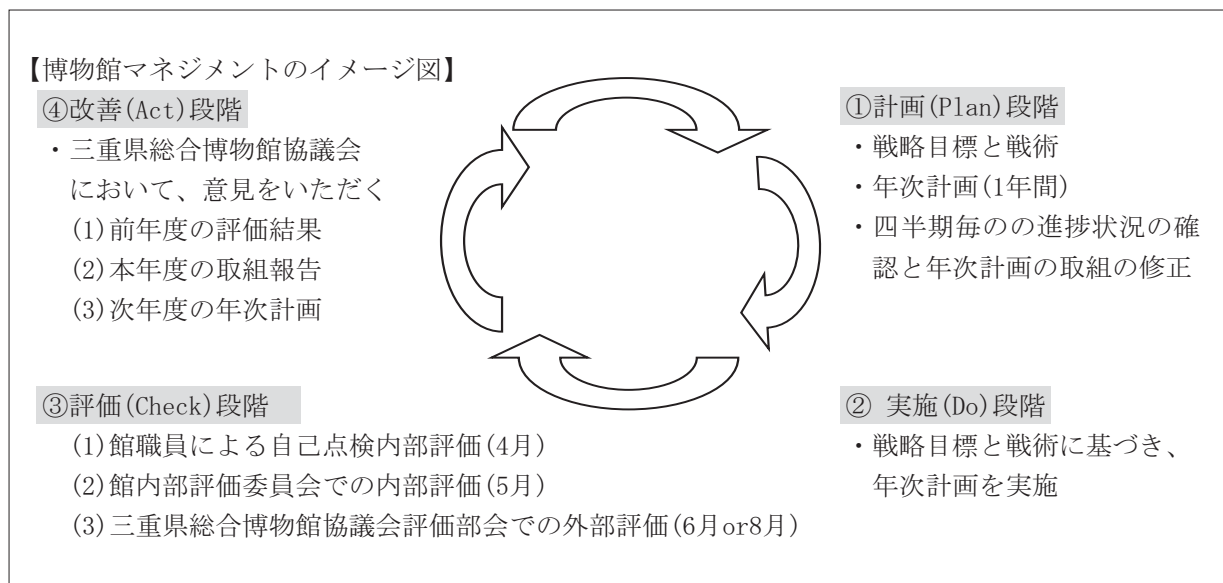
観光三重のウェブサイトとの連携により、企画展の展示レポートなどが掲載された。

9 博物館の評価

9.1 評価のしくみ

三重県総合博物館の活動を県民・利用者みなさんと、「ともに考え、活動し、成長させていく」ため、最も重要な基盤となるのが「博物館マネジメント」である。

三重県総合博物館では、「博物館マネジメント」として、毎年の活動と運営を「計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Act)」のサイクルとして展開していく評価と改善のしくみを構築している。



1) 計画段階

① 短期計画

「三重県総合博物館協議会」や「アンケート」などで意見を求めながら、県の計画期間に合わせて短期計画(4年間)の戦略目標と戦術を作成、公表する。

短期計画は、重点的に取り組む戦略目標と、それら戦略目標達成のために具体的に取り組む戦術を決め、各戦略・戦術の指標及び目標値を定める。

② 年次計画

短期計画のプロセスと同様に、1年間の事業計画を作成し、概要は、「三重県総合博物館年報」に掲載して公表する。

2) 実施段階

実施にあたっては、来館者アンケートを分析し、利用者による評価を集約する。



利用者数、満足度など、博物館の運営状況等を表す数値データなども集計する。

### 3) 評価段階

実施段階で得たアンケート等のデータを活用し、段階的に①自己点検評価、②内部評価、③外部評価を組み合わせた総合評価を行う。

①自己点検評価：前年度の戦略と戦術に基づいて実施された活動と運営について、各活動と運営を担当した職員が成果指標のデータ分析を行い、活動と運営の成果について事実確認とともに、評価と改善点を含んだ総括を行う(4月)。

②内部評価：館職員による内部評価委員会を設置し、自己点検評価者とともに、各事業について事実確認とともに、評価と改善点を含んだ総括を行う(5月)。

③外部評価：内部評価委員会でまとめた事実確認と評価、改善点を元に、外部評価として設置した三重県総合博物館協議会の評価部会(委員3名)が、前年度の活動と運営の成果について評価をし、改善点を付す(6～8月)。

また、事業を日常的に確認し改善するために、内部において毎日朝夕2回の「日常点検報告会(5分)」と定期および臨時的戦略会議をもつ。定期戦略会議としては、月2回課長代理以上の職員による「課長会議(1時間)」と学芸員による「学芸会議(2時間)」を開催している。また、四半期ごとに短期計画の進捗状況を確認する「全体会議(2時間)」を開催している。

### 4) 改善段階

前年度の活動と運営に対する評価結果と本年度の取組について、来館者アンケートと三重県総合博物館協議会などでいただいた意見を参考に、次年度の年次計画や次期短期計画の戦略目標や戦術を構築させていく。

## 9.2 令和3年度の戦略目標と戦術の評価結果

令和3年度の評価結果は、次の日程で実施した。館職員の自己点検内部評価は、令和4年4月中に各戦略と戦術の担当者が評価シートをまとめた。内部評価委員会は令和4年4月12日(火)、4月19日(火)、4月26日(火)、5月9日(月)、5月10日(火)、5月17日(火)、5月24日(火)、5月27日(金)、5月31日(火)、6月7日(火)、6月10日(金)に実施し、外部評価は8月3日(水)に三重県総合博物館協議会評価部会を実施した。評価結果の概要は以下のとおりであり、各戦略目標と戦術の詳細な評価結果については、巻末の事業成果一覧に掲載した。

また、外部評価結果の館内報告会を、高井部会長出席のもと、9月2日(金)に実施した。

### 1 内部評価結果(概要)

計画期間(4年)：令和2年度～令和5年度

#### 1) 計画の策定について

博物館の3つの使命 ①三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす ②学びと交流を通じて人づくりに貢献する ③地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する を達成するために、現在当館で必要な中間アウトカムを「(A) 三重の魅力を知り、(B) 博物館を利用してもらおう」とした。これは、『三重県総合博物館の5年間の総括と今後の方向性について』で、課題であった①県全域への博物館活動の展開、②学びの向上、③博物館の経営にとって基礎となる活動の充実(調査・研究、資料の整理・保存)を基に策定した。この中間アウトカムを達成するために考えた戦略を6つ、それぞれに取組と結びつく戦術を15考え、計画に対して行うマネジメントを評価する戦術と戦略を加え、合計7戦略16戦術を定めた。

#### 2) 内部評価の概要

○ 「(A) 三重の魅力を知り」について

- ・ 館内学芸員の年間研究成果公表数が34回、資料データベースの閲覧回数が607回で目標値を上回った。新規資料データの登録も763件となり、資料データベースの充実を図ることができた。

資料保存は定期的に収蔵庫内の清掃・点検を実施しているが文化財害虫が発見された。該当箇所の集中点検と低温殺虫処置を施し、現在は経過観察を続けている。今後も定期点検時に詳細な確認作業を行うとともに、追跡調査を継続していく必要がある。

博物館活動の根幹となる資料の収集・整理、管理、調査研究のための時間を確保できるよう各学芸員が業務マネジメントを進めるとともに、館としての体制づくりにも引き続き取り組んでいく。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況悪化や休館措置を講じざるを得ないなか、2本の企画展、1本の移動展示を実施することができた。展示観覧者数は、基本展示については34,990人で目標値を上回り、企画展示は28,875人で目標値に達しなかった。ただし、観覧者アンケートの満足度は、基本展示、企画展示とも目標を達成した。基本展示ではリピーターから70%を超える安定した支持を得ることができ、企画展示では質、量、三重にこだわったオリジナルの企画等が評価されたと考える。

オンラインを活用した博物館のあり方や、企画展については新型コロナウイルス感染症にも対応できる企画・準備・実施体制を今後も検討していく。

- ・ 学校を対象にした地域の参加型調査では、多気町内小学校5校のべ837人が3項目の地域調査に取り組んだ。令和元年度の調査結果と併せ4項目の地域調査の成果を、移動展示で発表することができた。展示観覧者数は新型コロナウイルス感染症対策のため全てのイベントが中止となったにも関わらず目標値を上回った。満足度については博物館職員を会場に配置し、観覧者対応を行ったことが高評価につながったと考える。

学芸員による出張講座は、ホームページ上で募集を行ったり市町校長会で説明した結果、37件1,984人の利用があった。講座主催者にアンケートをとったところ、80%以上の高い満足度の回答を得た。

職員負担を考慮した、移動展示の開催形態や運営の在り方、学芸員講座の内容精査や検討等を行っていく。

#### ○「(B) 館を利用してもらう」について

- ・ ミュージアムパートナーについては会員継続率の高さや利用者数は増加しているものの満足度は低く、コロナ禍による活動制限や参加者の固定化等、新たな課題も生まれつつある。会員との意見交換を通して事業を進めていくことで、会員の自主的な活動に結び付き、新しい事業の方向性を作り出すことができると考える。また、発表会、フェスタ等で外部に魅力を発信し、一般利用者に博物館を利用した自主的なグループ活動があることを周知していく。

研究機関との連携では、企画展「寺院に伝わる戦国の残像～北畠氏のいた時代～」での三重大学、三重県埋蔵文化財センターとの展示物作成や、岐阜県博物館との交流で利用者が目標値を大きく上回り、満足度も100%だった。企業連携事業であるコーポレーション・デーは1団体のみの実施だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響で自企業の広報が十分できず満足度が低かった。館内での来館者交流だけでなく、職員研修や屋外活動(観察会)等での企業との広報連携も深めていく必要がある。一方、研究成果を多くの利用者に伝えられる企画展での連携は、博物館が活性化し双方の資質・能力が向上していける新たな連携の形を切り開いたと考える。

- ・ 学芸員が知的資源やその活用方法をわかりやすく伝える事業では、MieMu@ほーむのページの定期的な更新や、展示会場でQRコードから動画を視聴できる展覧会とWebを組み合わせた取り組みを行った。『調べ方』を学ぶ事業については、新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの実施となったが目標値を上回る利用者があった。学芸員と対話しながら自由に能動的に学んでいける博物館ならではのスタイルを大切にしながらも、オンラインや動画を活用した自主的な学びの方法を検討していく。コンテンツ作成や生配信といった非対面による実践を可能にしていくには十分な時間と技術を要する。そのためにも、人員・時間の確保、業務分担の明確化に向けた努力が必要である。

- ・子ども体験展示室の利用者は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、閉室期間や学校団体のみの受入期間、夏休み期間の土日祝に3回/日の運用日を設ける等、柔軟な運営対応をとった結果、目標値を下回ったが3,381人の利用者があった。感染症対策と利用機会の確保を両立させていけるような運用方針を検討していく。

五感を使って体感できる事業も計画自体の見送りや中止となった事業があり、利用者は634人と目標値を大きく下回ったが、体験を通して新しい発見があるようなプログラムを実施していることが満足度の高さにつながったと思われる。引き続き、子どもたちが事業に参加することでより好奇心が伸び、博物館利用や学びへの興味が高まるきっかけづくりをしていく。

学校と連携した課題探求型学習については県内9校(2,714人)を48日間に亘って支援し、目標値を達成することができたが、今後は館全体の業務量を勘案しながら取り組んでいくことを考える。

## 2 外部評価結果(概要)

### 【評価結果】

- ・学芸員の年間の研究成果公表数が、目標(13回)、また、昨年度の実績(24回)を上回る34回であったことは評価できる。しかし、その内訳を見れば、昨年度と同様に職員毎に偏りが大きいことから、解消に向けた原因究明や今後の改善が望まれる。
- ・資料データベースの閲覧回数(6,107回)は、昨年度とほぼ同数で、目標(5,000回)を上回った。また、新規データの登録(763件)も昨年度(304件)より増加して着実に進んでおり、継続して進めて欲しい。
- ・資料の保全・継承は、目標とした定期点検や清掃は実施できたが、昨年度に引き続き虫害(2件)が発生したことから、評価は「2」とした。うち1件は、昨年度からの経過観察(別置)中であり考慮の余地があるが、他は新たなケースである。総合博物館として多様な資料を扱うが故の困難さもあるが、引き続き点検強化と予防に努めて欲しい。

以上の3戦術から成る戦略1の達成状況は、第三者による評価「3」を踏まえ、当部会では、特に、学芸員が総がかりで、館藏品や日頃の研究成果を遺憾なく活用した展示(トピック展「学芸員の一押し資料」)の開催が、博物館らしい調査研究成果の発表としておおいに評価できる点からも「3」と判断した。

- ・基本展示は、魅力的なトピック展を併設し、リピーターの確保や動画の活用等を通じて、8月後半から9月末までの臨時休館がありながら、コロナ禍での新たな目標(31,000人)を上回ったこと(34,990人)は評価できる。なお、アンケート結果の分析(「昔の道具を考える」展)は、母数にも留意して行う必要がある。
- ・企画展示は、「やっぱり石が好き」展では、コロナ禍で会期が3日短縮となった分を割り引いても、目標の観覧者数(23,000人)の約3/4(17,419人)にとどまった。「寺院に伝わる戦国の残像」では、会期を変更して開館日数を確保し、目標(8,500人)を上回る観覧者(10,920人)を得たことは評価できる。企画展示全体としては目標値(32,000人)を下回ったこと(28,875人)から、「2」とした。

以上の展示に関する戦略2は、基本展示・企画展示ともに、過去の実績に基づいて再設定した満足度に関する目標(70%)を達成できたことから「3」とした。なお、指標の分析に当たっては、来館回数だけではなく、年齢層や居住地等の属性を含めたクロスチェックが効果的であり、今後、検討して欲しい。

- ・地域への理解を深めてもらうことを目的とした参加型調査とその成果の公表は、昨年度は中止せざるを得なかったが、今年度は動画配信などコロナ禍の下で安全を確保しながら実施できた。その成果を移動展示として公表し、目標(500人)を上回る参加者(536人)を得ることができたことから、本戦術としては「4」とした。これとは別にパネル展示も開催し、332名の来場者を得たことも評価したい。
- ・地域の魅力を伝えることを目的とした学芸員による出張講座は、目標(1,040人)を大きく上回る利用(37団体1,984人)を得ることができた。団体数・人数ともに昨年度(36団体1,568人)を上回ったこと、利用者の安全確保に留意したオンライン形式で実施できたことも評価できる。



以上の地域への愛着を育むための戦略3は、安全確保に努めるとともに、昨年度の「評価不能」の反省を活かしてデータ収集に努めた結果、戦術6・7での満足度は、ともに目標(75%)を上回ることができた。

- ・ミュージアムパートナーは、コロナ禍の影響で休館期間中に活動を停止せざるを得なかったことや、近隣との合同イベント(M祭)が中止になった中で、目標(利用者1,700人)を超える参加者(利用者1,711人)を得ることができた。また、コロナ禍にあつてWEB経由で学芸員ミニ講座を開設したことも評価できる。しかし、昨年度指摘した会員の期待に応えるための具体的な動きが乏しいことや、アンケートの対象が事務局の一部の会員にとどまった点は、改善が求められる。

- ・コーポレーション・デーは、昨年度と同様にコロナ禍の影響を受け、予定していた4団体が中止となり1団体のみの実施となった。開催日の入館者が昨年度(368人)を上回った(778人)とはいえ、年度当初に設定した目標(総計5,000人)を大きく下回ったため、「1」とした。コロナ禍が続く中、相手先の方針・事情もある中で、従来どおりの目標を掲げることは再考を要する。
- ・研究機関等との連携は、企画展での三重大学、速報展での三重県埋蔵文化財センター、交流講演会での岐阜県博物館との連携・協働を通じて、目標(700人)を大幅に上回る利用者(21,933人)を得ることができた。一方で、連携先が固定的であることは否めず、昨年度と同様に今後は、他の県立施設や他大学など新たな組織との連携も積極的に進めることを期待する。

以上の3戦術から成る戦略4の達成状況について、昨年度は「評価不能」であったが、今年度は前提となるデータが、おもに相手先の団体を単位としてではあったが取得できた。その結果、「満足」の割合が、5(ないし6)団体中の3(ないし4)団体にとどまったことから、目標(75%)には届かず「2」とした。連携相手のより詳細な満足度を評価するために、アンケートの対象を拡大すべきではないか。また、コーポレーション・デーで「やや不満」と回答があつた原因は、事前の協議・説明が十分でなかったことが予想され、今後、改善が求められる。

- ・HPや情報誌を通じた県民への情報提供は、昨年度と同様、コロナ禍の下、「MieMu@ほーむ」で目標(4,800回)を超えるアクセス数(5,626回)を、年間を通じてコンスタントに獲得できた。また、定期的に刊行する「みえんしす」(4回刊行)でも、平易な表現に配慮しつつ、タイムリーな情報提供ができた。
- ・「調べ方」を学ぶ事業は、学芸員との対面事業を中心に、予定した10事業18回のうち7事業14回を実施し、目標(160人)を大きく上回る参加者(267人)を得ることができた。参加者定員を減らしたり、オンラインを活用するなどの感染症対策を確実に実施する中で、昨年度実績(73人)を上回ったこともおおいに評価できる。

学芸員が知的資源やその活用方法を伝える戦略5は、県内在住者を対象としたアンケートで、目標(「目的の情報が得られた:75%」)には到達できなかった。また、評定が昨年度に引き続き「2」であること、さらに値は昨年度と比較して低下(74%→70%)しており、改めて「目的の情報がより見つけやすい、早く到達できるための工夫」について、原因の分析と改善を求めたい。

- ・「こども体験展示室」は、昨年度と同様にコロナ禍の影響を大きく受け、年間92日しか開室できず、しかも、一日あたりの入場回数・組数・人数を制限しての運用となった。とはいえ、年度当初に掲げた目標(60,000人)にはほど遠い(3,381人)ため、「1」と判断せざるを得なかった。適正な評価と改善を実現するため、改めて展示室の運営方針とそれに沿った指標や目標を定めることを求めたい。
- ・子どもたちに学習の楽しさを伝える事業は、他の事業と同様にコロナ禍の下、安全確保のため実施や参加人数が限られる中ではあったが、中止を差し引いた目標人数(約930人)には届かなかった(634人)ため「2」とした。昨年度の実績(343人)を上回ったことは評価できるが、必要に応じて、目標値の再設定も検討すべきではないか。
- ・学校と連携した課題探究型学習の支援は、8月後半から9月末までの県内高校の休校にもかかわらず、9校を対象に、目標(1,500人)を大幅に上回る数(2,714人)の支援ができたことは、昨年度(2,077人)と比較しても、おおいに評価できる。フォーラムの開催による成果発表の機会が提供できたことも、事業

の「仕上げ」として効果的であったと考える。

次世代の育成を目標とした子どもたちの学習機会の充実(戦略6)は、19歳以下を対象としたアンケートを47の事業で実施し、目標(75%)を大きく超える82%に達したことから、「4」と評定した。昨年度(77%)を上回った点でも評価できる。いずれの事業も、「次世代の育成」にとっては極めて重要であることから、引き続き安定した事業実施と成果の確認、改善を期待したい。

- ・業務の改善に向けた定期的な進捗管理は、四半期ごとの全体会議を通じて、一定数(7件)の課題の抽出と共有を行い、改善に努めたことは評価できる。ただし、昨年度の外部評価での指摘事項の一部が、進捗管理の対象から漏れていたことは注意を要する。

戦略7は、上記の通り、昨年度の指摘事項がある程度改善されたと判断できる項目とともに、昨年度と同様、あるいは指摘にも拘らず後退した項目が認められるため「2」とした。具体的には、戦術7・12ではコロナ禍での安全確保が継続でき、戦略3・4では評価の前提となるデータの取得ができた。反面、指摘に対して、改善の途上(戦術3)、その取り組みの姿が見えないもの(戦術1・8・10)、数値が悪化したもの(戦略5)も散見される。今後は、前年度の指摘事項も念頭に、戦術16の課題抽出や進捗管理に努めて欲しい。

## 【提言】

先の評価の結果でも言及したが、戦術9のコーポレーション・デー及び、戦略13の子ども体験展示室について、2年続けて目標値を大きく下回ったことは、コロナ禍の下、相手がある中で単純に館側の責に帰することはできない。目標値は年度当初に設定されたようだが、環境と実績を踏まえて再度、見直す必要がある。その際、今後、個々の事業をどのように位置づけ、進めていくべきかの基本方針を定め、その上で、これらの事業を評価するための指標や目標値を再検討して欲しい。

次に、評価指標について検討を求めたい。その一つは、戦術1で、現在は判断の根拠として「発表論文等」や「著書・編著等」を軸に評価してきた。内部評価結果にもあるように「調査が行えず公表数の少ない学芸員は、企画展開催等を目的として、基礎的な研究活動を継続している」ことや、講演会での発表等も含め、博物館の研究とは何かを踏まえた指標を検討して欲しい。二つ目は戦術10で、その指標を「利用者」=イベントへの参加者として評価してきた。しかし、事業の成果とも考えられる利用者数に優先して、事業の結果(アウトプット)としては連携事業に関わった人の数という視点が必要ではないかと考える。三つ目は戦略7で、現状では「各事業のコスト・パフォーマンスの改善(定性)」となっているため、厳密には、投入した経費を明らかにし、その額の妥当性を評定すべきである。こうした評価は、プログラム評価においても最上層(第5層)に位置づけられており、単年度(短期)で評価することは適当でない。現行の評価内容を見れば、「評価結果に基づく改善の進捗(定性)」などが妥当と思われる。

以上の指標や目標値については、評価の目的が「改善」や「説明責任を果たす」こと、更にはモチベーションの維持・向上でもあることから、期中であっても再検討は必要である。しかし、安易であったり、自己都合による変更は禁物で、妥当な根拠に基づき、必要な手続きを経ることが不可欠である。

最後に、評価の手順について、改めて確認しておく。内部評価では『評価シート』を作成し、「評価理由」、「改善視点」、「指標の分析結果(事実確認)」の視点から分析を行っている。具体例を示せば、評価指標が利用者数の場合、①「指標の分析結果(事実確認)」で収集したデータを分析(全数だけではなく、アンケート等を併用して、利用者の年齢構成・居住地・同伴者・来館回数なども分析)して、実績値を確定する、次に、②実績値と目標値を比較し、必要に応じて実施条件や環境も考慮しつつ、「評価理由」を付して評定を下す。最後に、③目標値以外の要素の分析結果も参考に、実績値となった理由(近隣の来館者が多かった、高齢者に好評であった、初めての来館者が多かった等々)を探り、今後の改善・発展の参考に資する。

しかし、『評価シート』では、戦術・戦略の項目によっては「指標の分析結果」・「評価理由」・「改善視



点」を混同し、三者を峻別できていない箇所が散見される。換言すれば、こうした混乱が生じては事業の課題や今後の改善視点を見誤ることになり、評価の目的である改善、さらにはモチベーションの向上も困難となる。改めて、評価が「事実の特定+価値判断」であることを基礎に、三者を峻別した作業を進めることを求めたい。

#### 【まとめ】

当館の評価は、第3期(2020～2023年度までの4カ年)に入った。その2年目の結果を見ると、戦術については、「4」が10項目、「3」が1項目、達成度に難がある「2」は3項目、「1」が2項目である。また、戦略の結果は、「4」が3項目、「3」が1項目、「2」が3項目である。

初年度と比較して、いずれも評価が向上していること、また、初年度は戦略・戦術ともに2項目あった「評価不能」が解消されたことは、ともに改善が進んだ証として評価できる。しかし、戦術において2項目が「1」であったことは、目標値の再設定を含め、検討を要する。また、戦略5と7のいずれもが2年続きで「2」であったことは、特定の項目については依然、改善が進んでいないことを示している。

これらの結果や上記の提言で指摘した評価の手順も参考に、2022年度を含めた今期中にさらなる改善が進むことを期待したい。

別表 評定点の推移 (2020～2023年度)

戦略	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	戦術	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
戦略1 (01) (A)	3	3			戦術1	4	4		
					戦術2	4	4		
					戦術3	2	2		
戦略2 (01) (02) (03) (A)	3	4			戦術4	3	4		
					戦術5	3	2		
戦略3 (03) (A)	—	4			戦術6	—	4		
					戦術7	4	4		
戦略4 (02) (B)	—	2			戦術8	3	4		
					戦術9	2	1		
					戦術10	4	4		
戦略5 (02) (B)	2	2			戦術11	4	4		
					戦術12	2	4		
戦略6 (02) (B)	3	4			戦術13	—	1		
					戦術14	2	2		
					戦術15	4	4		
戦略7 (業務改善)	2	2			戦術16	3	3		
合計	13	21				44	51		
百分比(※)	65%	75%				79%	80%		
「4」の個数	0	3				6	10		
「3」の個数	3	1				4	1		
「2」の個数	2	3				4	3		
「1」の個数	0	0				0	2		
「-」の個数	2	0				2	0		

「-」は評価不能。

※は、評価不能を除く全項目の評定が「4」であった場合を100%とした際の達成割合

### 9.3 アンケート結果概要

#### 1) 目的

博物館利用者の意見と要望、ニーズ、満足度、与えた影響を把握しながら、今後の施設利用や接遇、展示活動、交流創造活動、広報のあり方などを検討・改善し、利用しやすく地域の役に立つ博物館づくりを進めるために来館者アンケートを実施している。さらに、ビジョンや戦略目標、戦術における毎年の達成度を評価するためのデータ収集も目的としている。

#### 2) 実施方法

展示観覧者に対してのアンケートは、基本展示室、企画展示室の各展示室出口付近に机と椅子を置き、アンケート記入コーナーを設置した。机の上には、大人用と子ども用のアンケート用紙と鉛筆及びアンケート回収箱を置き、展示観覧者が自由にアンケートに記入していただけるようにした。開館中毎日実施した。

入館者に対してのアンケートは、学習交流スペースに机と椅子を置き、ご意見記入コーナーを設置した。机の上には、大人用と子ども用のご意見記入用紙と鉛筆及びご意見回収箱を置き、来館者が自由にご意見を記入していただけるようにした。開館中毎日実施した。

交流創造活動参加者に対してのアンケートは、事業実施前に配布資料とともにアンケートを配布し、事業終了時に記入いただくことで収集した。

#### 3) 項目

アンケートは、基本展示用、各企画展示用、ご意見記入用、交流創造活動の4種類あり、それぞれ大人用と子ども用を用意した。

展示については、①興味を引く資料の有無とその内容、②改善点の有無とその内容、③展示から新たな考えを得たかとその内容、④展示の満足度、⑤展示を知った媒体、を聞いた。さらに、MieMuについても、①MieMuの来館回数、②MieMuを一言で表すと、③ご意見・ご要望、を聞いた。アンケート記入者の属性については、①性別、②年齢、③居住地、④今日を除いてミュージアムを訪れた回数、を聞いた(図1)。

ご意見記入用については、まずご意見・ご要望を聞き、アンケート記入者の属性及び、MieMuを知った媒体、MieMuの満足度を聞いた。

1) 基本展示アンケート

アンケートにご協力ください。アンケートのデータは、博物館運営に関する公開活動や研究以外の目的では使用いたしません。

**A ご覧になった展示についてお尋ねします。**

(1) ご覧になった展示に関して、次の質問について具体的なご意見などがありましたら、ご記入ください。また裏面の空欄にもお書きください。

- 興味をひく資料、印象に残った展示コーナーがありましたか。
- ①いいえ ②はい (伊野) )
- 改善すべき展示内容や観覧方法がありましたか。
- ①いいえ ②はい (伊野) )
- 展示を見て、何か新たな考えや刺激を得ることができましたか。
- ①いいえ ②はい (伊野) )

(2) ご覧になった展示に満足しましたか。 **Qを1つ**おつけください。

①いいえ ②どちらかという「いいえ」 ③どちらかという「はい」 ④はい

(3) この展示をなにでお知りになりましたか。 **該当するものすべてにO**をおつけください。

①ポスター、②チラシ、③新聞、④テレビ、⑤雑誌、⑥「東政だより」、  
⑦館の公式ホームページ、⑧そのほかのホームページ・ブログ、  
⑨館のTwitterやFacebook、⑩そのほかのTwitterやFacebook、  
⑪家族、人から聞いて、⑫その他 ( )

**B 三重県総合博物館 MieMu についてお尋ねします。**

(1) 三重県総合博物館 MieMu の展示を観るのは、今回が何回目ですか。 **Qを1つ**おつけください。

①はじめて、②2回目、③3回目、④4回目以上

(2) MieMu をひとことで表すと、どんな言葉がふさわしいですか。

三重県総合博物館 MieMu は、\_\_\_\_\_ です。

(3) MieMu についてご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

**C あなたご自身 (回答者ご本人) のことをお尋ねします。もしよろしければ、ご回答ください。**

( ) 内の該当する項目に **Qを1つ**おつけください。また、\_\_\_\_\_ にはご記入ください。

(1) 性別 ( ) (2) 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

(3) 居住地 ( ①津市内: \_\_\_\_\_ 町 ②三重県内: \_\_\_\_\_ 市町 ③三重県外: \_\_\_\_\_ 都道府県 )

(4) 今日を除いて過去1年間(何回)、「ミュージアム」を訪れましたか。

( ) ①0回、②1回、③2回、④3回、⑤4回以上 )

\*「ミュージアム」とは、MieMu などの博物館のほか、美術館、科学館、動物園、水族館、資料館などを指します。  
**裏面もご協力ください。**

大人用アンケート用紙(表面)

基本展示室で印刷した展示と改善すべき展示の場所と内容をご記入ください。

※場所はおおよそでも構いません。内容だけの記入でも構いません。

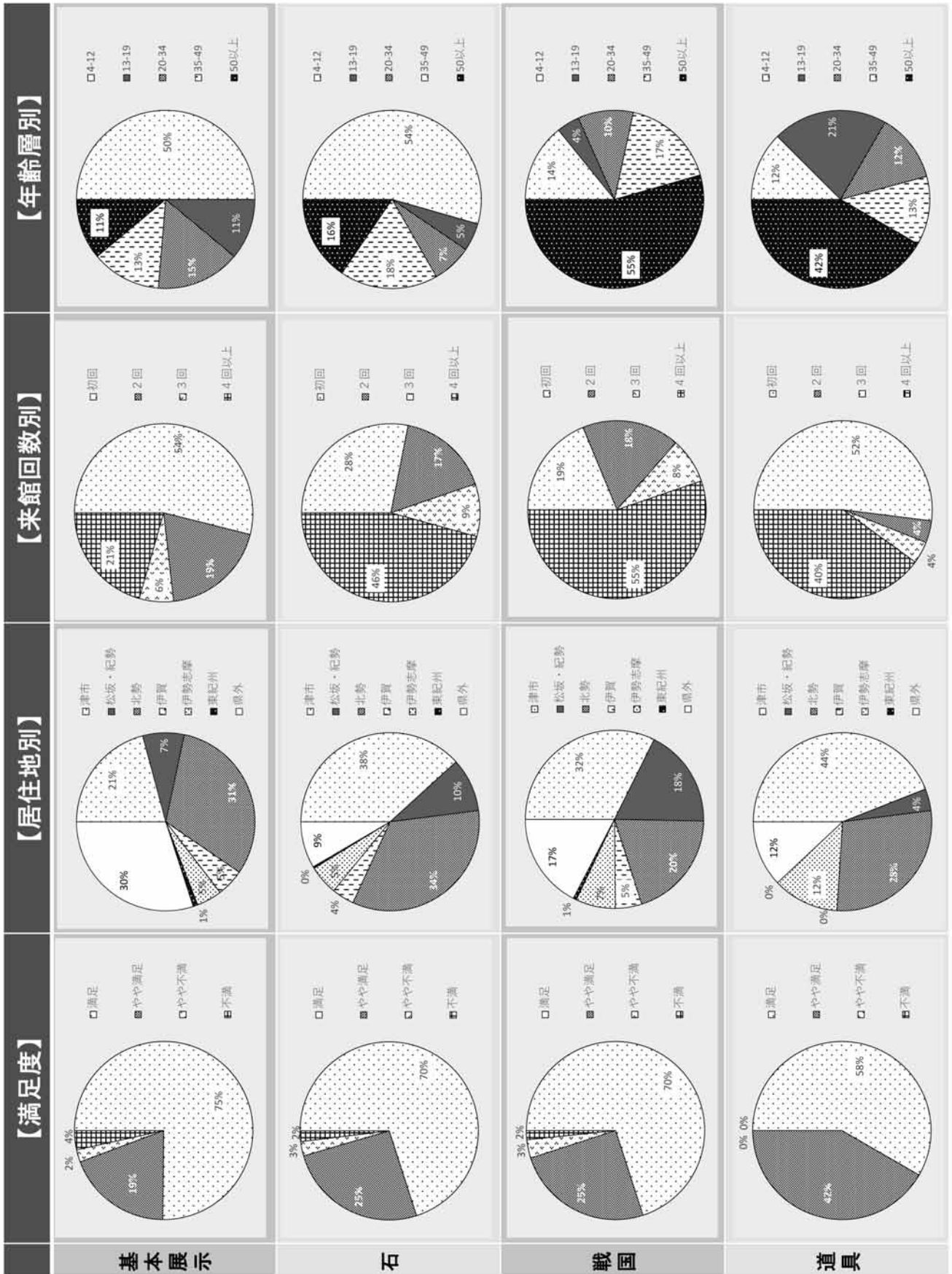
ご協力ありがとうございました。

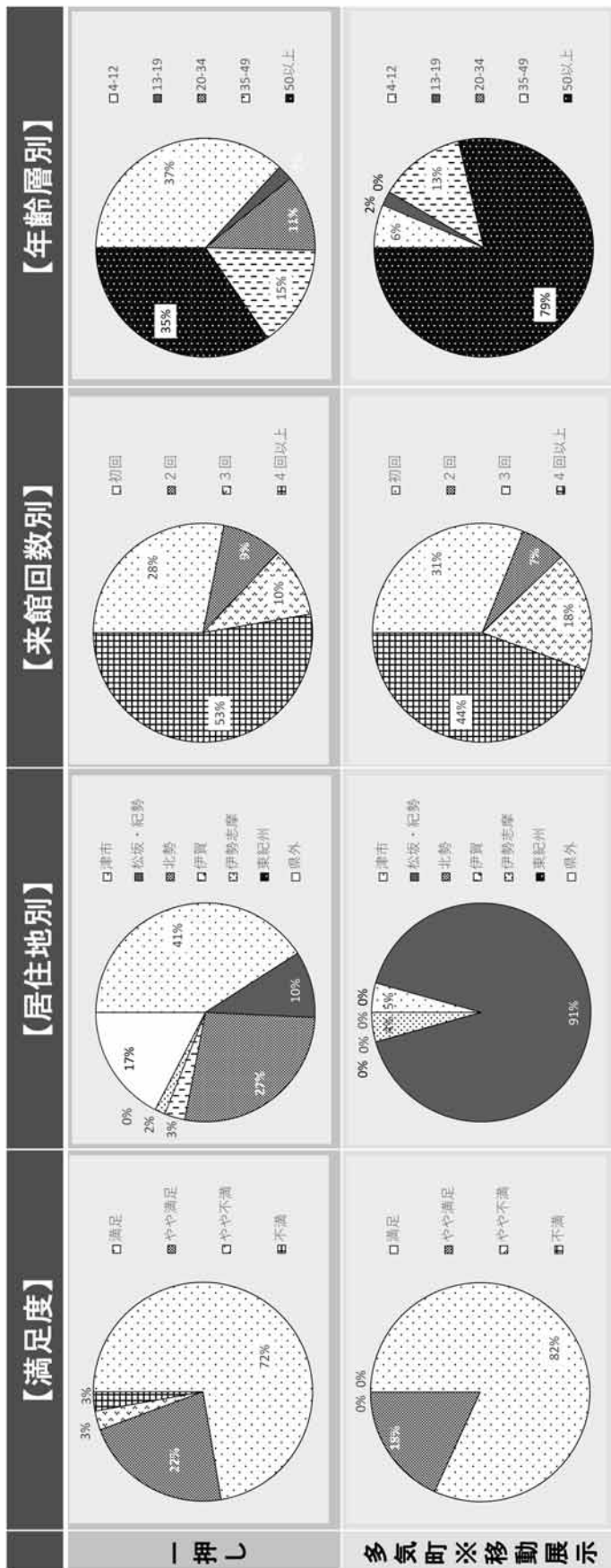
大人用アンケート用紙(裏面)

#### 4) 傾向

令和3年度の展示アンケート回答枚数は、基本展示323枚、企画展943枚、トピック展180枚、移動展示49枚であった。展示観覧者に対する回答率は、全体で2%であった。

詳細については、グラフのとおりである。







### Ⅲ 資料

#### 1 条例・規則

##### 1.1 三重県総合博物館条例

三重県総合博物館条例

公布 平成二十五年六月二十八日

施行 平成二十六年四月 十九日

(設置)

**第一条** 三重の自然並びに歴史及び文化に関する資産を保全し、継承し、及び次代へ生かすとともに、地域社会を支える人づくり及び個性豊かで活力ある地域づくりに貢献するため、博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第十八条の規定に基づき、三重県総合博物館（以下「博物館」という。）を津市に設置する。

(事業)

**第二条** 博物館においては、次の事業を行う。

- 一 博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び一般の利用に供すること。
- 二 三重の自然並びに歴史及び文化に関する資産についての調査研究を行うこと。
- 三 三重の自然並びに歴史及び文化に関する資産についての講演会、観察会、見学会等を行うこと。
- 四 公文書館法（昭和六十二年法律第百十五号）の趣旨にのっとり、県が保有していた歴史資料として重要な公文書その他の記録を博物館資料として保存し、展示し、及び一般の利用に供するとともに、これに関連する調査研究を行うこと。
- 五 前各号に掲げるもののほか、三重県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める事業を行うこと。

(指定管理者による管理)

**第三条** 博物館の管理は、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号。以下「法」という。）第二百四十四条の二第三項の規定により、法人その他の団体であつて、教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせる。

- 2 議会の議員、知事、副知事並びに法第八十条の五第一項及び第二項に規定する委員会の委員（教育委員会にあつては、教育長及び委員）又は委員は、主として博物館の管理を行う指定管理者の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準ずべき者、支配人及び清算人（以下この項において「役員等」という。）たることができない。ただし、議会の議員以外の者が、県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一以上を出資している指定管理者の役員等になる場合は、この限りでない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(指定管理者が行う業務の範囲)

**第四条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- 一 博物館の施設及び設備（以下「施設等」という。）の維持管理及び修繕に関する業務
- 二 前号に掲げるもののほか、博物館の管理に関する業務のうち、教育委員会が必要と認める業務

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(指定管理者の指定の申請)

**第五条** 指定管理者の指定を受けようとするものは、次に掲げる書類を添えて、教育委員会が別に定めるところにより、教育委員会に申請しなければならない。

- 一 博物館の事業計画書
  - 二 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特に必要なものとして別に定める書類
- 追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(指定管理者の指定)

**第六条** 教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準によりその申請を審査しなければならない。

- 一 事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保することができるものであること。
  - 二 事業計画の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること。
  - 三 事業計画の内容が、博物館の効用を最大限発揮できるものであり、県民サービスの向上を図ることができるものであること。
  - 四 事業計画の内容が、施設等の管理に係る経費の縮減を図るものであること。
  - 五 指定を受けようとするものが、事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有していること。
- 2 教育委員会は、前項の規定により審査した結果、博物館を最も効果的に管理できると認められたものを、議会の議決を経て指定管理者として指定する。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(選定委員会)

**第七条** 教育委員会は、前条第一項の審査を適正に行うため、教育委員会の附属機関として、指定管理者の選定に関する委員会（以下この条において「選定委員会」という。）を置く。

- 2 選定委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。
- 一 審査基準及び配点表の作成に関する事項
  - 二 指定管理者の指定を受けようとするものから提出される事業計画書等の審査に関する事項
  - 三 その他指定管理者の選定を行うに当たって必要な事項
- 3 選定委員会は、委員五人以上十人以内で組織し、男女のいずれか一方の委員の数は、委員の総数の十分の四未満とならないものとする。ただし、教育委員会がやむを得ない事情があると認めた場合は、この限りでない。
- 4 委員は、博物館の管理に関し優れた識見を有する者のうちから、教育委員会が任命する。
- 5 委員の任期は、任命の日から前条第二項の規定により指定管理者を指定する日までとする。
- 6 前各項に定めるもののほか、選定委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(指定等の告示)

**第八条** 教育委員会は、次に掲げる場合には、その旨を告示するものとする。

- 一 第六条第二項の規定により指定管理者を指定したとき。
- 二 法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(協定の締結)

**第九条** 教育委員会は、指定管理者と次に掲げる事項を定めた協定を締結するものとする。

- 一 博物館の管理に関する事項
- 二 次条に規定する事業報告書に関する事項
- 三 法第二百四十四条の二第十一項に規定する指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- 四 管理の業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- 五 県が支払うべき管理費用に関する事項

六 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(事業報告書の作成及び提出)

**第十条** 指定管理者は、毎年度終了後二月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。ただし、年度の途中において法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して二月以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

一 博物館の管理の業務の実施状況及び利用状況

二 博物館の管理の業務に係る経費の収支状況

三 前二号に掲げるもののほか、博物館の管理の業務の実態を把握するために必要な事項

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(業務状況の聴取等)

**第十一条** 教育委員会は、博物館の管理の適正を期するため、指定管理者に対して、その管理の業務又は経理の状況に関し毎年度一回又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(教育委員会による管理)

**第十二条** 教育委員会は、法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき、又は指定管理者が天災その他の事由により管理の業務の全部若しくは一部を行うことが困難となった場合において必要があると認めるときは、管理の業務の全部又は一部を自ら行うものとする。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(休館日)

**第十三条** 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は別に休館日を定めることができる。

一 月曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に定める休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の最初の休日でない日）

二 十二月二十九日から翌年の一月三日までの日

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(開館時間等)

**第十四条** 博物館の開館時間（次項において「開館時間」という。）は、午前九時から午後五時までとする。ただし、入館できる時間（次項において「入館時間」という。）は、午後四時三十分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間及び入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号・令和元年九号〕

(指示)

**第十五条** 館長は、博物館資料又は施設等の保全、館内の秩序維持その他博物館の管理上必要があると認めるときは、展示された博物館資料の観覧者（第十七条の手續をした者をいう。以下「観覧者」という。）、博物館資料の利用者（第十八条の許可を受けた者をいう。第二十一条及び第二十三条において同じ。）、施設等の利用者（第十九条の許可を受けた者をいう。第二十一条及び第二十三条において同じ。）その他の関係者に対し必要な指示をすることができる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(入館の制限)

**第十六条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、その入館を拒否し、又は退館を命じるこ

とができる。

- 一 めいてい者等他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある者
- 二 博物館資料又は施設等を損傷するおそれのある者
- 三 前二号に掲げる者のほか、この条例若しくはこれに基づく教育委員会規則に違反し、又は前条の指示に従わなかった者

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(観覧の手続)

**第十七条** 博物館に入館し、展示された博物館資料を観覧しようとする者は、教育委員会規則の定めるところにより、観覧の手続をしなければならない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(博物館資料の閲覧等の許可)

**第十八条** 博物館資料の閲覧、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(施設等の利用の許可)

**第十九条** 施設等を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(許可の条件等)

**第二十条** 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前二条の許可を与えないものとする。

- 一 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
  - 二 博物館資料又は施設等を損傷するおそれがあるとき。
  - 三 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第二号に規定する暴力団をいう。次条第三号において同じ。）の利益になると認められるとき。
  - 四 博物館の事業の実施に支障を来すおそれがあるとき。
- 2 教育委員会は、博物館資料に個人に関する情報その他の教育委員会規則で定める情報が記録されている場合には、第十八条の許可を与えないことができる。
- 3 教育委員会は、前二条の許可に博物館の管理上必要な条件を付けることができる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(許可の取消し)

**第二十一条** 教育委員会は、博物館資料の利用者又は施設等の利用者が次の各号のいずれかに該当するとき、第十八条若しくは第十九条の許可を取り消し、又は博物館資料の閲覧、撮影等若しくは施設等の利用を中止させることができる。

- 一 偽りその他不正の行為により許可を受けたとき。
- 二 許可を受けた目的に反して博物館資料の閲覧、撮影等を行い、又は施設等を利用したとき。
- 三 暴力団の利益になると認められるとき。
- 四 前条第三項の規定により付けられた条件に違反したとき。
- 五 前各号に掲げるもののほか、この条例若しくはこれに基づく教育委員会規則に違反し、又は第十五条の指示に従わなかったとき。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(観覧料)

**第二十二条** 博物館に入館し、展示された博物館資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める額の観覧料を納付しなければならない。

- 2 前項の観覧料は、前納しなければならない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限り

でない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号・令和元年九号〕

(使用料)

**第二十三条** 博物館資料の利用者又は施設等の利用者は、別表第二に定める額の使用料を納付しなければならない。

2 前項の使用料は、第十八条又は第十九条の許可の際に納付しなければならない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号・令和元年九号〕

(原状回復義務)

**第二十四条** 指定管理者は、指定の期間が満了したとき、又は法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、その管理を行わなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(損害賠償義務)

**第二十五条** 指定管理者は、故意又は過失により施設等を損壊し、又は滅失したときは、それによって生じた損害を県に賠償しなければならない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(秘密保持義務)

**第二十六条** 指定管理者の役員及び職員並びにこれらの者であった者は、博物館の管理の業務に関して知り得た秘密を漏らし、又は自己の利益のために使用してはならない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(博物館協議会)

**第二十七条** 博物館法第二十条第一項の規定に基づき、博物館に三重県総合博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(組織)

**第二十八条** 協議会は、委員十五人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

一 学校教育及び社会教育の関係者

二 家庭教育の向上に資する活動を行う者

三 学識経験のある者

四 前三号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

3 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

5 第一項の場合において、男女のいずれか一方の委員の数は、委員の総数の十分の四未満とならないものとする。ただし、教育委員会がやむを得ない事情があると認めた場合は、この限りでない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(会長及び副会長)

**第二十九条** 協議会に、会長及び副会長各一人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。



一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(会議)

第三十条 協議会の会議（以下この条において「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(罰則)

第三十一条 次の各号のいずれかに該当する者は、五万円以下の過料に処する。

一 第十五条の指示に従わなかった者

二 第十六条の規定による入館の拒否又は退館の命令に従わなかった者

三 第十七条のしるしをしないで入館し、展示された博物館資料を観覧した者

四 第十八条の許可を受けずに博物館資料の閲覧、撮影等を行った者

五 第十九条の許可を受けずに施設等を利用した者

六 第二十一条の規定による許可の取消し又は中止処分に従わなかった者

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(他の条例との関係)

第三十二条 この条例に定めるもののほか、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和三十九年三重県条例第十三号）に定める事項については、その定めるところによる。

一部改正〔平成二六年条例五七号・二九年三〇号〕

(委任)

第三十三条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、規則又は教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成二十六年五月十八日までの間において規則で定める日から施行する。（平成二十六年二月三重県規則第三号で、同二十六年四月十九日から施行）ただし、附則第三項の規定は公布の日から、附則第四項の規定は同年四月一日から施行する。

一部改正〔平成二六年条例五七号〕

(三重県立博物館条例の廃止)

2 三重県立博物館条例（昭和三十九年三重県条例第四十九号）は、廃止する。

(準備行為)

3 この条例の施行に関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

(観覧料の納付の特例)

4 平成二十六年四月一日から附則第一項本文に規定する規則で定める日の前日までの間において、知事は、別表第二に規定する観覧料であつて企画展示及び特別企画展示に係るものに限り、第十二条の規定の例により納付させることができる。

追加〔平成二六年条例五七号〕

附 則（平成二十六年三月二十七日三重県条例第五十七号）

この条例は、三重県総合博物館条例の施行の日から施行する。ただし、附則第一項の改正規定及び附則に一項を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成二十九年三月二十八日三重県条例第三十号）

1 この条例は、平成三十年四月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

- 2 この条例による改正後の三重県総合博物館条例（以下「新条例」という。）第三条第一項の規定による指定及びそれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、新条例の規定の例により行うことができる。

附 則（平成三十一年三月十八日三重県条例第三十七号）

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県総合博物館条例第十八条又は第十九条に規定する許可を受けたもの又は改正前の第二十二条の規定により同条第一項の観覧料を納付したものについては、なお従前の例による。

附 則（令和元年七月二日三重県条例第九号）

- 1 この条例は、令和元年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県総合博物館条例第十九条の許可を受けたものについては、なお従前の例による。

別表第一（第二十二条関係）

区分	観覧料			年間パスポート券による観覧
	基本展示		企画展示及び特別企画展示	
	個人	団体		
小学生、中学生、高校生及びこれらに準ずる者	—	—	展示等を行うのに要する費用を勘案してその都度知事が定める額	—
大学生及びこれに準ずる者	三一〇円	二四〇円		一、〇四〇円
一般	五二〇円	四一〇円		一、六七〇円

備考

- 一 基本展示の団体の欄に掲げる額は、観覧者が二十人以上の団体を構成している場合の当該構成員（団体の引率者を含む。）一人当たりの観覧料をいう。
- 二 特別企画展示とは、教育委員会が定める特別な企画による展示をいう。
- 三 年間パスポート券とは、交付を受けた日から起算して一年を経過する日までの間において、基本展示及び企画展示を観覧することができる券をいう。
- 一部改正〔平成二六年条例五七号・二九年三〇号・三一年三七号・令和元年九号〕

別表第二（第二十三条関係）

区分	使用料
博物館資料	一回につき、一点五、二三〇円以下の範囲内において知事が定める額
交流展示室	一時間につき一、九八〇円
レクチャールーム	一時間につき一、七六〇円

備考 使用時間に一時間未満の端数があるときは、その端数は一時間とする。

一部改正〔平成二六年条例五七号・二九年三〇号・三一年三七号・令和元年九号〕

## 1.2 三重県総合博物館条例施行規則

三重県教育委員会規則第二号  
三重県総合博物館条例施行規則

公布：平成二十六年三月十七日

施行：平成二十六年四月十九日

(趣旨)

**第一条** この規則は、三重県総合博物館条例（平成二十五年三重県条例第六十四号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(用語)

**第二条** この規則における用語の意義は、条例で使用する用語の例による。

(入館者の遵守事項)

**第三条** 博物館へ入館した者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 触ることのできる表示のある博物館資料を除き、博物館資料に触れないこと。
- 二 展示室、資料閲覧室で鉛筆以外のものを使用しないこと。
- 三 撮影できない表示のある博物館資料の撮影をしないこと。
- 四 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- 五 その他、係員の指示に従うこと。

(博物館資料の閲覧等の許可の申請)

**第四条** 条例第十八条の規定により博物館資料の閲覧の許可を得ようとする者は、閲覧の形態に応じて、閲覧利用申請書（第一号様式その一からその三まで）をそれぞれ館長に提出しなければならない。

- 2 条例第十八条の規定により、博物館資料の撮影等の特別利用の許可を得ようとする者は、特別利用申請書（第二号様式）を館長に提出しなければならない。
- 3 館長は、前項を許可したときは、博物館資料特別利用許可書（第三号様式）を交付するものとする。
- 4 博物館資料の利用者は、善良なる管理者の注意をもって利用しなければならない。

(施設等利用の許可の申請)

**第五条** 条例第十九条の規定により施設等の利用の許可を得ようとする者は、施設等利用許可申請書（第四号様式）を館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、前項を許可したときは、施設等利用許可書（第五号様式）を交付するものとする。
- 3 施設等の利用期間は、三十日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、これを延長することができる。

(施設等の変更の禁止)

**第六条** 施設等の利用者は、博物館の施設等に変更を加え、又は特別の施設等を設けてはならない。ただし、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(利用の廃止又は中止)

**第七条** 施設等の利用者は、博物館の施設等の利用を廃止又は中止しようとするときは、施設等利用廃止（中止）届（第六号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

(利用者の遵守事項)

**第八条** 施設等の利用者は、次の各号に掲げる事項を守るとともに、善良なる管理者の注意をもって施設等を利用しなければならない。

- 一 営利行為を行わないこと。ただし、図録等の販売で館長の承認を受けたものは除く。
- 二 施設等の適正な管理及び火災防止に努めること。
- 三 その他、係員の指示に従うこと。

(資料の貸出)

**第九条** 博物館は、博物館資料を貸し出すことができない。ただし、当該博物館資料が学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるときは、博物館の運営に支障をきたさない範囲において、次の各号に掲げるものに対して貸し出すことができる。

- 一 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二条第一項の規定による博物館及び同法第二十九条の規定による博物館に相当する施設
  - 二 三重県内の官公署
  - 三 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第一条に規定する学校
  - 四 その他館長が適当と認めるもの
- 2 前項ただし書の規定により、博物館資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出許可申請書（第七号様式）を館長に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該博物館資料が博物館に寄託された資料（以下「寄託資料」という。）であるときは、当該寄託をした者（以下「寄託者」という。）の承諾書を添付しなければならない。
- 3 館長は、前項の許可をしたときは、資料貸出許可書（第八号様式）を交付するものとする。
- 4 第二項の許可を受けた者（以下「借受人」という。）は、当該貸出しに伴う一切の費用を負担しなければならない。
- 5 博物館資料の貸出期間は、三十日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。
- 6 借受人は、善良なる管理者の注意をもって博物館資料を利用しなければならない。

(弁償の義務)

**第十条** 入館者、施設等の利用者及び借受人が故意又は過失により、博物館資料若しくは施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、その修理又は補充に要する費用を負担しなければならない。

(資料の寄贈及び寄託)

**第十一条** 博物館に資料を寄贈及び寄託しようとする者は、資料寄贈（寄託）申請書（第九号様式）を館長に提出し、その承諾を受けなければならない。

- 2 館長は、前項の承諾をしたときは、資料受領書（第十号様式）を交付するものとする。
- 3 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。
- 4 博物館は、寄託資料が火災等やむを得ない事由により汚損し、破損し、又は亡失した場合には、その責めを負わない。
- 5 博物館が、寄託者の申出により、寄託資料の返還を行うときは、資料受領書と引き換えに行うものとする。

(行政刊行物の写しの交付)

**第十二条** 三重県行政資料の収集管理に関する訓令（昭和六十一年三重県訓令第七号）第四条第四項及び第八条第二項の規定に基づき博物館が受け入れた資料（以下この条において「行政刊行物」という。）の写しの交付を受けようとする者（以下この条において「交付申請者」という。）は、第四条第一項に規定する閲覧利用申請書（第一号様式その三）により申請しなければならない。

- 2 前項の申請があったときは、博物館は、交付申請者に対し、写しの交付を受けようとする行政刊行物の具体的な範囲の特定を求めるものとする。
- 3 写しの交付は、文書又は図画については複写機により用紙に複写したものの交付により、電磁的記録については用紙に出力したものの交付又は館長が所有する電磁的記録媒体に複写したものの交付により行う。
- 4 交付申請者は、前項の写しの交付に要する費用を負担しなければならない。この場合における費用の額は、別表のとおりとする。
- 5 写しの交付は、博物館において行うほか、交付申請者の求めに応じ、郵送その他の方法により行うこと

ができる。この場合における必要な送料は、交付申請者が負担しなければならない。

6 前二項に規定する費用及び送料は、前納とする。ただし、当該費用は、行政刊行物の写しの作成後において精算し、過不足が生じたときは、これを還付し、又は追徴する。

7 写しの交付は、行政刊行物一件につき一部に限り、実施するものとする。

(委任)

第十三条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成二十六年四月十九日から施行する。

(三重県立博物館条例施行規則の廃止)

2 三重県立博物館条例施行規則(昭和四十五年三重県教育委員会規則第十九号)は、廃止する。

(三重県教育委員会教育長事務専決規則の一部改正)

3 三重県教育委員会教育長事務専決規則(昭和三十一年三重県教育委員会規則十五号)の一部を次のように改正する。

別表中「博物館」を「総合博物館」に改める。

(三重県教育委員会事務局組織規則の一部改正)

4 三重県教育委員会事務局組織規則(昭和四十三年三重県教育委員会規則六号)の一部を次のように改正する。

第十六条第一項第十二号中「博物館」を「総合博物館」に改める。

(知事の補助職員等に対する教育委員会の権限の一部委任等に関する規則の一部改正)

5 知事の補助職員等に対する教育委員会の権限の一部委任等に関する規則(平成二十年三重県教育委員会規則第二号)の一部を次のように改正する。

第二条第二項中「三重県立博物館」を「三重県総合博物館」に改め、「三重県立博物館条例(昭和三十九年三重県条例第四十九号)及び三重県立博物館条例施行規則(昭和四十五年三重県教育委員会規則第十九号)の改正及び廃止に関する事務」を「次に掲げる事務」に改め、「三重県立博物館条例第五条及び第七条」を「三重県総合博物館条例(平成二十五年三重県条例第六十四号)第五条及び第六条並びに三重県総合博物館条例施行規則(平成二十六年三重県教育委員会規則第二号)第四条から第九条及び第十一条」に改め、同項の次に次の各号を加える。

一 三重県総合博物館条例及び三重県総合博物館条例施行規則の改正及び廃止に関すること。

二 博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十一条及び三重県総合博物館条例第十五条第二項の規定に基づく博物館協議会委員の任免及び委嘱又は解嘱に関すること。

附 則(平成三十年二月二十七日三重県教育委員会規則第二号)

この規則は、平成三十年四月一日から施行する。

附 則(平成三十一年四月二十五日三重県教育委員会規則第九号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(令和二年三月三十一日三重県教育委員会規則第九号)

この規則は、令和二年四月一日から施行する。

附 則(令和二年十二月二十五日三重県教育委員会規則第十号)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に改正前の三重県教育委員会の所管に属する公益信託の許可等に関する規則、三重県教育財産規則、教育職員免許状に関する規則、三重県高等学校等進学奨励金返還債務免除条例施行規



則、学校教育法施行細則、三重県立高等学校通学区域に関する規則、三重県立高等学校学則の基準に関する規則、三重県立特別支援学校学則の基準に関する規則、斎宮歴史博物館条例施行規則、三重県立図書館の管理等に関する規則、三重県総合博物館条例施行規則、三重県立学校体育施設の使用に関する規則及び三重県高等学校等修学奨学金の貸与に関する規則（以下これらを「三重県教育委員会の所管に属する公益信託の許可等に関する規則等」という。）の規定に基づいて提出されている申請書その他の書類は、改正後の三重県教育委員会の所管に属する公益信託の許可等に関する規則等の規定に基づいて提出された申請書その他の書類とみなす。

- 3 この規則の施行前に改正前の三重県教育委員会の所管に属する公益信託の許可等に関する規則等に規定する様式により作成されている用紙は、当分の間、必要な調整をして使用することができる。

別表（第12条関係）

区分	写しの交付の方法	費用の額
1 文書又は図画	複写機により用紙に複写したものの交付（日本産業規格A3判以下の大きさの用紙を用いて行うものに限る。）	白黒の場合 1枚につき10円
		カラーの場合 1枚につき40円
2 電磁的記録	(1) 用紙に出力したものの交付（日本産業規格A3判以下の大きさの用紙を用いて行うものに限る。）	白黒の場合 1枚につき10円
		カラーの場合 1枚につき40円
	(2) 電磁的記録媒体に複写したものの交付	電磁的記録媒体の購入経費に相当する額
	(3) 非開示情報が記録されている電磁的記録又はこれを複写したものの視聴	電磁的記録から非開示情報が記録されている部分を区分して除くために要する費用に相当する額
3	1及び2に掲げる場合以外のもの	作成に要する費用に相当する額

備考

- 1 区分1及び区分2(1)の場合において、用紙の両面を使用するときは、片面を1枚として費用の額を算定する。
- 2 区分1及び区分2(1)の場合において、日本産業規格A3判を超える大きさの用紙を用いるときは、日本産業規格A3判に相当する大きさを換算した枚数分の費用の額とする。
- 3 区分2(3)の非開示情報は、三重県情報公開条例第7条各号のいずれかに該当する情報とする。
- 4 県以外のものに委託して写し等を作成した場合における費用の額は、本表の規定にかかわらず、当該委託に要する費用に相当する額とする。

施行規則各種申請様式

三重県総合博物館 資料閲覧利用申請書  
(当日閲覧用)

申請者記入欄

申請日	年 月 日		
申請者	利用証番号	氏名	
	住所		
	電話	電話(携帯)	
	E-mail		
閲覧希望日 (予約して 閲覧したい 方はご記入 ください)	第一希望日	年 月 日	
	第二希望日	年 月 日	
	第三希望日	年 月 日	
	その他		
撮影の有無	有 / 無	※下記をご覧ください。	

閲覧申請資料

No.	閲覧	分類名 資料番号	資料名等	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※三脚・フラッシュ等の器材を用いた撮影、印刷物・WEB等への掲載については、別途「特別利用」の申請が必要となります。

博物館記入欄

受付日	年 月 日
閲覧日	年 月 日
担 当	
備 考	

三重県総合博物館 資料閲覧利用申請書  
(予約閲覧用)

申請者記入欄

申請日	年 月 日		
申請者	利用証番号	氏名	
	住所		
	電話	電話(携帯)	
	E-mail		
閲覧希望日	第一希望日	年 月 日	
	第二希望日	年 月 日	
	第三希望日	年 月 日	
	その他		
撮影の有無	有 / 無	※下記をご覧ください。	

閲覧申請資料

No.	閲覧	分類名 資料番号	資料名等	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※三脚・フラッシュ等の器材を用いた撮影、印刷物・WEB等への掲載については、別途「特別利用」の申請が必要となります。

博物館記入欄

受付日	年 月 日
閲覧日	年 月 日
担 当	
備 考	

三重県総合博物館 資料閲覧利用申請書  
(県が保有していた歴史資料として重要な公文書等 閲覧用)

申請者記入欄

申請日	年 月 日		
申請者	利用証番号	氏名	
	住所		
	電話	電話(携帯)	
	E-mail		
撮影の有無	有 / 無	※下記(3)をご覧ください。	

閲覧申請資料

No.	閲覧	分類名 資料番号	資料名等	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(1) 文書に含まれる個人情報等、公開できない情報についての内容審査のため、閲覧までに2週間をもちとした期間を要します。  
 (2) 内容審査が終わり次第、博物館から閲覧日程について連絡いたします。  
 (3) 三脚・フラッシュ等の器材を用いた撮影、印刷物・WEB等への掲載については、別途「特別利用」の申請が必要となります。

博物館記入欄

受付日	年 月 日
閲覧日	年 月 日
担 当	
備 考	

年 月 日

三重県総合博物館特別利用申請書  
三重県総合博物館長 宛て

申請者 住所  
団体名  
代表者氏名  
電話

三重県総合博物館条例施行規則第4条の規定に基づき、下記の利用を申請いたします。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 教育活動のための利用 (3) 出版物等への掲載のための利用 (4) テレビ放送等への利用 (5) その他( )			
内 容	(1) 熟覧(実測・拓本等) (2) 画像データの利用 (3) 複製・複写(模写) (4) 撮影 (5) 転載(転載元: ) (6) その他( )			
利用期間 (実行予定日、放送予定日・時間)	【利用期間・実行予定日・放送予定日・時間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :			
利用場所 (出版物・放送等では掲載紙・番組名など)				
利用資料	資料番号	資料名	数量	備考
担当者	電話			
備考				

● 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守します。  
 (1) 善良なる管理者の注意をもって利用します。  
 (2) 施設、備品等の汚損、破損及び亡失防止に注意します。  
 (3) 利用後においては、現状に復し、博物館職員の点検を受けます。  
 (4) 利用時間を遵守します。  
 (5) 他の利用者の迷惑とならないように配慮します。  
 (6) 利用者は、申請事項以外の目的、内容に資料等を使用しません。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去します。  
 (7) その他、利用に際しては博物館職員の指示に従います。  
 ● 故意または過失により、資料等もしくは施設等を汚損、破損または亡失したときは、その修理または補充に要する費用を負担いたします。  
 ● 資料等の利用により実施した出版物、印刷物等については2部密蔵いたします。

第 年 月 日 号

三重県総合博物館資料特別利用許可書

(申請者) 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった資料の利用は、下記のとおり許可します。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 教育活動のための利用 (3) 出版物等への掲載のための利用 (4) テレビ放送等への利用 (5) その他( )
内容	(1) 複製(実測・拓本等) (2) 画像データの利用 (3) 複製・複写(複写) (4) 撮影 (5) 転載(転載元: ) (6) その他( )
利用期間 (発行予定日、放送予定日・時間)	【利用期間・発行予定日・放送予定日・時間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :
利用場所 (出版物・放送等では掲載紙・番組名など)	
利用資料	資料番号 資料名 数量 備考
担当者	電話
備考	

- 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守すること。
  - (1) 善良なる管理者の注意をもって利用すること。
  - (2) 施設、備品等の汚損、破損及び亡失防止に注意すること。
  - (3) 利用後においては、現状に復し、博物館職員の見学を受けること。
  - (4) 利用時間を遵守すること。
  - (5) 他の利用者の迷惑とならないように配慮すること。
  - (6) 利用者は、申請事項以外の目的、内容に資料等を使用しないこと。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去すること。
  - (7) その他、利用に際しては博物館職員の指示に従うこと。
- 故意または過失により、資料等もしくは施設等を汚損、破損または亡失したときは、その修理または補充に要する費用を負担すること。
- 資料等の利用により実施した出版物、印刷物等については2部送付すること。

年 月 日

三重県総合博物館施設等利用許可申請書

三重県総合博物館長 宛て

申請者 住所  
団体名  
代表者氏名  
電話

三重県総合博物館条例施行規則第5条の規定に基づき、下記の利用を申請いたします。

利用施設				
利用設備	設備・機械等	点数	設備・機械等	点数
利用日時	年 月 日 時から		年 月 日 時まで	
利用の概略	利用の目的			
	会場責任者氏名			
	観覧料等の徴収	有 / 無	円	
	図録等の販売	有 / 無	円	
	設備等の設置	有 / 無		
	利用者数			
備考				

- (1) 展覧会等で施設を使用するときは、展示資料の一覧を添付すること。
- (2) 設備等を設置するときは、概要を確認できる図面を添付すること。

第 年 月 日 号

三重県総合博物館施設等利用許可書

(申請者) 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった施設等の利用は、下記のとおり許可します。

利用施設				
利用設備	設備・機械等	点数	設備・機械等	点数
利用日時	年 月 日 時から		年 月 日 時まで	
利用の概略	利用の目的			
	会場責任者氏名			
	観覧料等の徴収	有 / 無	円	
	図録等の販売	有 / 無	円	
	設備等の設置	有 / 無		
	利用者数			
備考				
利用料				円

年 月 日

三重県総合博物館施設等利用廃止(中止)届

三重県総合博物館長 宛て

住所  
団体名  
代表者氏名  
電話

三重県総合博物館条例施行規則第7条の規定に基づき、下記の事由により博物館の施設等の利用を廃止(中止)したいので届け出ます。

利用施設				
利用設備	設備・機械等	点数	設備・機械等	点数
利用日時	年 月 日 時から		年 月 日 時まで	
廃止(中止)事由及び期日	年 月 日 時から		年 月 日 時まで 中止・廃止	
	(事由)			
備考				

年 月 日

三重県総合博物館資料貸出許可申請書  
三重県総合博物館長 宛て

申請者 住 所  
団体名  
代表者氏名  
電 話

三重県総合博物館条例施行規則第9条の規定に基づき、下記について申請いたします。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 展示活動のための利用 (3) その他( )
内 容	(1) 複製(実測・拓本等) (2) 展示 (3) 複製・複写(模写) (4) 撮影 (5) その他( )
貸出期間 (展示の場合は、展示期間)	【貸出期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) : 【展示期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :
利用場所 (保管・展示場所)	
貸出資料	資料番号 資料名 数量 備考
取扱責任者	電話
輸送方法	
備 考	

- 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守します。
  - (1) 資料等について善良なる管理者の注意をもって利用します。
  - (2) 施設、備品等の汚損、破損及び亡失防止に注意します。
  - (3) 使用後においては、現状に復し、博物館職員の点検を受けます。
  - (4) 貸出期間を遵守します。
  - (5) 利用者は、申請事項以外の目的、内容に資料等を使用しません。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去します。
  - (6) その他、利用に際しては博物館職員の指示に従います。
- 故意または過失により、資料等もしくは施設等を汚損、破損または亡失したときは、その修理または補充に要する費用を負担いたします。
- 資料等の利用により作成した図録・報告書等の出版物、印刷物等については2部寄贈いたします。
- 展覧会等で利用する場合、展覧会開催要項、展示会場、保管場所、警備体制、消防計画、職員体制、公開承認施設資格の有無等の資料を添付いたします。

第 号  
年 月 日

三重県総合博物館資料貸出許可書

(申請者) 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった博物館資料の貸出は、下記の条件の下に許可します。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 展示活動のための利用 (3) その他( )
内 容	(1) 複製(実測・拓本等) (2) 展示 (3) 複製・複写(模写) (4) 撮影 (5) その他( )
貸出期間 (展示の場合は、展示期間)	【貸出期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) : 【展示期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :
利用場所 (保管・展示場所)	
貸出資料	資料番号 資料名 数量 備考
取扱責任者	電話
輸送方法	
備 考	

- 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守すること。
  - (1) 貸出を受けた者(以下「借受人」という。)は、貸出を受けた資料(以下「貸出資料」という。)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。
  - (2) 貸出に伴う一切の費用は、借受人が負担すること。
  - (3) 借受人は貸出資料を故意又は過失により、汚損し、破損し、又は亡失したときは、その修理又は補充に要する費用を負担すること。
  - (4) 借受人は、貸出資料を本書記載事項以外の目的、内容に使用しないこと。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去すること。
  - (5) 使用後においては、現状に復し、博物館職員の点検を受けること。
  - (6) 貸出期間を遵守すること。
  - (7) その他、利用に際しては当博物館職員の指示に従うこと。
  - (8) 資料等の利用により作成した図録・報告書等の出版物、印刷物等については2部寄贈すること。

年 月 日

三重県総合博物館資料寄贈(委託)申請書  
三重県総合博物館長 宛て

申請者 住 所  
団体名  
代表者氏名  
電 話

三重県総合博物館条例施行規則第11条の規定に基づき、下記のとおり、資料を寄贈(委託)したので申請します。

資 料 名	数量	形状・寸法等
備 考		
寄託の場合、寄託期間	年 月 日から	年 月 日まで

第 号  
年 月 日

三重県総合博物館資料受領書

(申請者) 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった資料の寄贈(委託)は、下記のとおり、受領しました。

資 料 名	数量	形状・寸法等
備 考		
寄託の場合、寄託期間	年 月 日から	年 月 日まで



### 1.3 観覧料免除要綱

三重県立美術館、斎宮歴史博物館及び三重県総合博物館観覧料減免要綱

平成26年3月28日

(趣旨)

**第1条** この要綱は、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和39年三重県条例第13号）第3条の規定に基づき三重県立美術館、斎宮歴史博物館及び三重県総合博物館（以下「博物館等」という。）の観覧料の減免について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この要綱において「観覧料」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 三重県立美術館条例（昭和57年三重県条例第1号。次条第1項第1号において「美術館条例」という。）第22条に規定する観覧料
- (2) 斎宮歴史博物館条例（平成元年三重県条例第6号。次条第1項第1号において「斎宮条例」という。）第11条に規定する観覧料
- (3) 三重県総合博物館条例（平成25年三重県条例第64号。以下「博物館条例」という。）第22条に規定する観覧料

(減免の対象)

**第3条** 観覧料の免除を受けることのできる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、教職員に引率されて、美術館条例別表第1に掲げる企画展、斎宮条例別表第1に掲げる特別展、企画展その他特別な催物並びに博物館条例別表第2に掲げる企画展示及び特別企画展示を観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童及び生徒
  - (2) 教育課程に基づく教育活動として観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童及び生徒を引率する者
  - (3) 県内に設置されている児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条に規定する児童福祉施設の在籍者で当該施設の職員に引率されて観覧する児童及び当該児童の引率者
  - (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者
  - (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
  - (6) 知的障がい者と判定された者に対して公的機関が発行する療育手帳又は療育手帳に代わる証明書の交付を受けている者
  - (7) 前各号に該当する者のうち介護を要する者の介護を行う者。ただし、原則として対象者1人につき1人に限る。
- 2 前項に定めるもののほか、知事は、特に必要と認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(減免の手続)

**第4条** 前条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、博物館等観覧料免除申請書兼承認書（様式第1号。以下「申請書」という。）に必要な事項を記載して博物館等の館長に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、同項第4号から第7号までに掲げる者が観覧料の免除を受けようとする場合には、同号に掲げる者であることを証する書類又は手帳の提示等をもって申請書の提出に代えることができる。

- 2 博物館等の館長は、申請書に基づく承認をしたときは、当該申請書にその旨を記して申請者に交付する



ものとする。

3 前条第2項の規定による観覧料の減免に関し必要な事項は、知事が別に定める。

(免除の手続の特例)

第5条 博物館等の館長は、前条第1項の規定による申請書の提出については、博物館等の館長が別に定めるところにより、博物館等の館長の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下この条において同じ。）と、申請をしようとするものの使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織を使用して行わせることができる。

2 前項の規定により行われた提出は、同項の電子計算機に備えられたファイルへの記録がされた時に、博物館等の館長に到達したものとみなす。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。ただし、三重県総合博物館に係る規定は、博物館条例の施行の日から施行する。

(三重県立博物館、三重県立美術館及び斎宮歴史博物館観覧料免除要綱の廃止)

2 三重県立博物館、三重県立美術館及び斎宮歴史博物館観覧料免除要綱（平成20年三重県告示第199号。次項において「旧告示」という。）は、廃止する。

(経過措置)

3 この告示の施行前に旧告示の相当規定による免除についてなされた手続は、この告示に規定する免除についてなされた手続とみなす。

附 則（平成29年3月17日三重県告示第160号）

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月16日三重県告示第179号）

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

博物館等観覧料免除申請書兼承認書	
	年 月 日
宛て	
	団体名 代表者名 住 所
下記のとおり観覧料の免除を受けたいので申請します。	
記	
博物館等の名称	
免除申請の理由	
在 館 時 間	年 月 日 ( ) 時から 時まで
入 館 人 員	
引率代表者名	電話番号
備 考	
(注意) インターネットやファックスでも受け付けます。	
上記の申請に対して、承認します。	
	年 月 日
	館 長

## 2 事業成果一覧

### ● 入館者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)	26	26	26	27	22	0	27	25	24	24	24	27	278
入館者数(人)	7,610	9,785	7,381	12,881	12,551	0	12,653	14,103	6,956	6,004	5,053	10,220	105,197
1日平均(人)	292.7	376.3	283.9	477.1	570.5	0	468.6	564.1	289.8	250.2	210.5	378.5	378.4

### ● 展示観覧者数

#### (1) 基本展示観覧者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数(日)	26	26	26	27	22	0	27	25	24	24	24	27	278	
有料観覧者	基本展示単独券利用	395	300	253	413	535	0	344	328	496	680	706	759	5,209
	セット券利用	129	665	503	1,177	1,624	0	517	380	0	0	0	0	4,995
	年間パスポート利用	91	100	90	160	121	0	120	60	61	132	95	162	1,192
	小計(人)	615	1,065	846	1,750	2,280	0	981	768	557	812	801	921	11,396
無料観覧者	高校生以下	626	1,039	594	2,086	2,692	0	548	720	331	528	423	660	10,247
	学校利用	178	400	741	559	8	0	2,669	3,169	718	220	99	179	8,940
	視察/招待	84	188	48	98	193	0	181	195	65	56	90	73	1,271
	障がい者及び付添	86	157	113	210	214	0	206	153	81	86	56	104	1,466
	キャンパスメンバーズ	30	58	57	146	67	0	60	89	49	55	37	42	690
	その他(※1)	178	0	0	0	0	0	0	802	0	0	0	0	980
	小計(人)	1,182	1,842	1,553	3,099	3,174	0	3,664	5,128	1,244	945	705	1,058	23,594
合計(人)	1,797	2,907	2,399	4,849	5,454	0	4,645	5,896	1,801	1,757	1,506	1,979	34,990	
1日平均(人)	69.1	111.8	92.3	179.6	247.9	0	172.0	235.8	75.0	73.2	62.8	73.3	125.9	

※県民の日記念イベントの日、コーポレーション・デー、関西文化の日など

#### (2) 企画展示観覧者数

展示名	第28回企画展 やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物	第29回企画展 寺院に伝わる戦国の残像	合計	
開催期間	R3. 4. 24～R3. 8. 26 ※会期については4. 2. 1企画展参照	R3. 10. 1～R3. 11. 27 ※会期については4. 2. 1企画展参照		
開館日数(日)	107	50	157	
有料観覧者	企画展示単独券利用	2,149	1,609	3,758
	セット券利用	4,098	897	4,995
	年間パスポート利用	615	355	970
	小計(人)	6,862	2,861	9,723
無料観覧者	高校生以下	6,707	761	7,468
	学校利用	1,781	5,573	7,354
	視察/招待	1,001	1,180	2,181
	障がい者及び付添	727	384	1,111
	キャンパスメンバーズ	341	161	502
	その他(※1)	0	0	0
	14,278	10,557	8,059	18,616
合計(人)	17,419	10,920	28,339	
1日平均(人)	162.8	218.4	180.5	

### (3) 交流展示・トピック展示観覧者数

展示名	昔の道具を考える	集結！学芸員の一押し資料	合計
開催期間	R4. 1. 4～R4. 2. 13 ※会期については4. 2. 3トピック展参照	R4. 1. 29～R4. 3. 31(会期はR4. 4. 6まで) ※会期については4. 2. 3トピック展参照	
開催日数(日)	36	53	89
観覧者数(無料)(人)	2,655	3,659	6,314
1日平均(人)	73.8	69.0	70.9

### (4) 移動展示観覧者数

展示名	たんけん！はっけん！多気町
開催期間	R4. 2. 11～R4. 2. 23
開催日数(日)	11
観覧者数(無料)(人)	536
1日平均(人)	49

### ● こども体験展示室利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)	9	14	8	12	7	0	6	19	12	5	0	0	92
利用者数(人)	216	296	222	470	334	0	243	1,044	426	130	0	0	3,381
1日平均(人)	24.0	21.1	27.8	39.2	47.7	0	40.5	54.9	35.5	26.0	0	0	36.8

### ● 資料閲覧室利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)	26	26	26	27	22	0	27	25	24	24	24	27	278
入室者数(人)	147	144	97	170	195	0	194	169	285	452	2	133	1,988
1日平均(人)	5.7	5.5	3.7	6.3	8.9	0	7.2	6.8	11.9	18.8	0.1	4.9	7.2
閲覧者数(人)	49	34	28	76	68	0	65	61	43	40	2	42	508
1日平均(人)	1.9	1.3	1.1	2.8	3.1	0	2.4	2.4	1.8	1.7	0.1	1.6	1.8

まん延防止等重点措置の発令等に伴い、令和4年1月28日～3月6日まで資料閲覧室は閉室。

(但し、閉室前の受理等やむを得ない事情のある申請分のみ、資料閲覧室での閲覧対応を2日実施した。)

令和3年度MiaMuの活動と運営の各戦略-戦略一覽

計画期間(4年):2020(令和2)年度～2023(令和5)年度

三重県総合博物館(MiaMu)が、長期にわたる変遷に向けて、当面4年間(=計画期間)に戦略的に取り組むための計画とそのマネジメントのしくみを、以下のとおりとしています。

目標	戦略		評価結果	
	内部評価	外部評価	アウトプット指標	アウトプット(実績)
<p>戦略目標</p> <p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>戦略目標</p> <p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>戦略目標</p> <p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>戦略目標</p> <p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>戦略目標</p> <p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>
<p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>	<p>1 三重の魅力を活かして、観光客の増加を図る。2 地域活性化を図る。3 地域産業の振興を図る。4 地域文化の継承を図る。5 地域社会の発展を図る。6 地域住民の生活の向上を図る。7 地域産業の振興を図る。8 地域文化の継承を図る。9 地域社会の発展を図る。10 地域住民の生活の向上を図る。</p>







令和3年度MieMuの活動と運営の各報・戦術一覽 計画期間(4年):2020(令和2)年度～2023(令和5)年度

三重県総合博物館(MieMu)が、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の流行に起因する様々な自然現象を、以下のとおりとしています。

三重は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に長(水深2,000m)の深溝から深溝(1,700m)の山脈までも含む多様な自然環境をもち、重慶帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の範囲のような自然を有している。三重県総合博物館は、このように三重大自然環境を、多様な自然現象をもち、重慶帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の範囲のような自然を有している。また、情報が集まり資源が生まれることで、多様な文化を生み出してきた。三重県総合博物館は、このように三重大自然環境を、多様な自然現象をもち、重慶帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の範囲のような自然を有している。また、情報が集まり資源が生まれることで、多様な文化を生み出してきた。

目標	戦略目標	戦術	外部評価	内部評価	評価結果	計画期間	外部評価	内部評価	評価結果
<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>	<p>1 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>2 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>3 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p> <p>4 利用者(来館者)が満足した(満足率75%)※4段階の4.0のみ</p>





三重県総合博物館 年報 通巻8号 (令和3年度)

Mie Prefectural Museum Annual Report No.8

令和4年12月 発行

編集・発行 三重県総合博物館 (MieMu)

〒514-0061三重県津市一身田上津部田3060

電話 059-228-2283

FAX 059-229-8310

印刷 共立印刷株式会社



